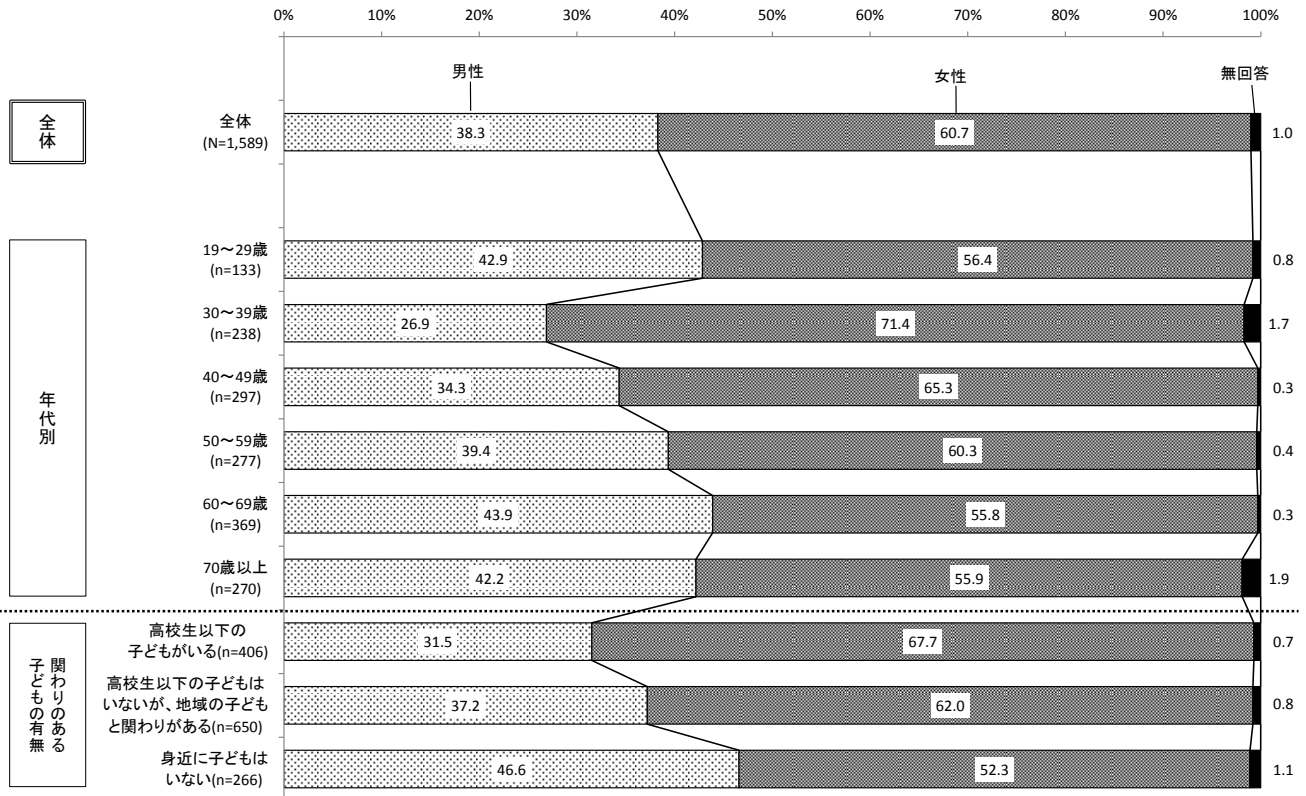


調 査 結 果

【 大 人 】

<性別>

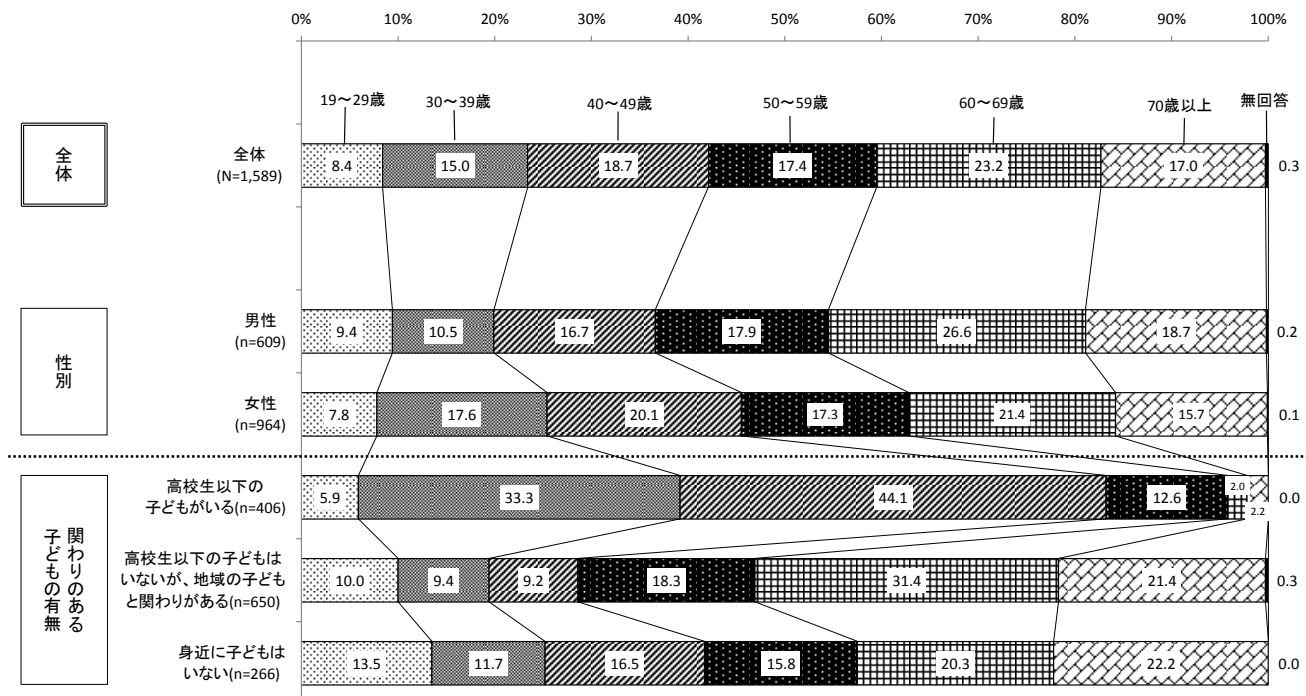
問1 あなたの性別に○をつけてください。(単一回答)



全体では、「男性」が38.3%、「女性」が60.7%となっている。

<年齢>

問2 あなたの年齢について、あてはまるものに○をつけてください（11月20日現在）。（単一回答）

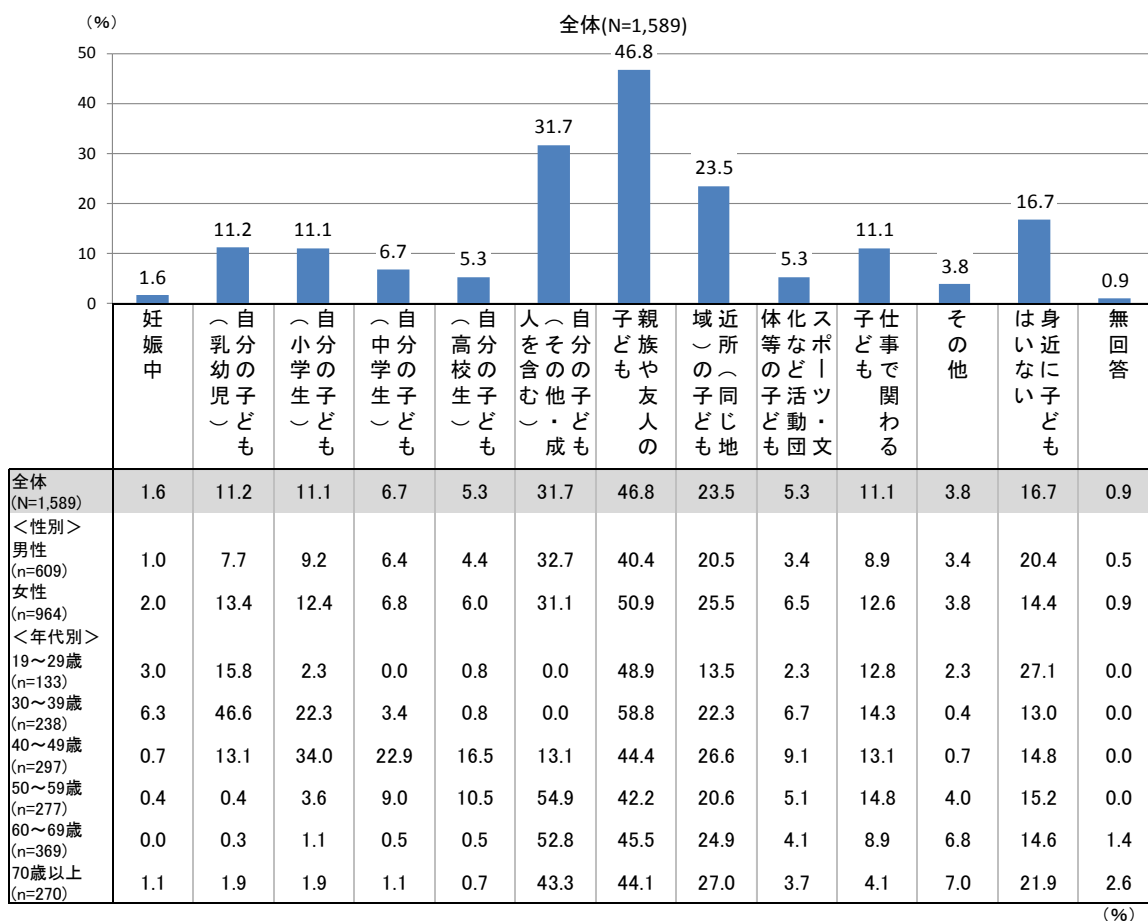


全体では、「60～69歳」（23.2%）が最も多く、次いで「40～49歳」（18.7%）、「50～59歳」（17.4%）となっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、「30～39歳」（33.3%）、「40～49歳」（44.1%）の割合が高くなっている。

<関わりのある子どもの有無>

問3 あなたには、お子さんや身近に関わりのある子どもがいますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。（複数回答）



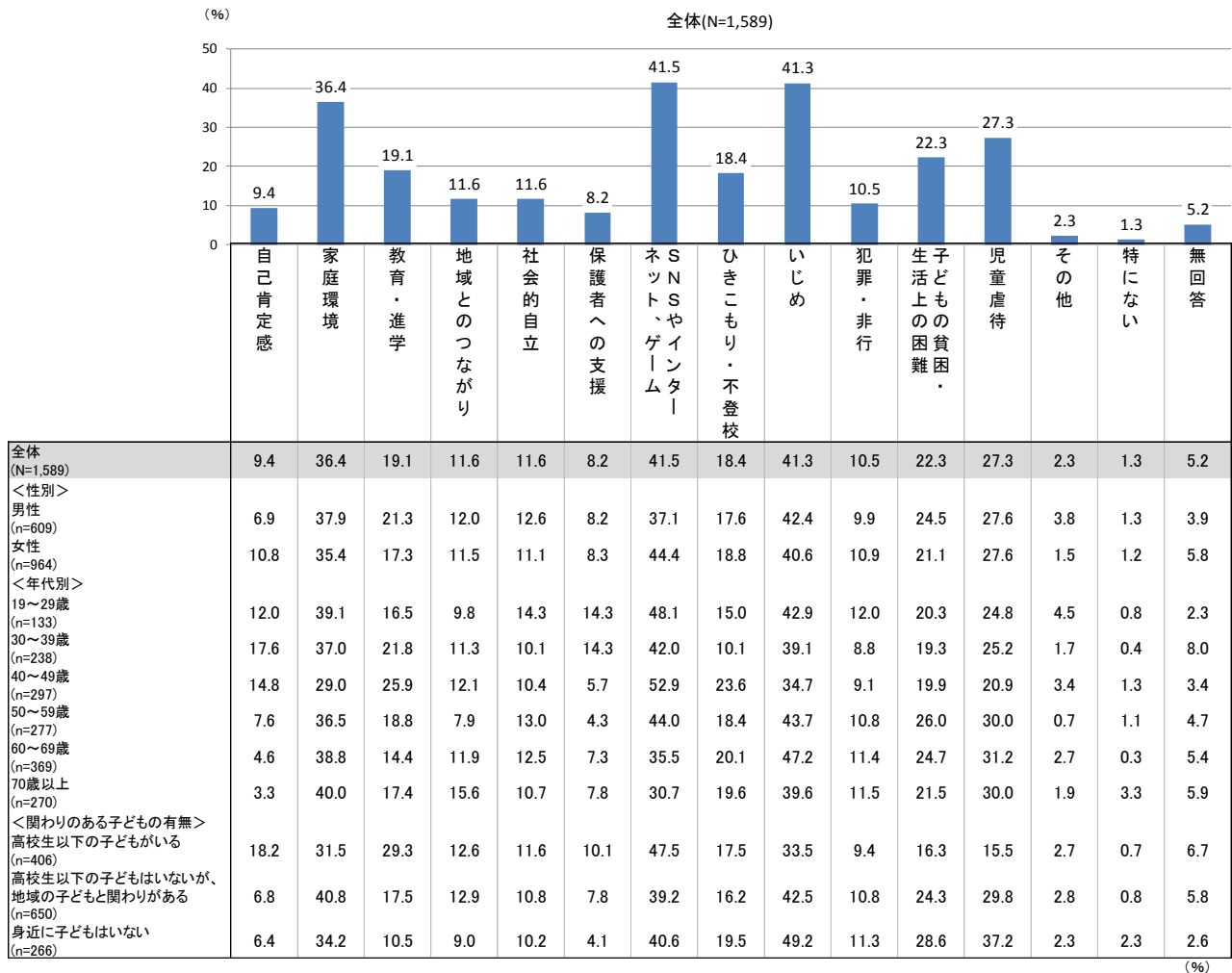
全体では、「親族や友人の子ども」(46.8%)が最も多く、次いで「自分の子ども(その他・成人を含む)」(31.7%)、「近所(同じ地域)の子ども」(23.5%)、「身近に子どもはいない」(16.7%)となっている。

年代別で、自分の子どもの有無について見ると、30歳代で「自分の子ども(乳幼児)」(46.6%)の割合が高く、40歳代で「自分の子ども(小学生)」(34.0%)、「自分の子ども(中学生)」(22.9%)の割合が高くなっている。

上記問3の回答結果に基づき、回答者を子どもとの関わりが多いと考えられる順に、「高校生以下の子どもがいる」・「高校生以下の子どもはいないが、地域の子どもと関わりがある」・「身近に子どもはいない」の3群に分類し、本調査結果で「関わりのある子どもの有無」として表示している。(各群の分類方法はP2「調査結果の表示方法」参照)

<最近の子どもを取り巻く課題>

問4 あなたが、最近の子どもを取り巻く課題として特に重要と思うものは何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。(複数回答)

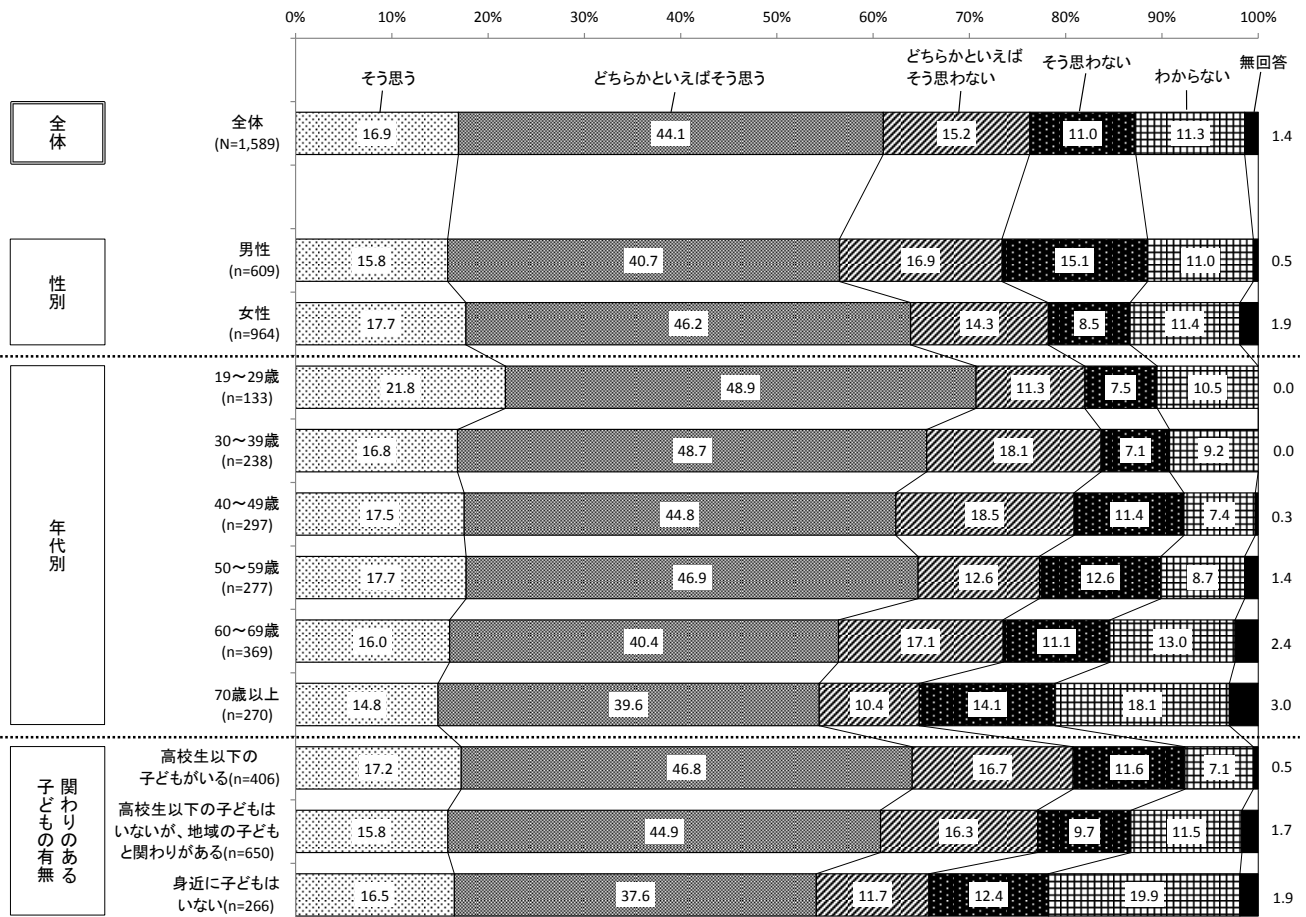


全体では、「SNSやインターネット、ゲーム」(41.5%)が最も多く、次いで「いじめ」(41.3%)、「家庭環境」(36.4%)、「児童虐待」(27.3%)となっている。

<子どもの印象> ①

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

①不安や悩みを抱えこみやすい



全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が61.0%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が26.2%となっている。

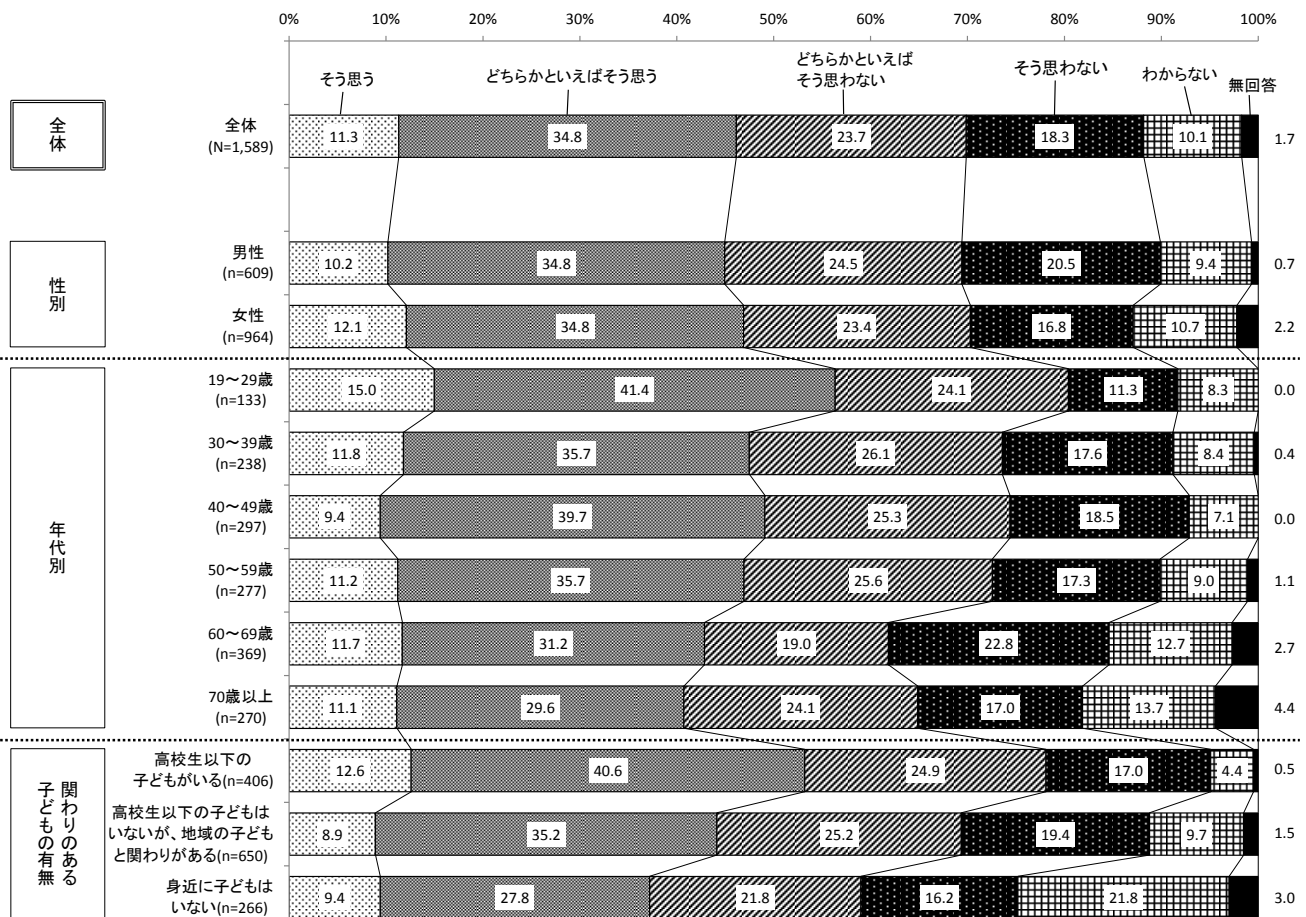
年代別で見ると、年代が低いほど『思う』の割合が高くなる傾向が見られ、19～29歳（70.7%）が最も高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『思う』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの印象> ②

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

②自己肯定感が低い（自分にあまり自信をもてない）



全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が46.1%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が42.0%となっている。

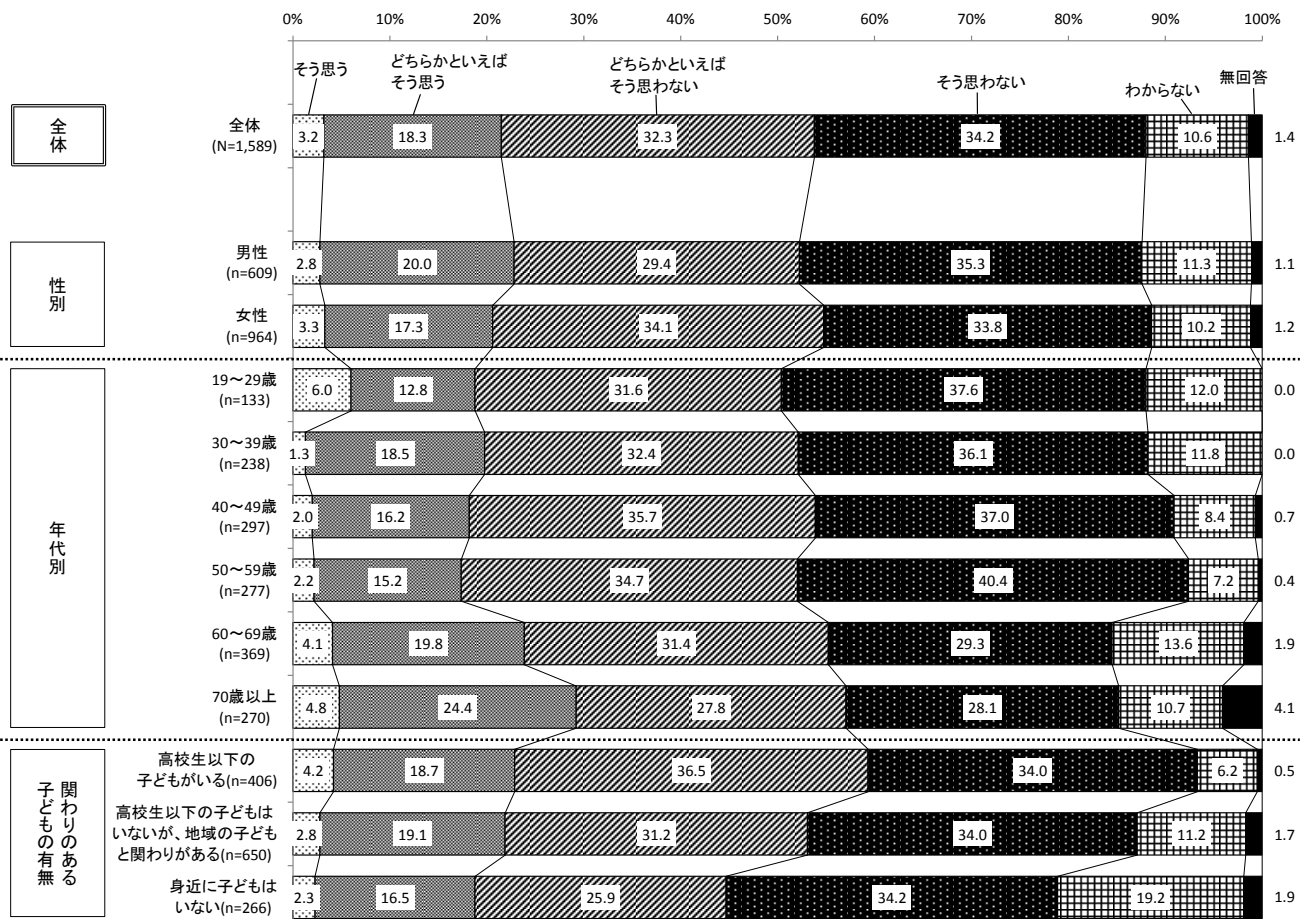
年代別で見ると、年代が低いほど『思う』の割合が高くなる傾向が見られ、19～29歳（56.4%）が最も高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『思う』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの印象> ③

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

③直面した問題に自分で対応する力をもっている



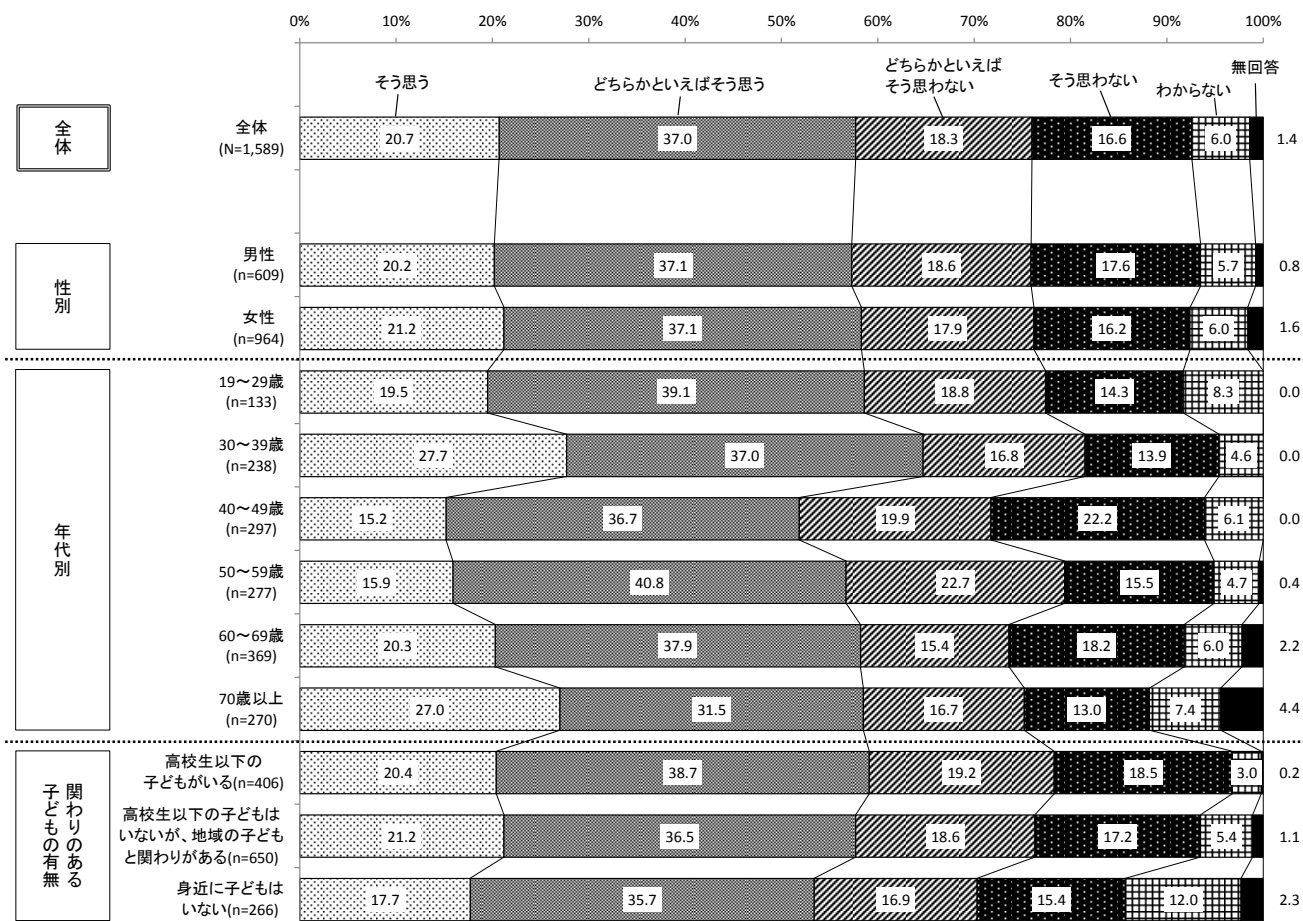
全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が21.5%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が66.5%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『思わない』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの印象> ④

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

④子どもが安心できる場所が少ない



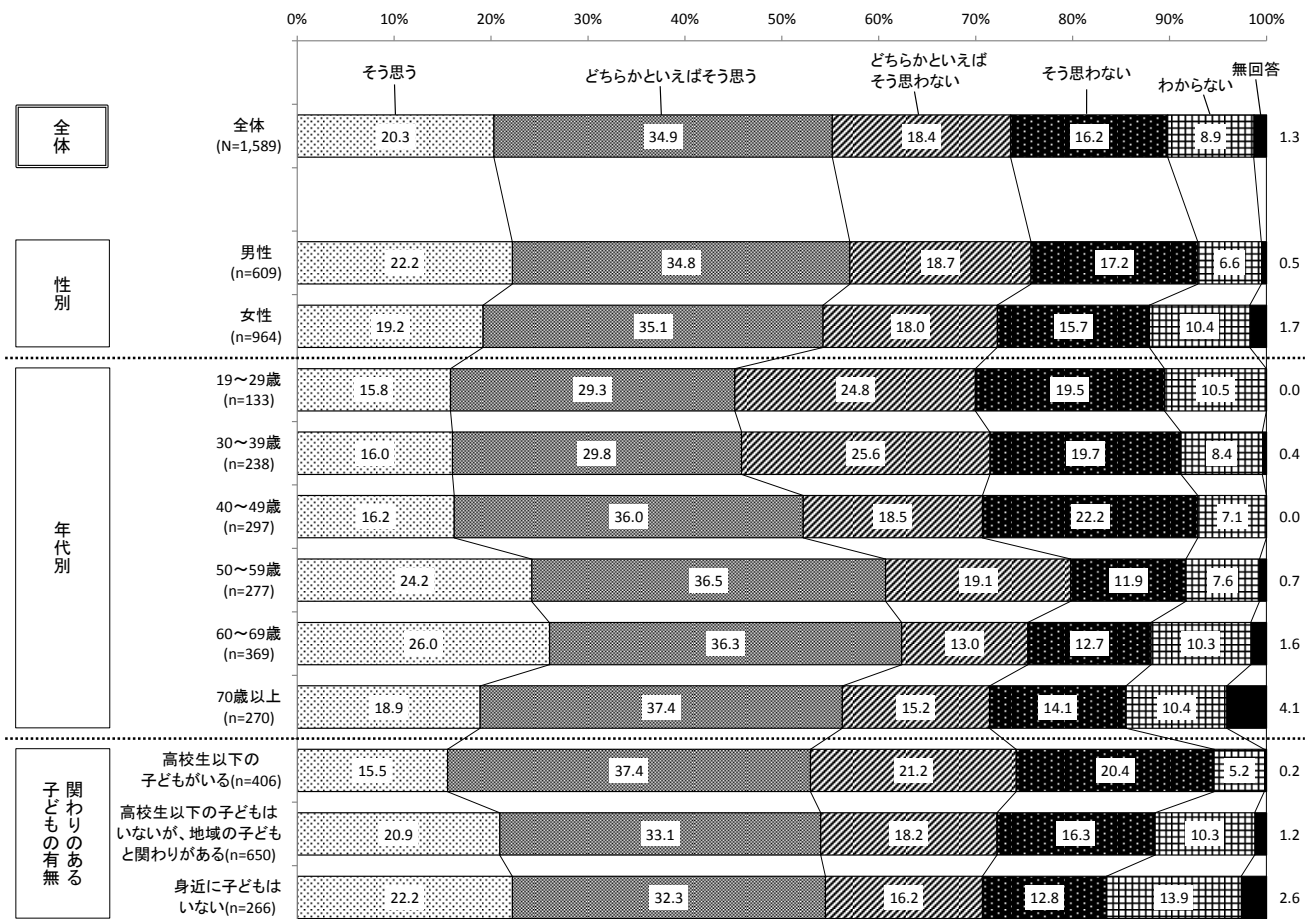
全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が57.7%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が34.9%となっている。

年代別で見ると、『思う』の割合は30歳代（64.7%）で高くなっている。

<子どもの印象> ⑤

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑤友達同士の関係が希薄化している



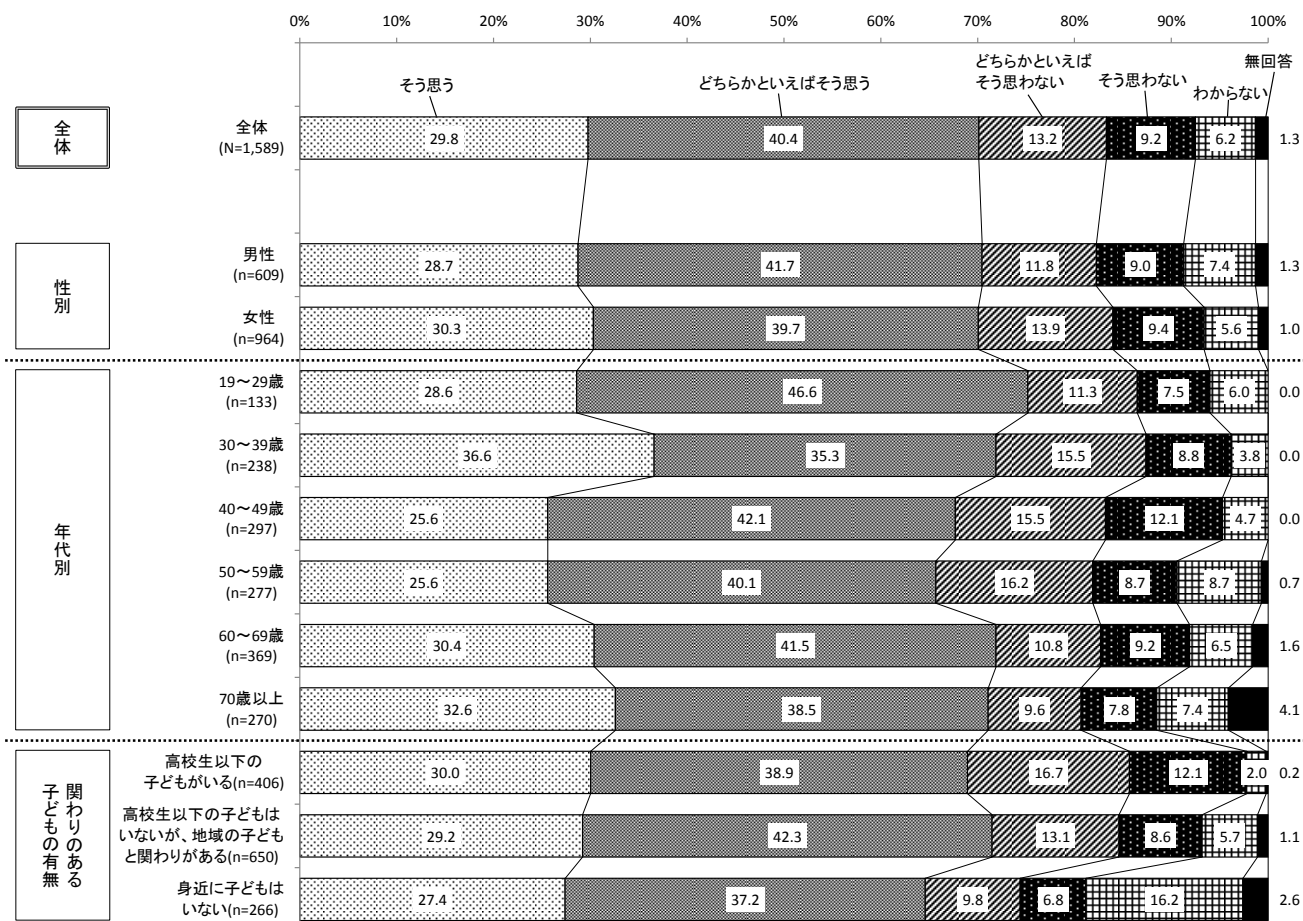
全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が55.1%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が34.6%となっている。

年代別で見ると、年代が高いほど『思う』の割合が高くなる傾向が見られ、50歳代で60.6%、60歳代で62.3%となっている。

<子どもの印象> ⑥

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑥共働きなどで保護者と過ごす時間が足りない

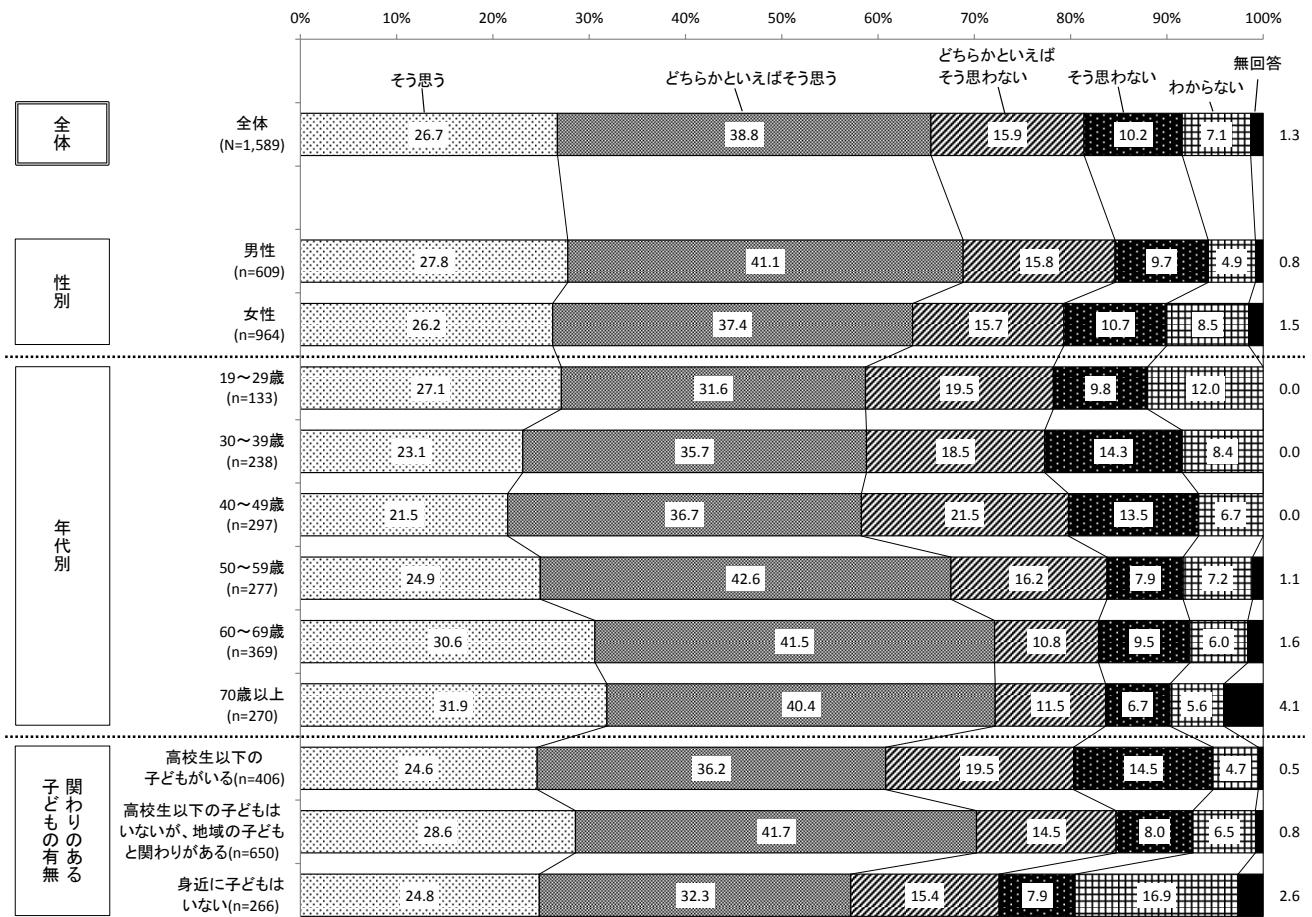


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が70.2%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が22.3%となっている。

<子どもの印象> ⑦

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑦家庭や学校以外に大人と関わる機会が少なすぎる



全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が65.5%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が26.1%となっている。

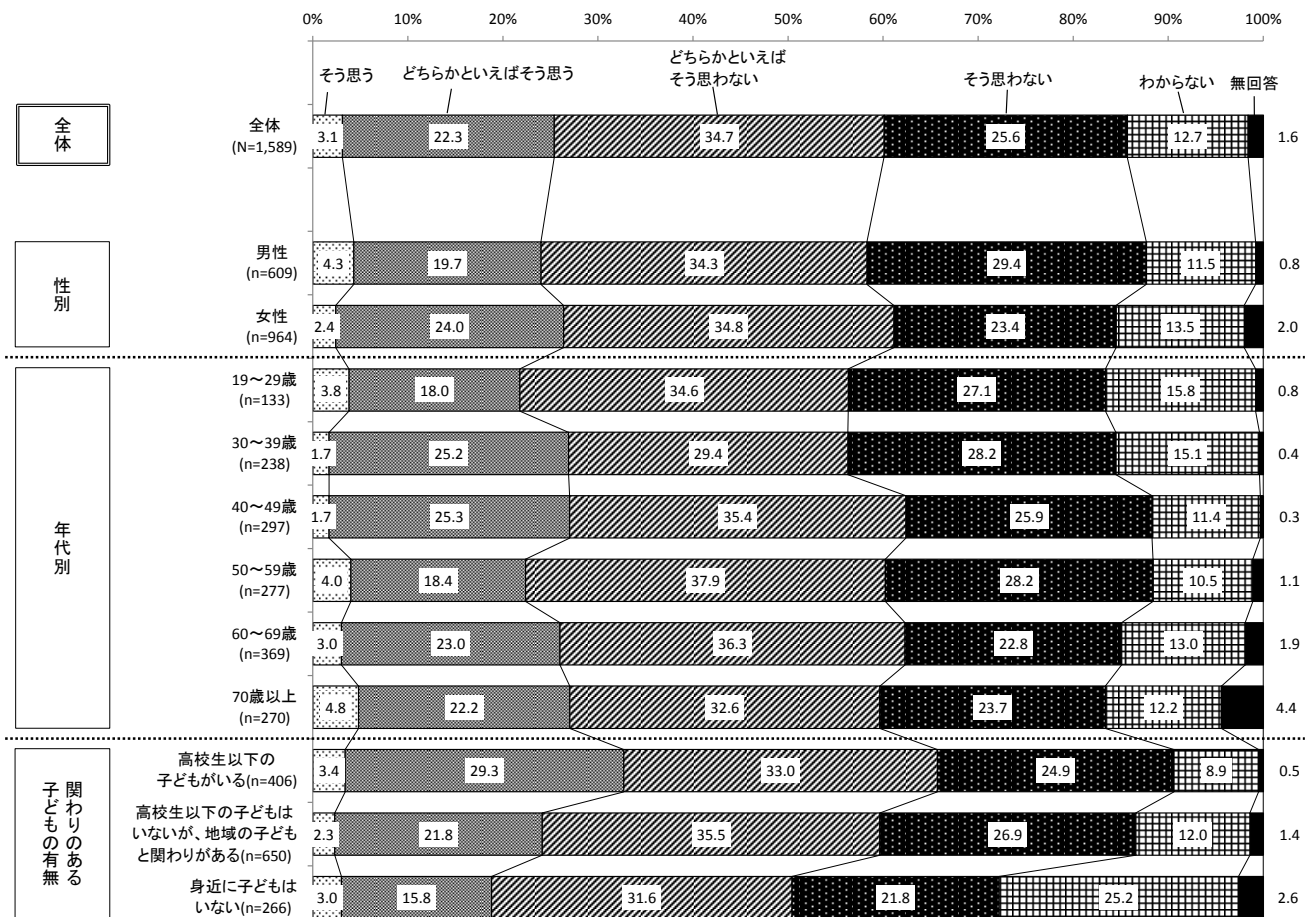
年代別で見ると、50歳以上で『思う』の割合が高くなる傾向が見られる。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもはいないが地域の子どもの関わりがある人では、『思う』の割合が70.3%と高くなっている。

<子どもの印象> ⑧

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑧周囲の大人は子どもの思いや考えに配慮できている



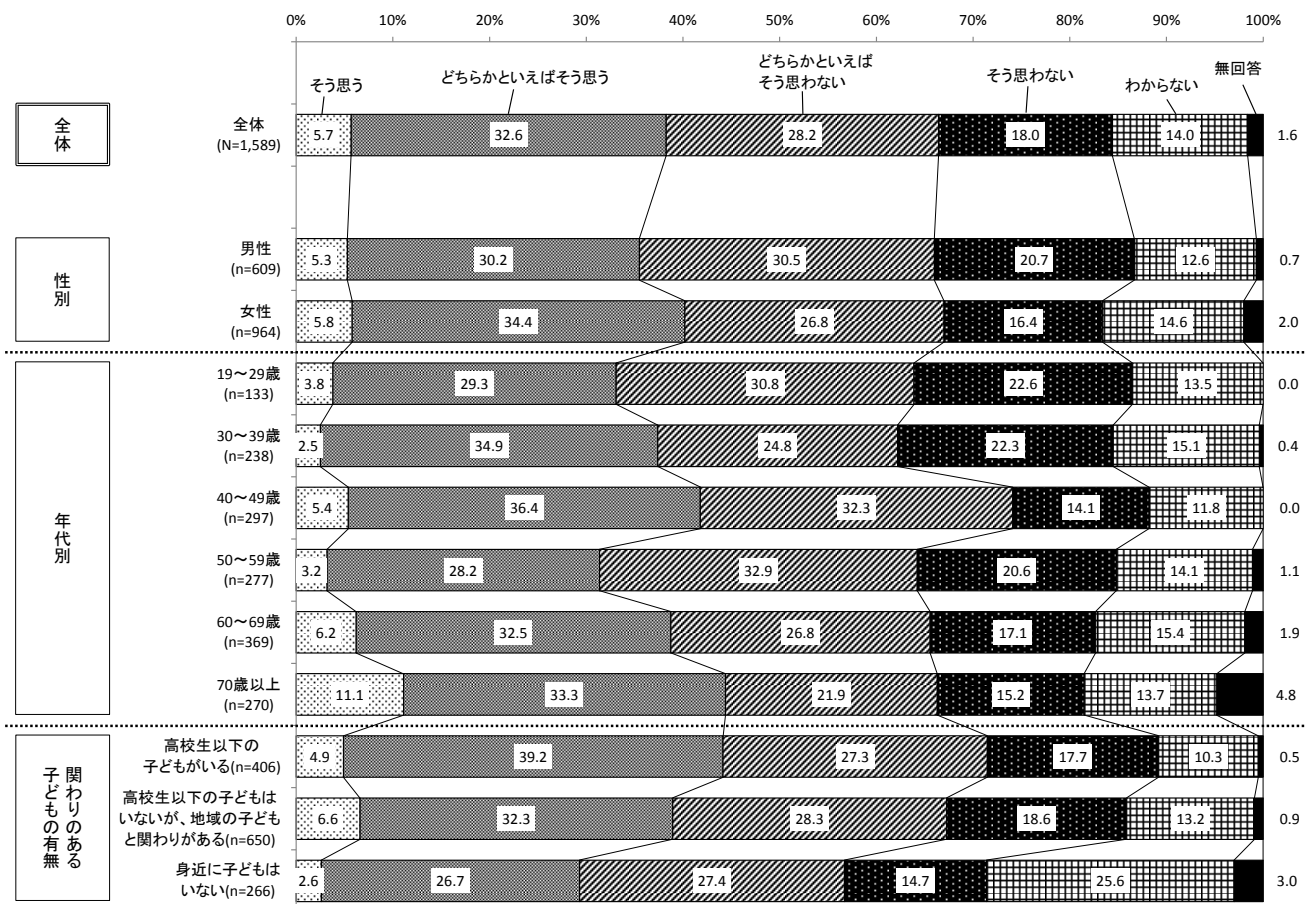
全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が25.4%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が60.2%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『思う』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの印象> ⑨

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑨周囲の大人は子どもの意欲・自主性を大切にしている



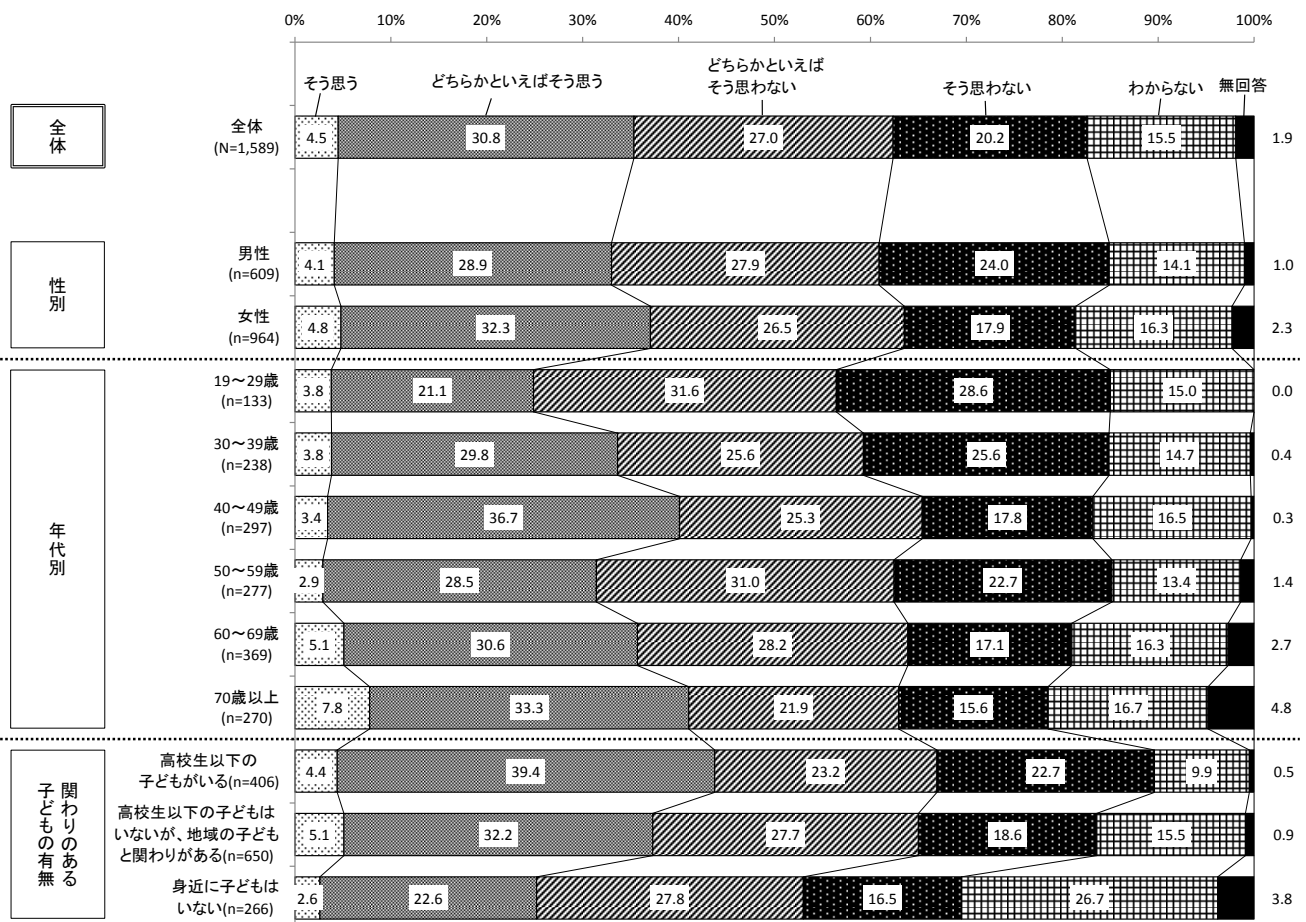
全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が38.3%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が46.2%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『思う』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの印象> ⑩

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑩地域も子どもの健やかな成長を助けている



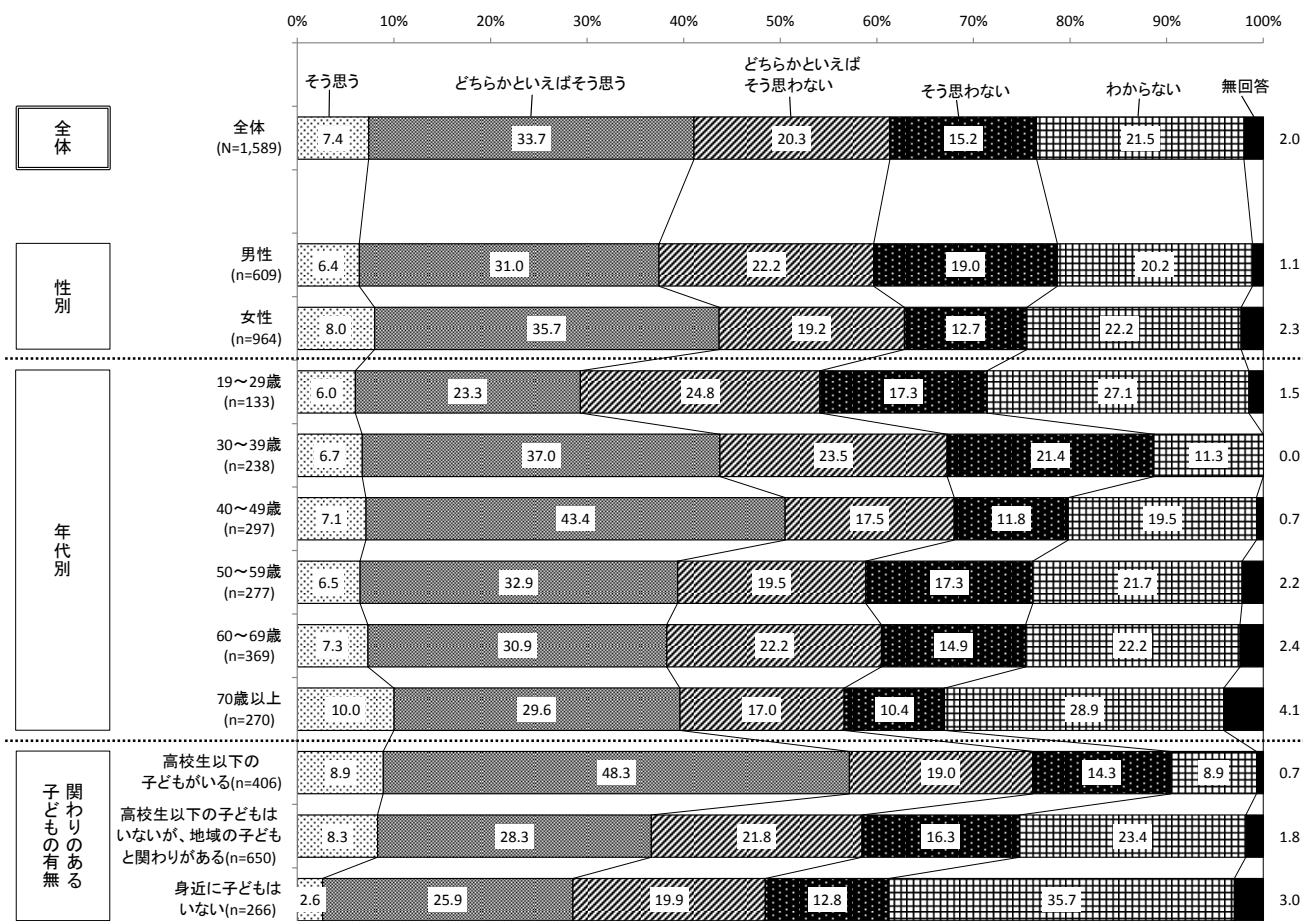
全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が35.4%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が47.2%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『思う』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの印象> ⑪

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑪乳幼児の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられている



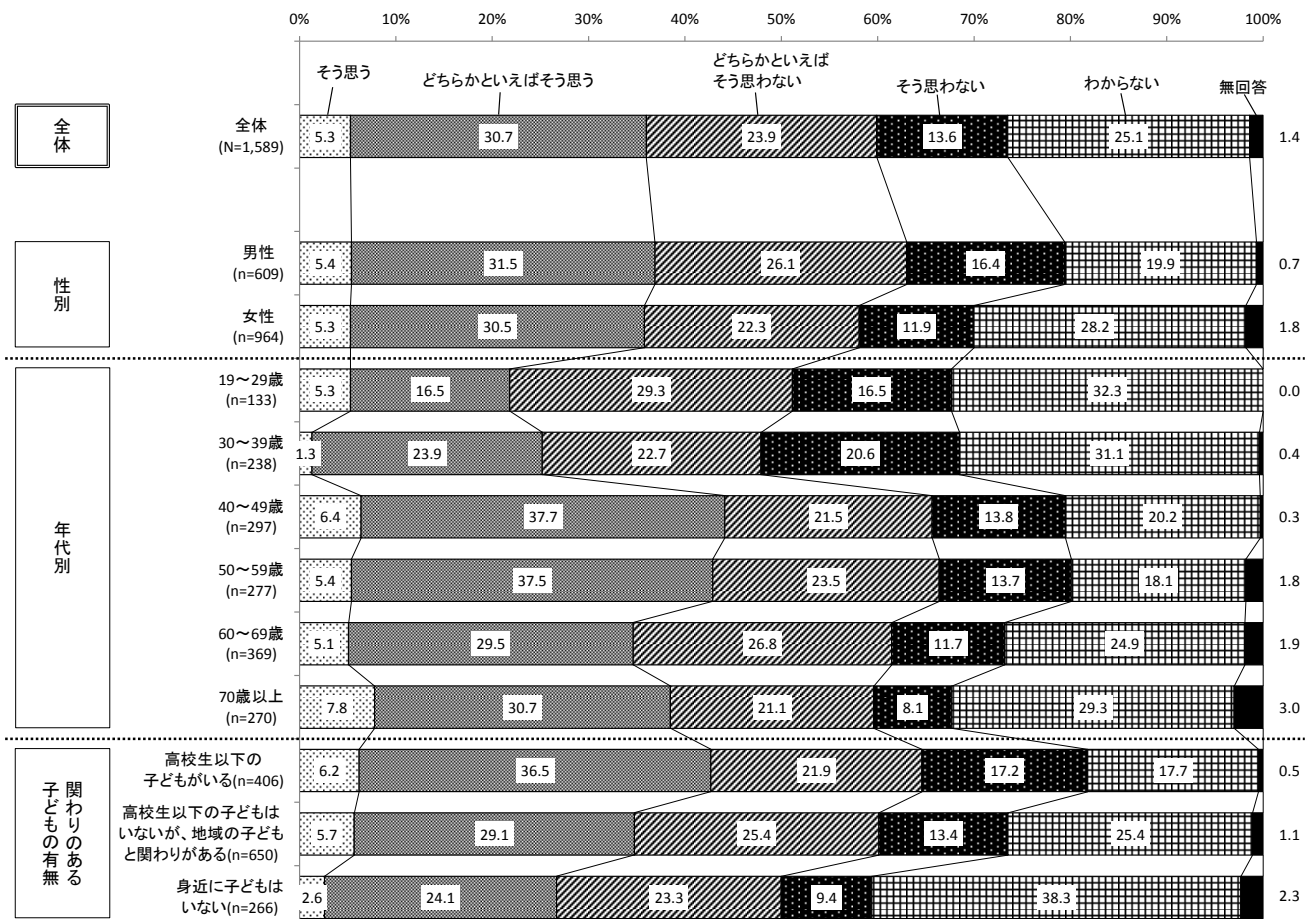
全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が41.0%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が35.6%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『思う』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの印象> ⑫

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑫小・中学生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられている



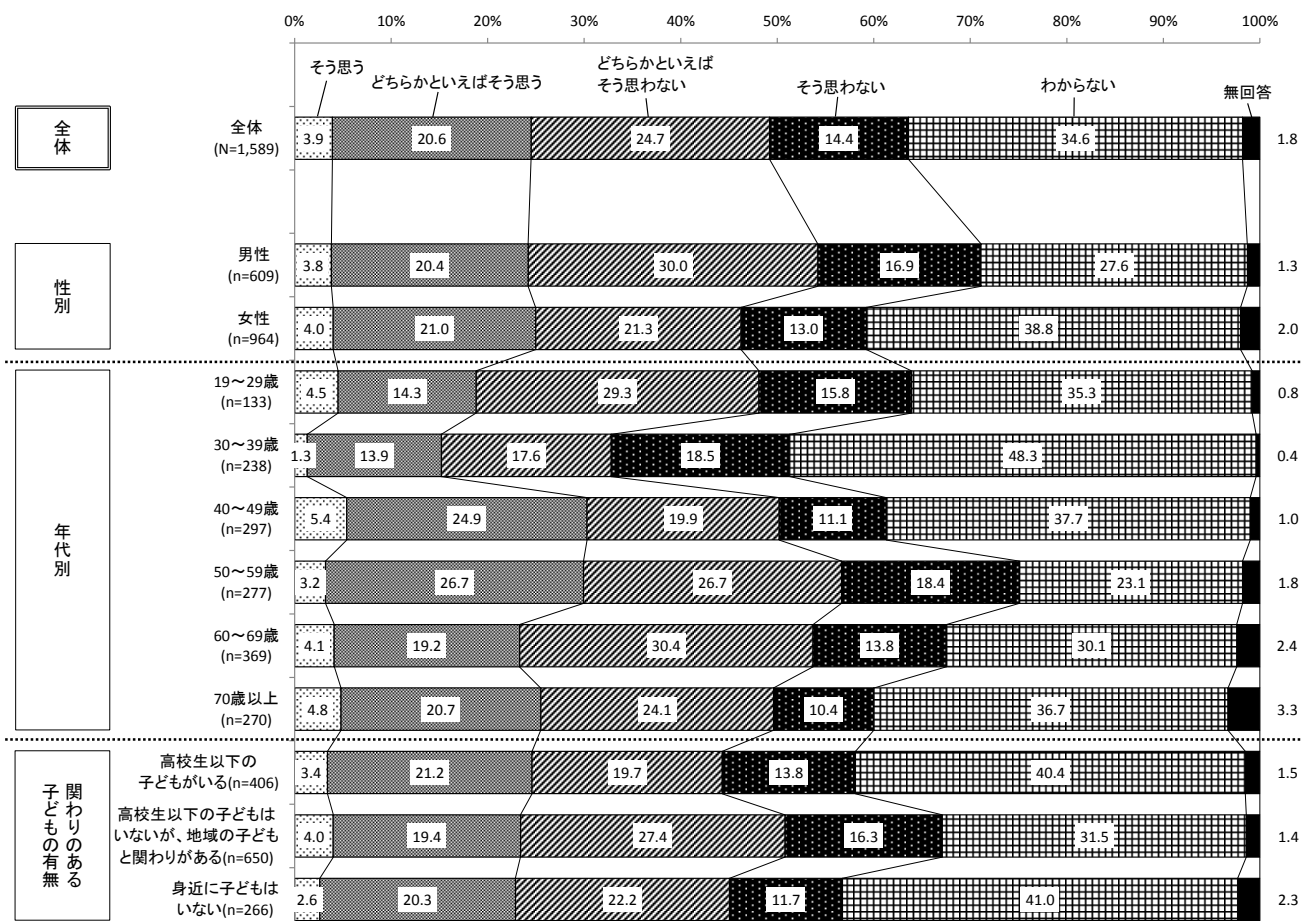
全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が36.0%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が37.4%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『思う』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの印象> ⑬

問5 あなたは、今の子どもについて全体的にどのような印象をお持ちですか。身近な子どものイメージでもかまいません。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑬ 高校生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられている

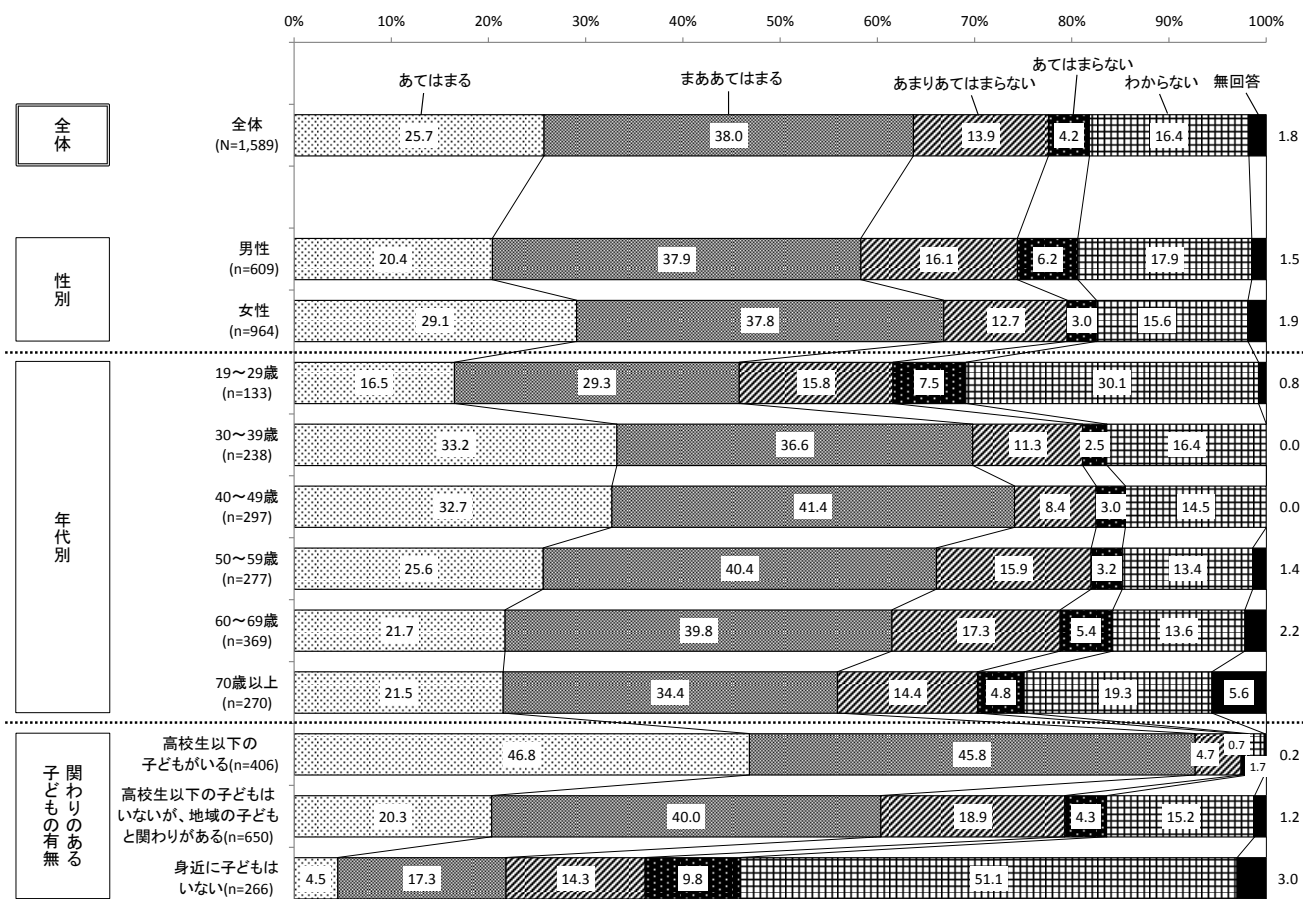


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が24.5%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が39.1%となっている。

<子どもへの接し方> ①

問7 あなたはふだん、大人（保護者）として、どのように子どもに接していますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

①マナーや生活習慣について積極的に教える



全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が63.7%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が18.1%となっている。

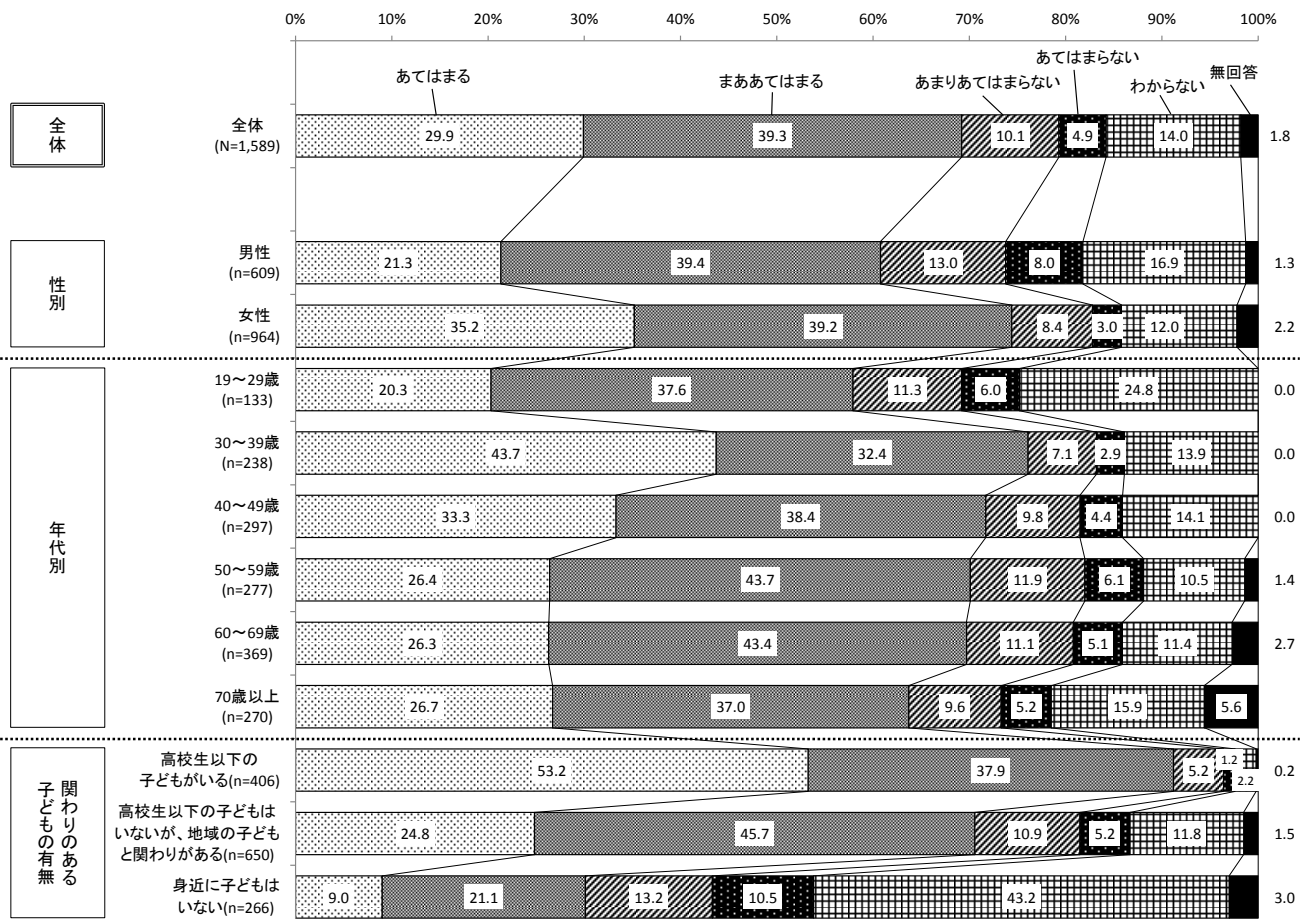
性別で見ると、『あてはまる』の割合は女性（66.9%）が男性（58.3%）より高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、『あてはまる』の割合が92.6%と高くなっている。

<子どもへの接し方> ②

問7 あなたはふだん、大人（保護者）として、どのように子どもに接していますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

②不安な様子をしていたら声かけする



全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が69.2%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が15.0%となっている。

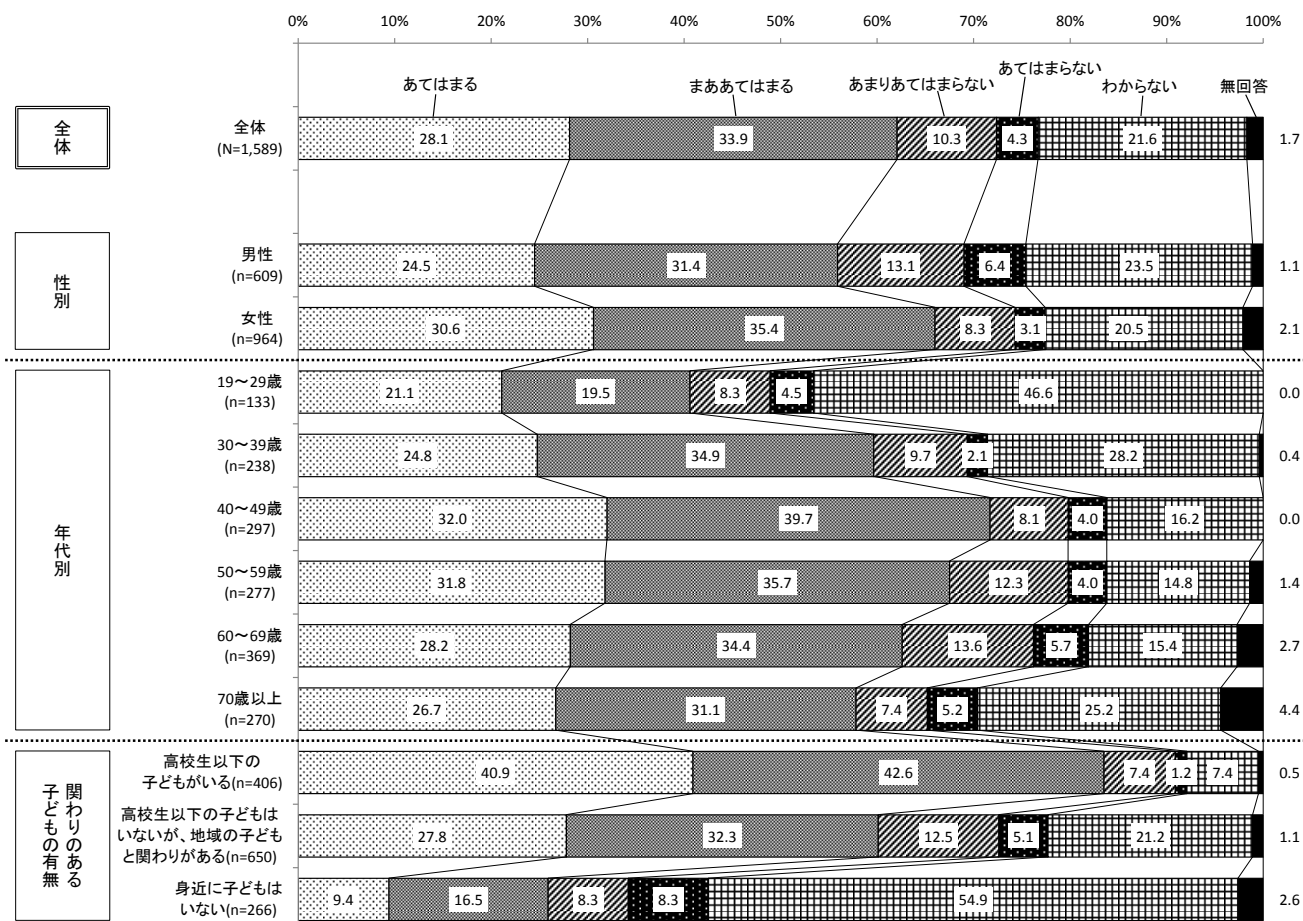
性別で見ると、『あてはまる』の割合は女性（74.4%）が男性（60.8%）より高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、『あてはまる』の割合が91.1%と高くなっている。

<子どもへの接し方> ③

問7 あなたはふだん、大人（保護者）として、どのように子どもに接していますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

③子どもからのまじめな話は時間や機会をつくってまじめに聞く



全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が62.1%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が14.7%となっている。

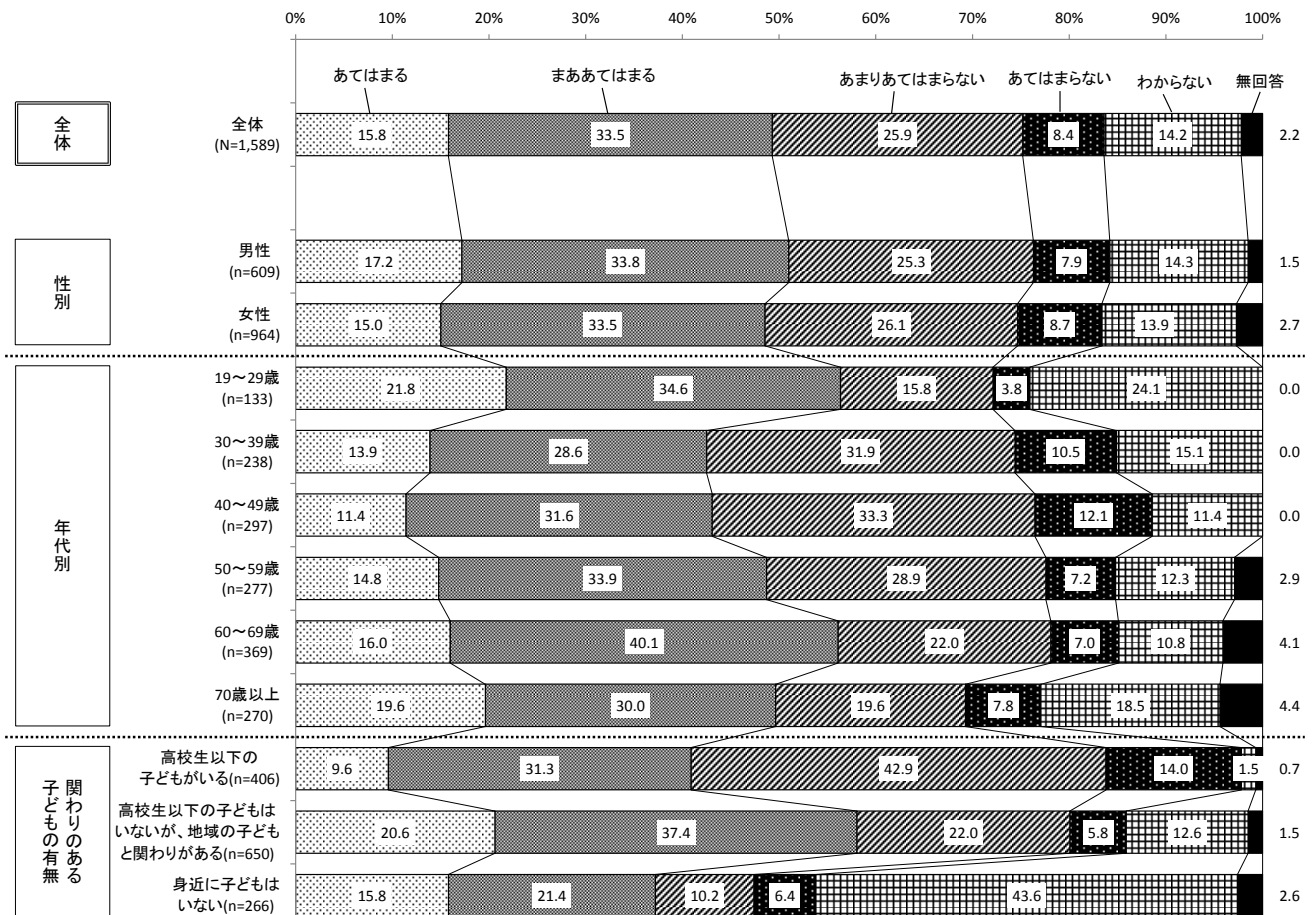
性別で見ると、『あてはまる』の割合は女性（66.0%）が男性（55.8%）より高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、『あてはまる』の割合が83.5%と高くなっている。

<子どもへの接し方> ④

問7 あなたはふだん、大人（保護者）として、どのように子どもに接していますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

④子どもに対して感情的にならない



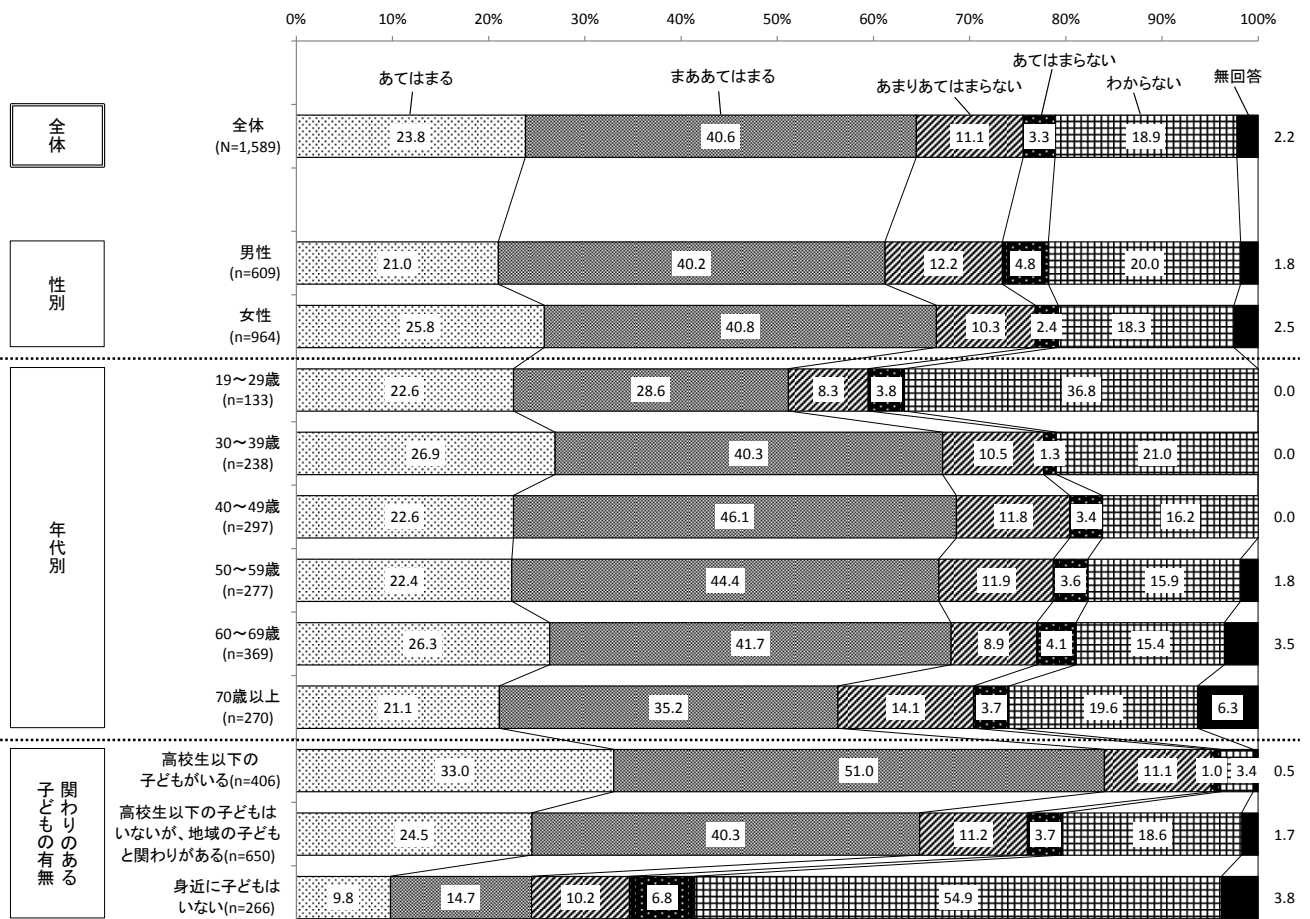
全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が49.3%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が34.2%となっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、『あてはまる』が40.9%に対して、『あてはまらない』が56.9%と上回っている。

<子どもへの接し方> ⑤

問7 あなたはふだん、大人（保護者）として、どのように子どもに接していますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑤色々なことを経験し学べるように後押しする



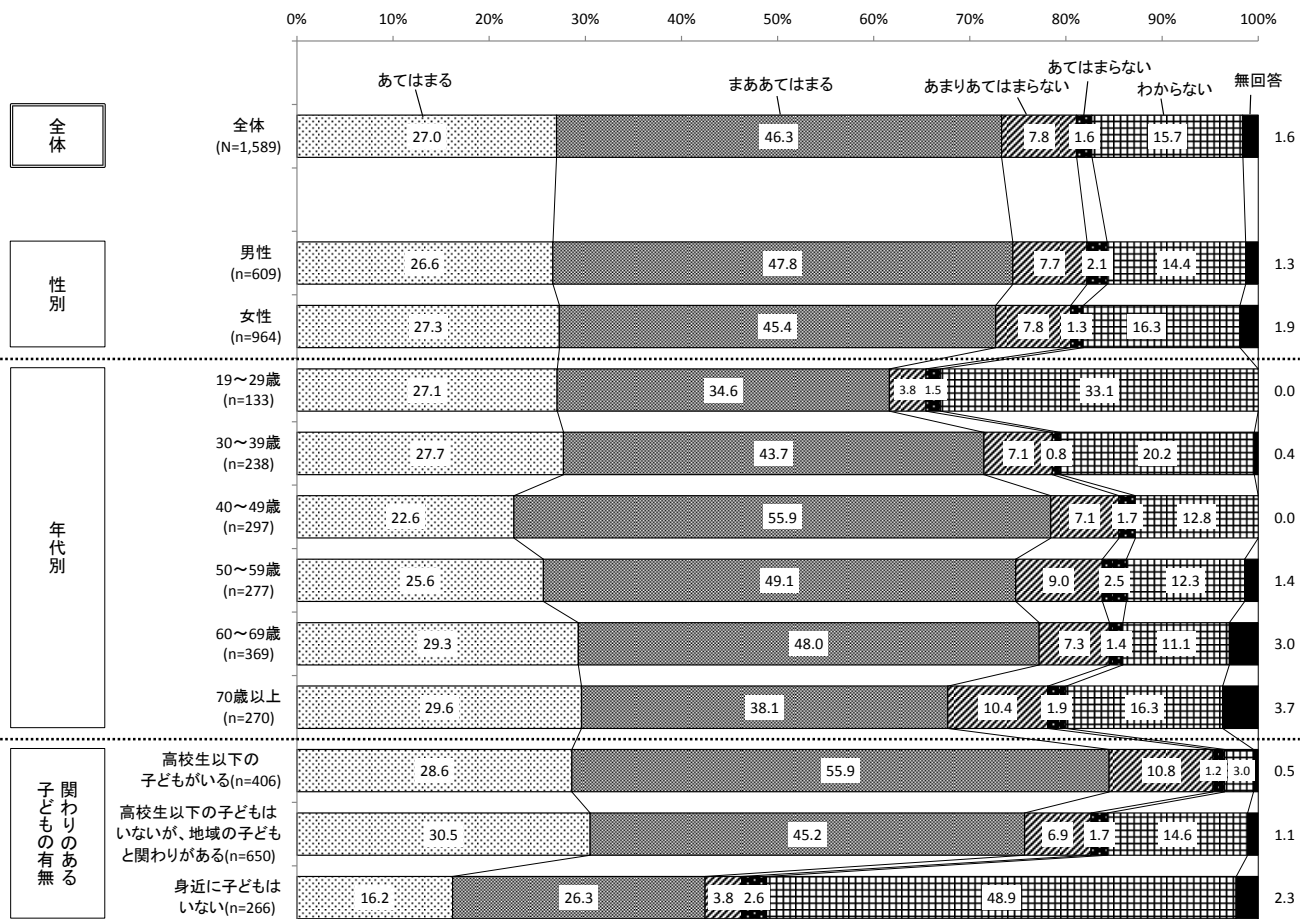
全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が64.4%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が14.5%となっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、『あてはまる』の割合が84.0%と高くなっている。

<子どもへの接し方> ⑥

問7 あなたはふだん、大人（保護者）として、どのように子どもに接していますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑥必要な手助けはするが、できるだけ自分で考えさせる



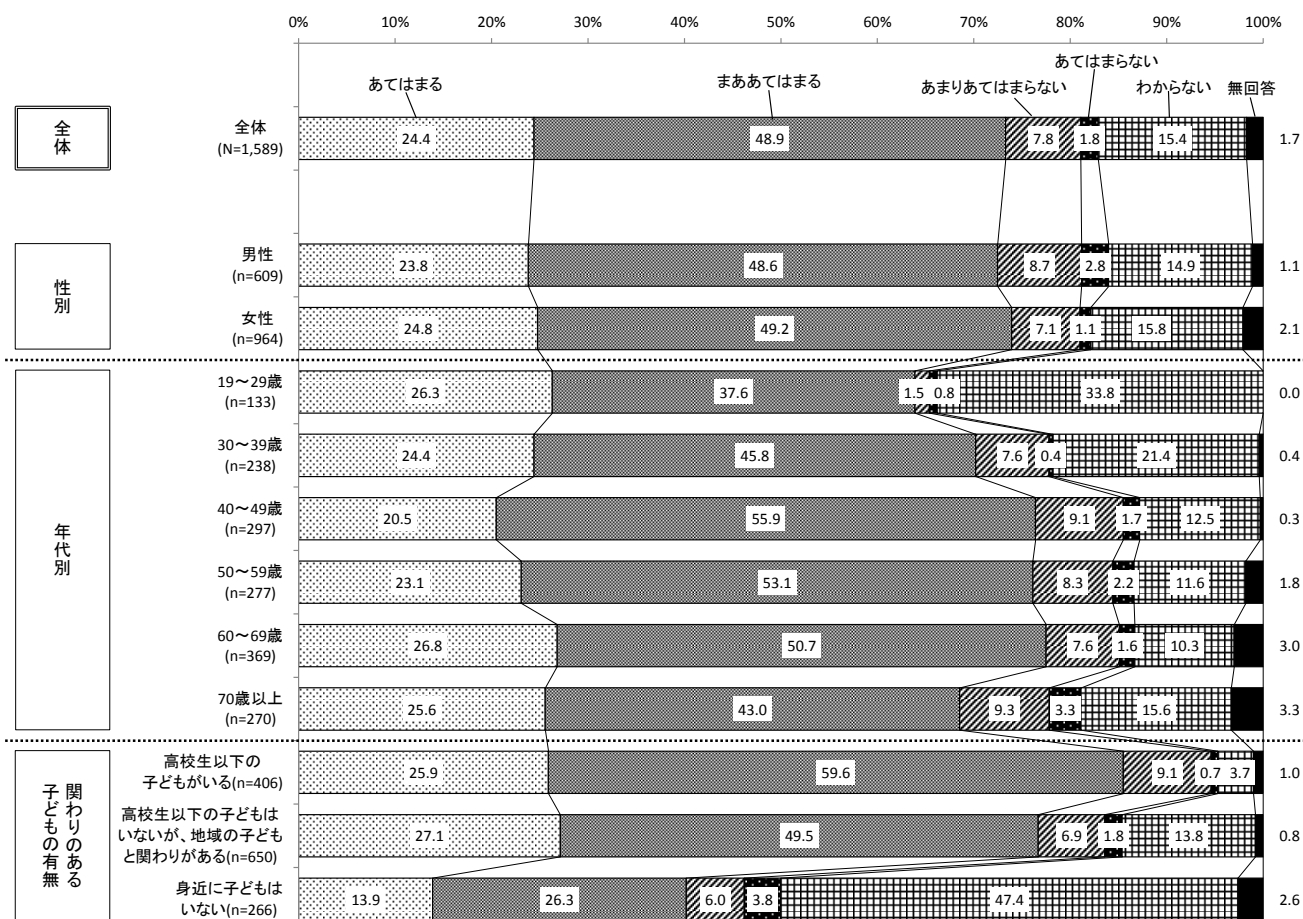
全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が73.3%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が9.4%となっている。

子どもとの関わりで見ると、『あてはまる』の割合は、高校生以下の子どもがいる人で84.5%、高校生以下の子どもはいないが地域の子どもの関わりがある人で75.7%と高くなっている。

<子どもへの接し方> ⑦

問7 あなたはふだん、大人（保護者）として、どのように子どもに接していますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑦できるだけ子どもの考えや意見を理解し、尊重する



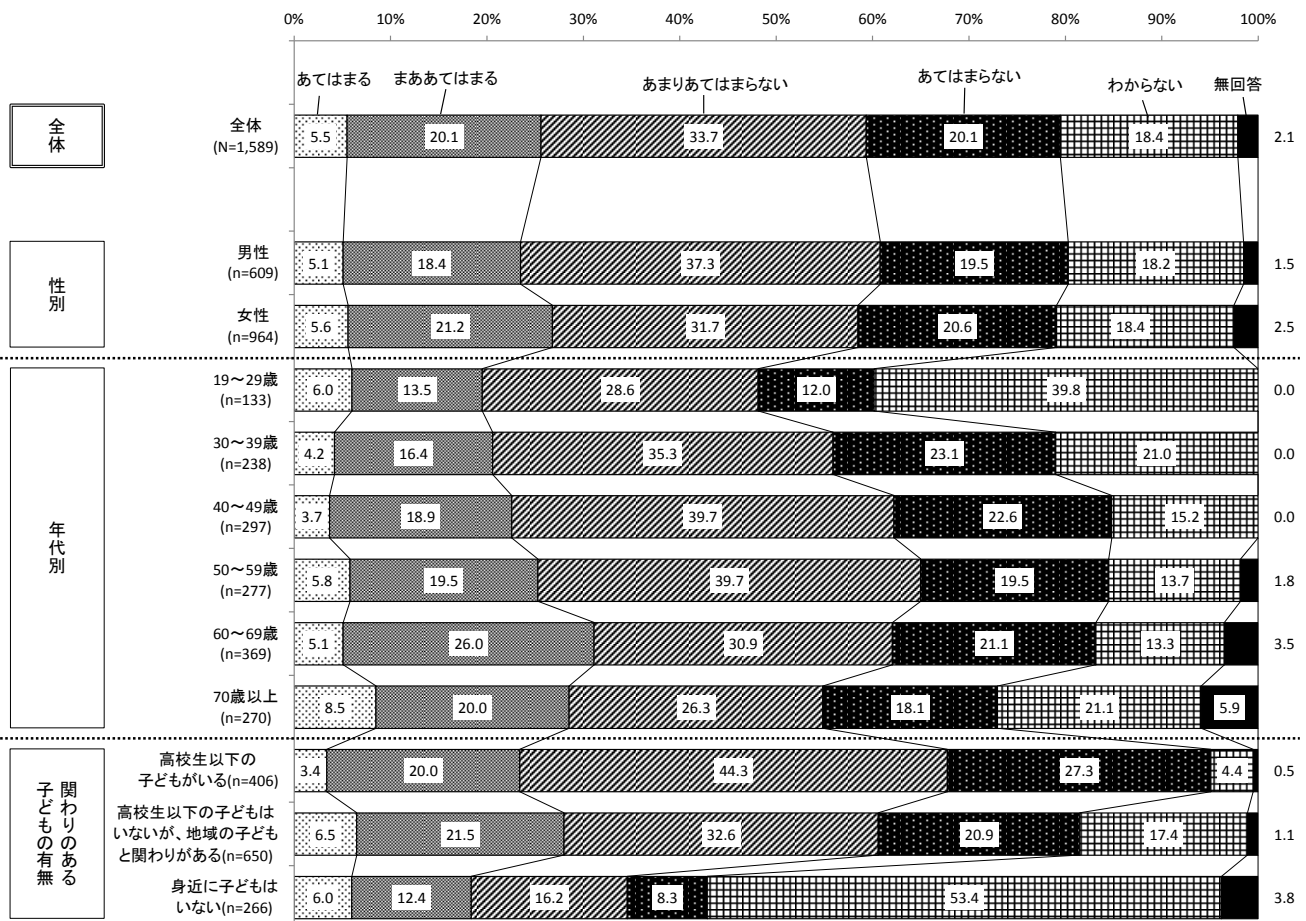
全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が73.3%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が9.6%となっている。

子どもとの関わりで見ると、『あてはまる』の割合は、高校生以下の子どもがいる人で85.5%、高校生以下の子どもはいないが地域の子どもの関わりがある人で76.6%と高くなっている。

<子どもへの接し方> ⑧

問7 あなたはふだん、大人（保護者）として、どのように子どもに接していますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑧子どものことは子どもに任せてあまり関与しない



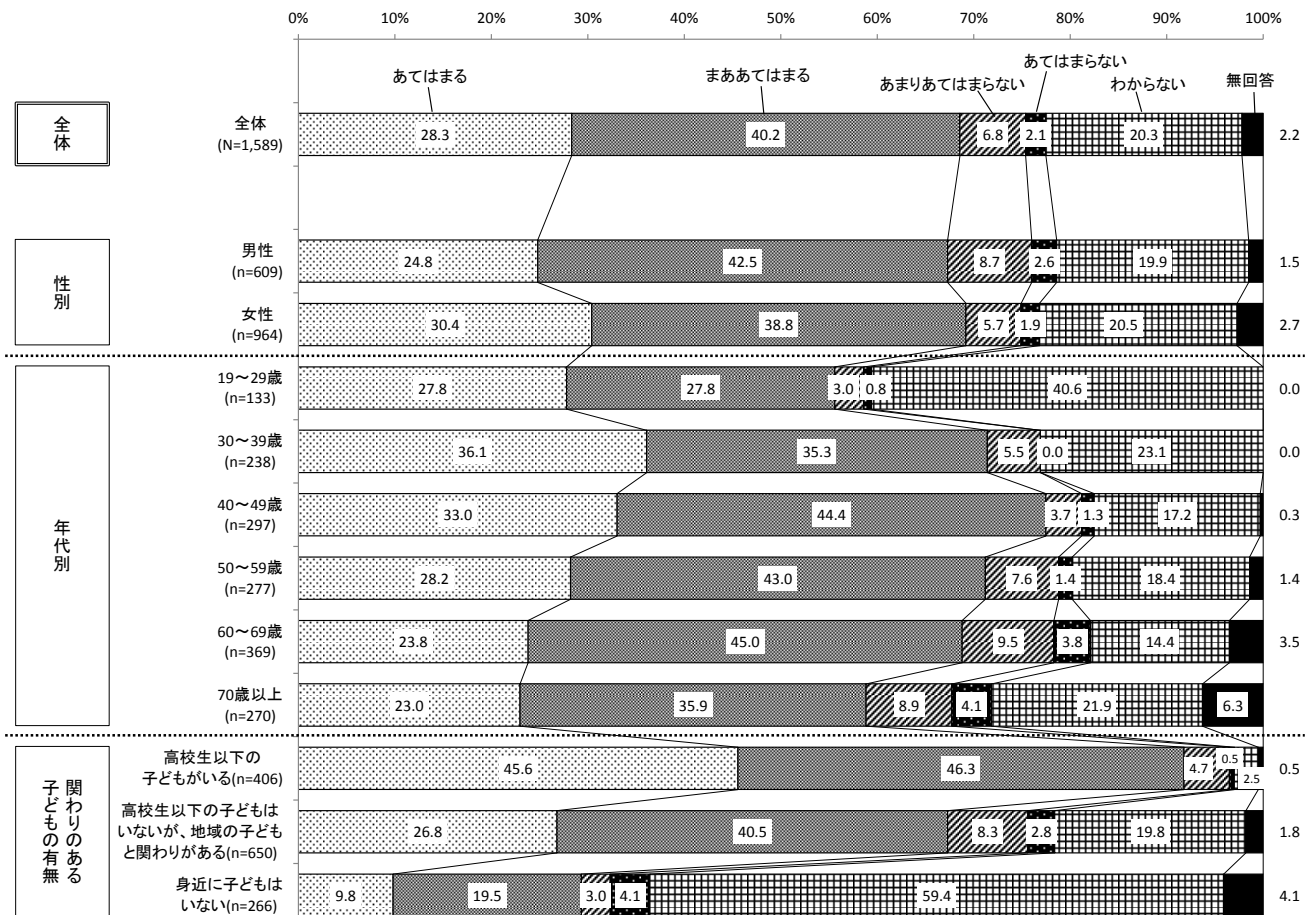
全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が25.6%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が53.9%となっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、『あてはまらない』の割合が71.7%と高くなっている。

<子どもへの接し方> ⑨

問7 あなたはふだん、大人（保護者）として、どのように子どもに接していますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑨子どもが休んだり遊んだり自由に過ごす時間も大事にしている



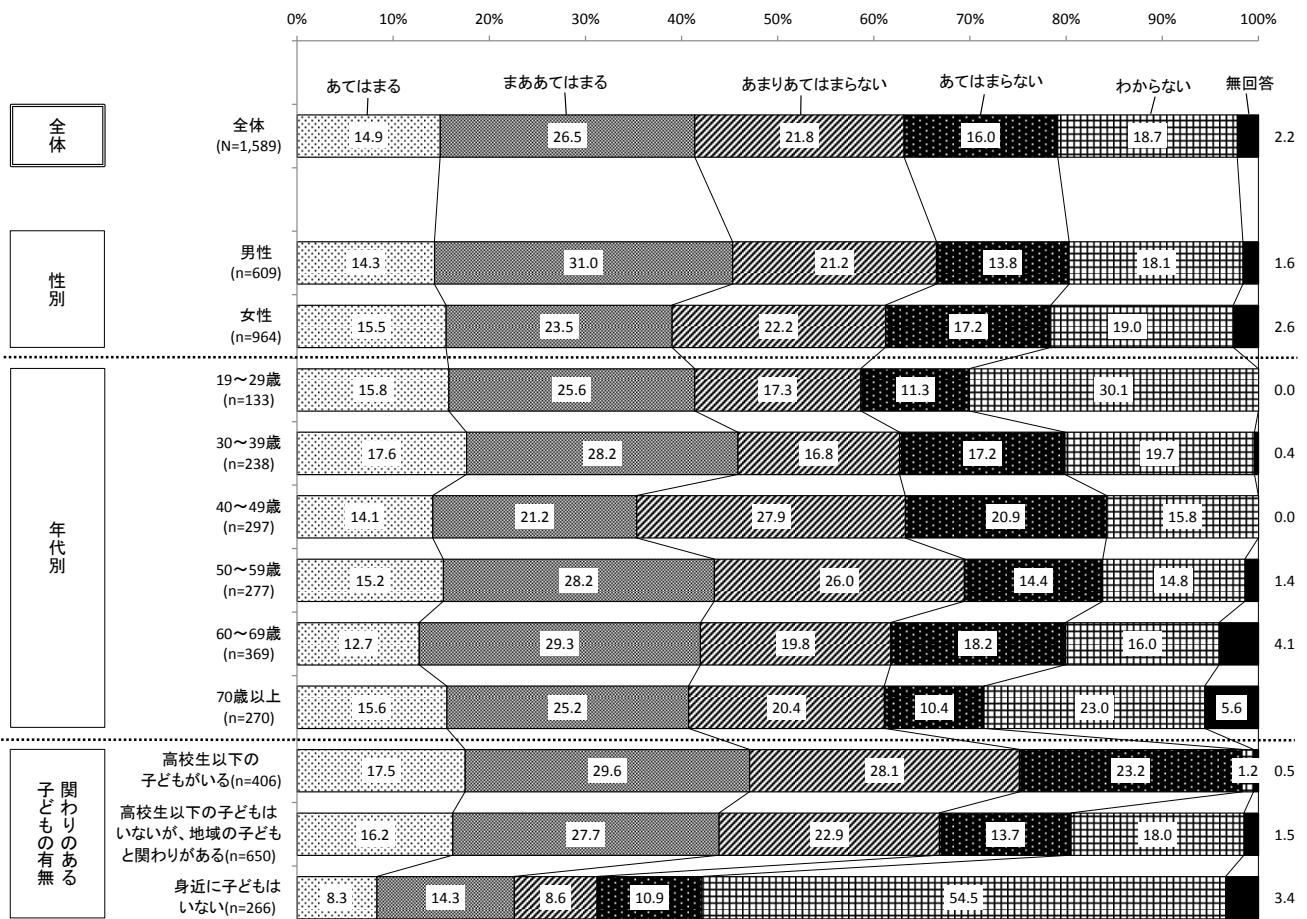
全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が68.5%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が8.9%となっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、『あてはまる』の割合が91.9%と高くなっている。

<子どもへの接し方> ⑩

問7 あなたはふだん、大人（保護者）として、どのように子どもに接していますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑩子どもにもっと関わりたいとは思っているが、機会や時間を十分とれない

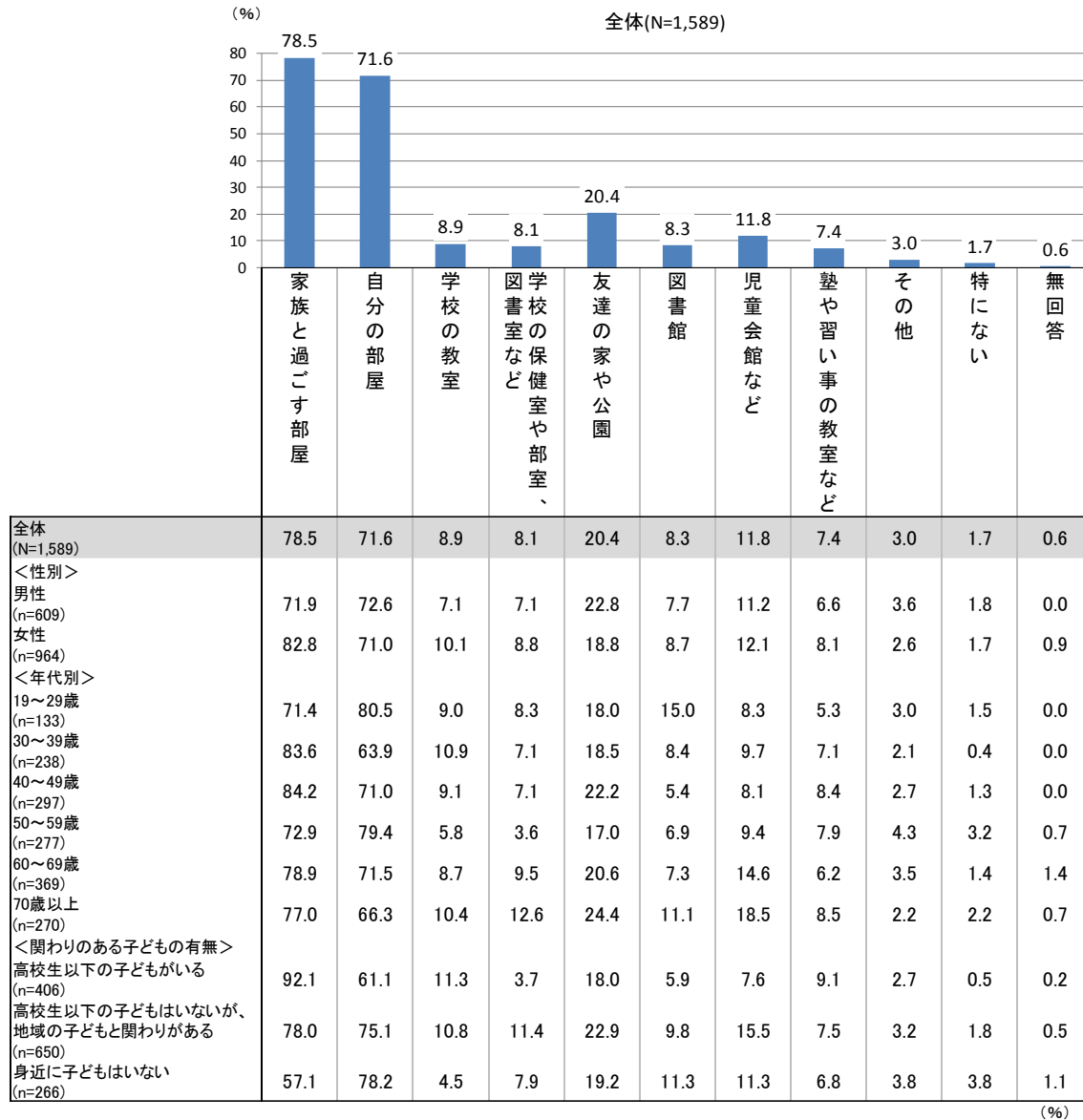


全体では、『あてはまる』（「あてはまる」＋「まああてはまる」）が41.3%、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）が37.8%となっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、『あてはまる』（47.0%）に対して『あてはまらない』（51.2%）がやや多く、高校生以下の子どもはいないが地域の子どもの関わりがある人では、『あてはまる』（43.8%）が『あてはまらない』（36.6%）より多くなっている。

<子どもが安心していられる場所>

問8 あなたは、子どもがホッとでき、安心していられる場所は、どこだと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答)



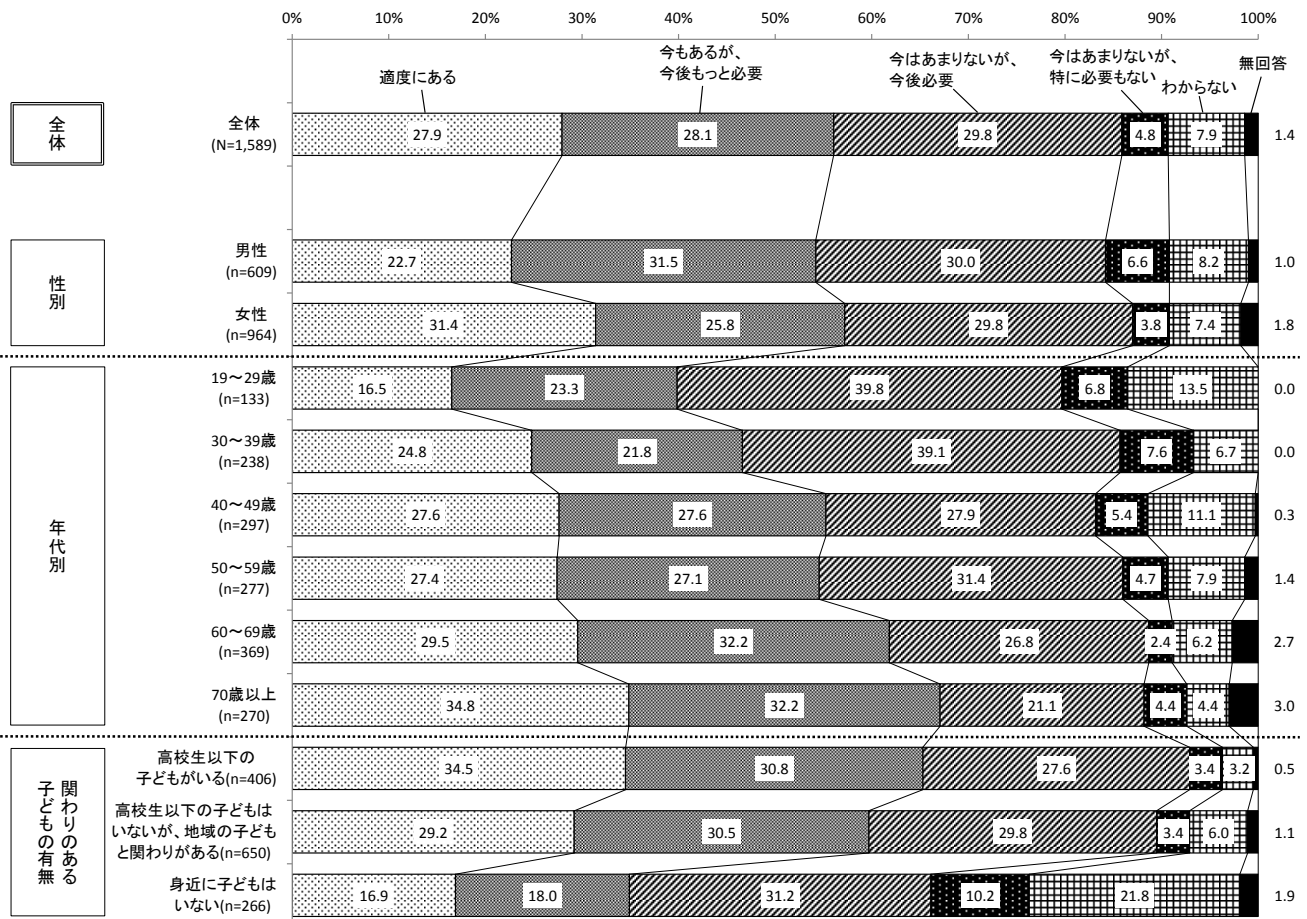
全体では、「家族と過ごす部屋」(78.5%)が最も多く、次いで「自分の部屋」(71.6%)となっている。

子どもとの関わりで見ると、「家族と過ごす部屋」の割合は、子どもとの関わりが多い人ほど高くなる傾向が見られる一方、「自分の部屋」の割合は、子どもとの関わりが少ない人ほど高くなる傾向が見られる。

<地域と子どもの関わり> ①

問9 あなたは、今の地域と子どもの関わりについてどのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

①子どもとのふだんのあいさつや声かけ



全体では、『ある』(「適度にある」+「今もあるが、今後もっと必要」)が56.0%、「今はあまりないが、今後必要」が29.8%となっている。

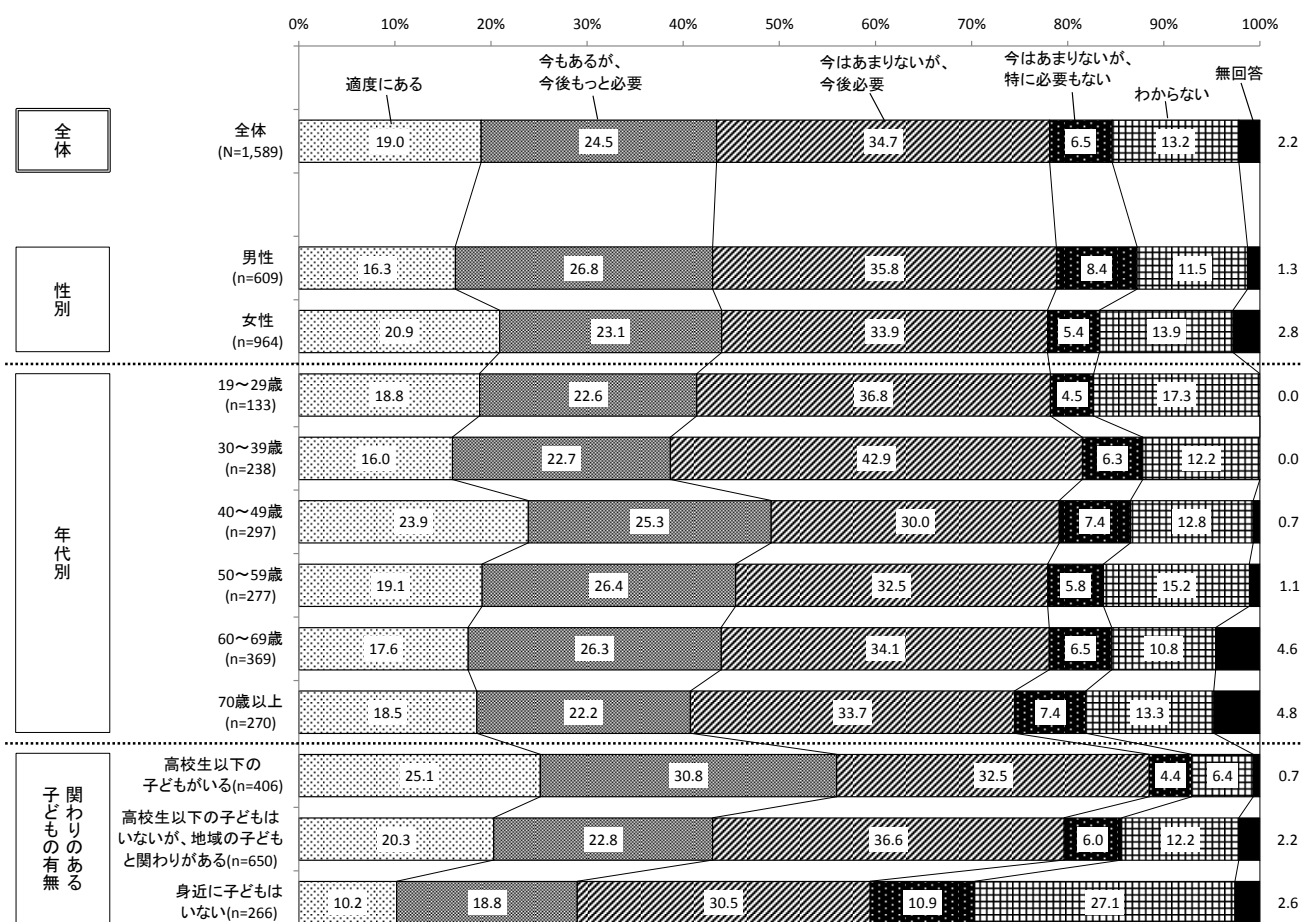
年代別で見ると、年代が高いほど『ある』の割合が高くなる傾向が見られる。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『ある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<地域と子どもの関わり> ②

問9 あなたは、今の地域と子どもの関わりについてどのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

②通学時やふだんの見守り



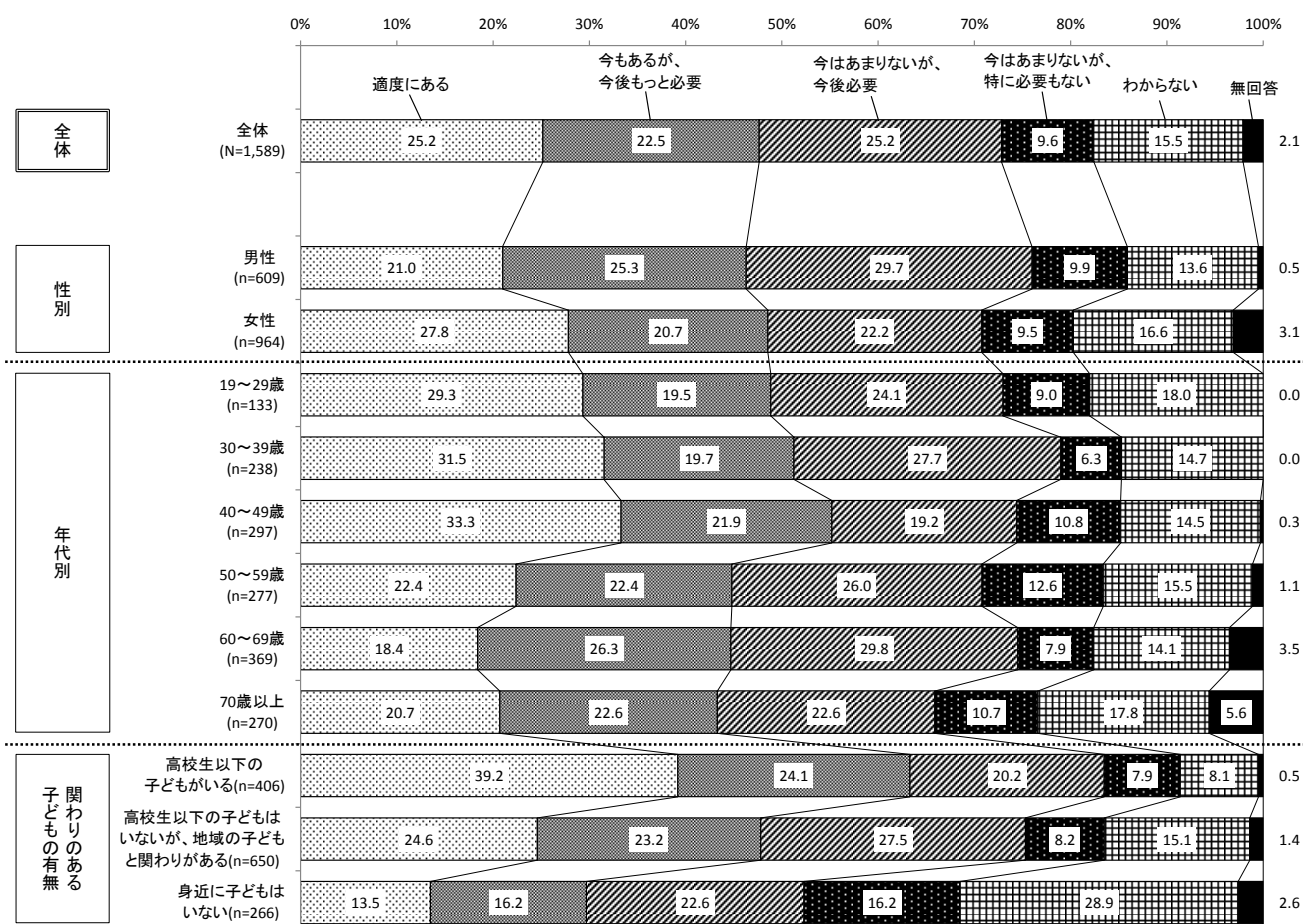
全体では、『ある』(「適度にある」+「今もあるが、今後もっと必要」)が43.5%、「今はあまりないが、今後必要」が34.7となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『ある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<地域と子どもの関わり> ③

問9 あなたは、今の地域と子どもの関わりについてどのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

③子どもが参加する行事(祭りや運動会など)



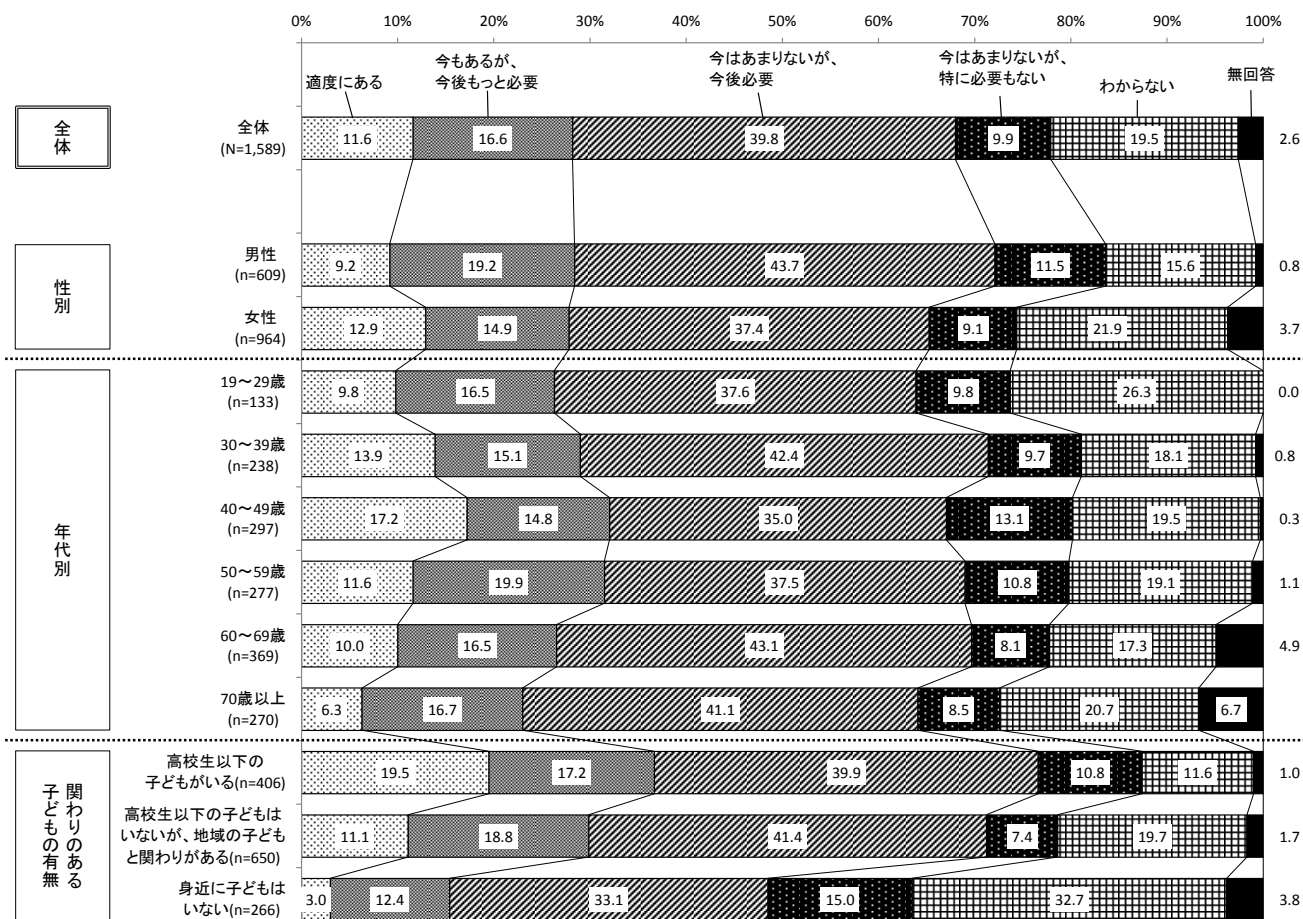
全体では、『ある』(「適度にある」+「今もあるが、今後もっと必要」)が47.7%、「今はあまりないが、今後必要」が25.2%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『ある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<地域と子どもの関わり> ④

問9 あなたは、今の地域と子どもの関わりについてどのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

④子どもが参加する活動(ゴミ拾いや除雪など)



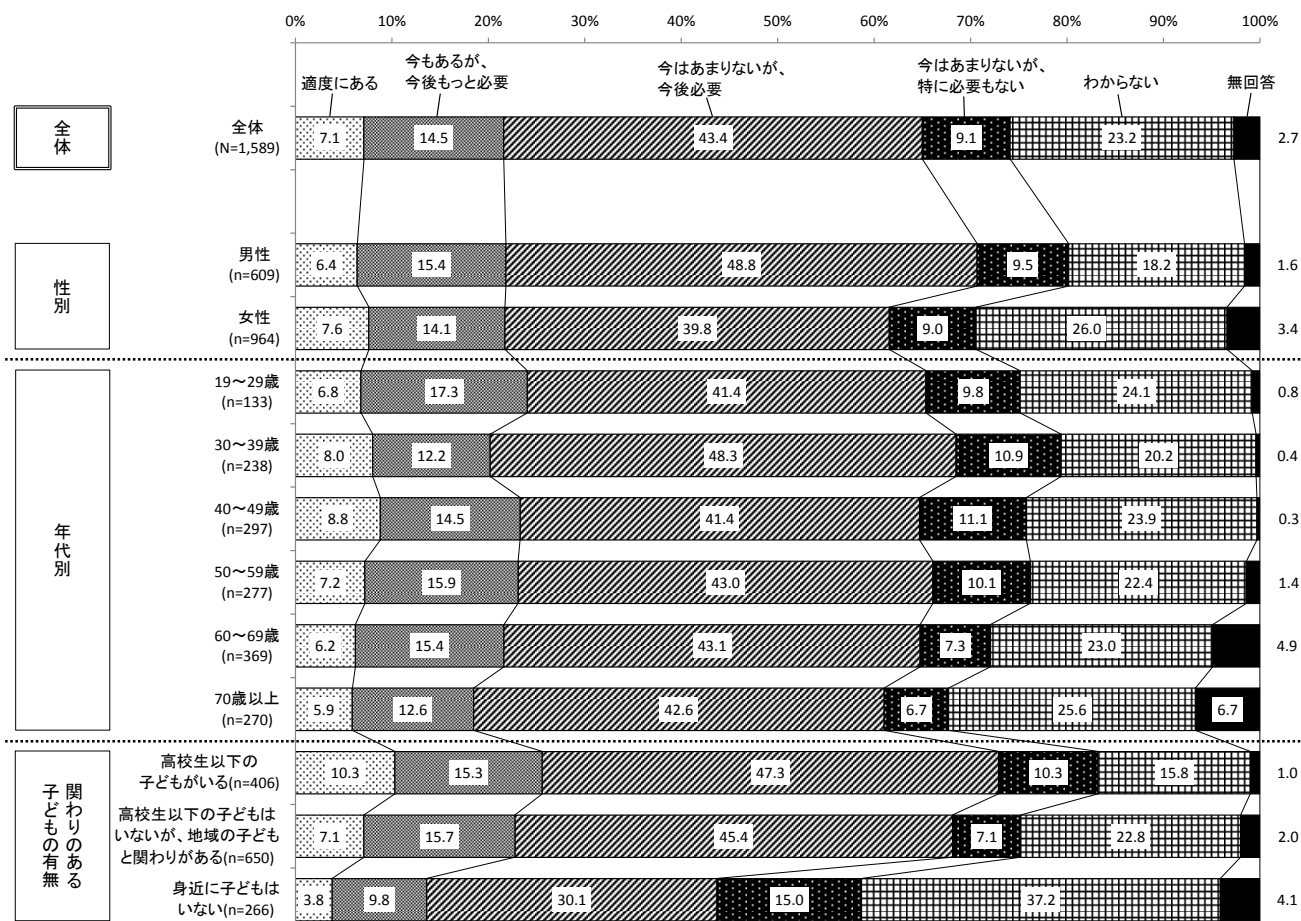
全体では、『ある』(「適度にある」+「今もあるが、今後もっと必要」)が28.1%、「今はあまりないが、今後必要」が39.8%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『ある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<地域と子どもの関わり> ⑤

問9 あなたは、今の地域と子どもの関わりについてどのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑤子どもの考えや意見を活かした行事や活動(子どもによる行事の企画など)



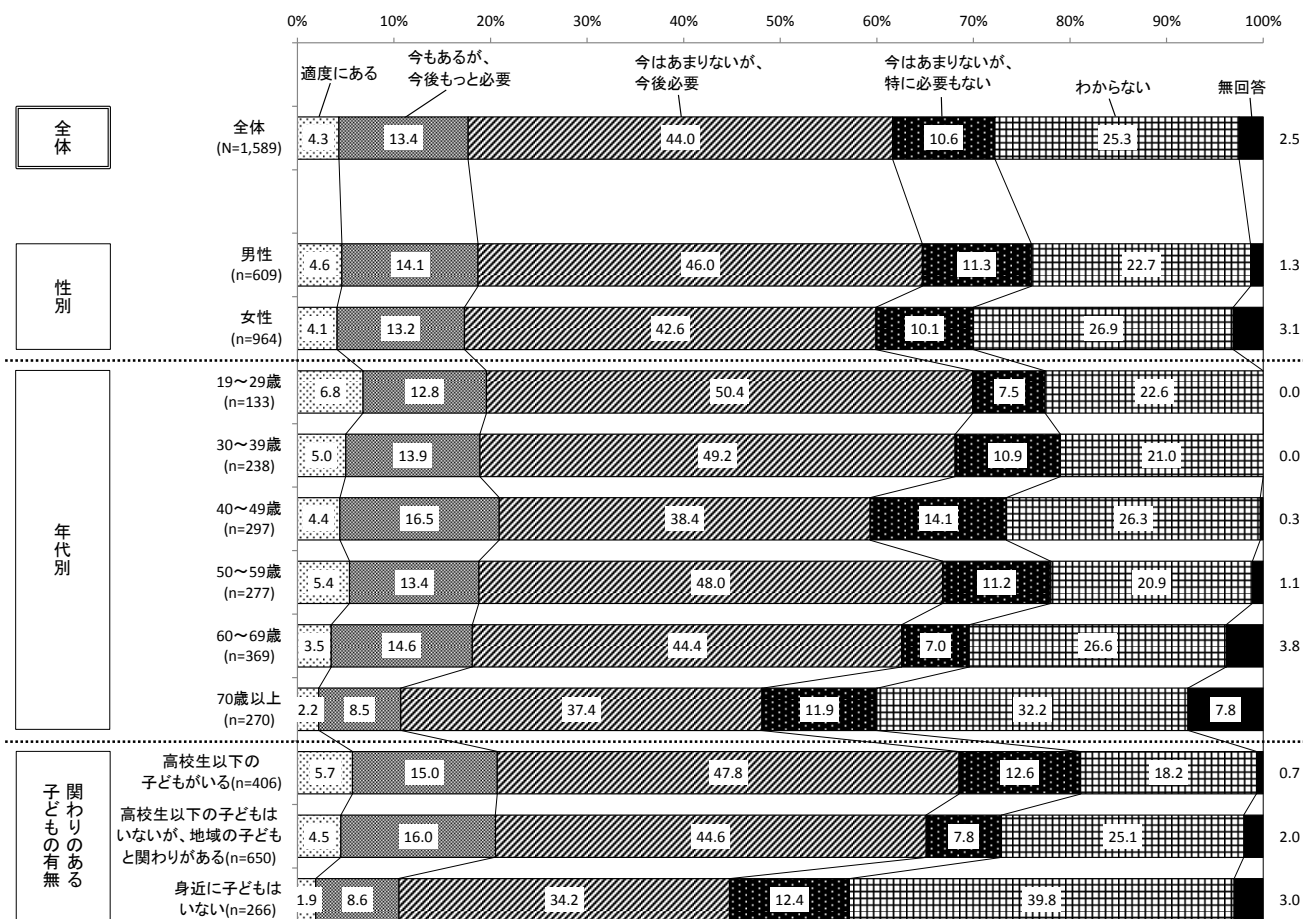
全体では、『ある』(「適度にある」+「今もあるが、今後もっと必要」)が21.6%に対して、「今はあまりないが、今後必要」が43.4%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『ある』・「今はあまりないが、今後必要」の割合が高くなる傾向が見られる。

<地域と子どもの関わり> ⑥

問9 あなたは、今の地域と子どもの関わりについてどのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑥子ども食堂など地域の子どもの居場所(学校・児童会館等を除く)



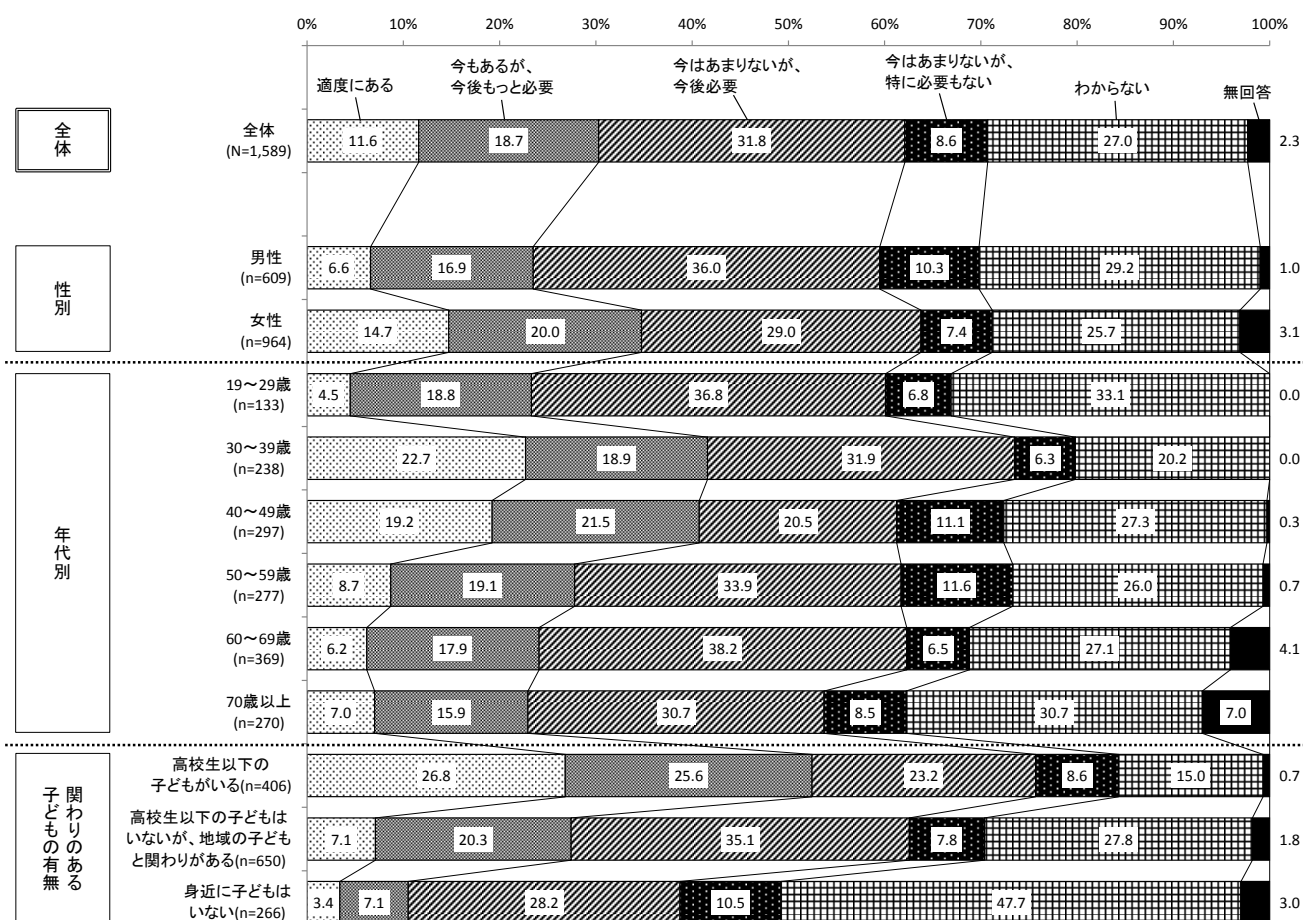
全体では、『ある』(「適度にある」+「今もあるが、今後もっと必要」)が17.7%に対して、「今はあまりないが、今後必要」が44.0%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『ある』・「今はあまりないが、今後必要」の割合が高くなる傾向が見られる。

<地域と子どもの関わり> ⑦

問9 あなたは、今の地域と子どもの関わりについてどのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑦子育てサロン ※就学前の子どもと保護者等が自由に集い交流できる場



全体では、『ある』(「適度にある」+「今もあるが、今後もっと必要」)が30.3%、「今はあまりないが、今後必要」が31.8%となっている。

性別で見ると、『ある』の割合は女性(34.8%)が男性(23.5%)より高くなっている。

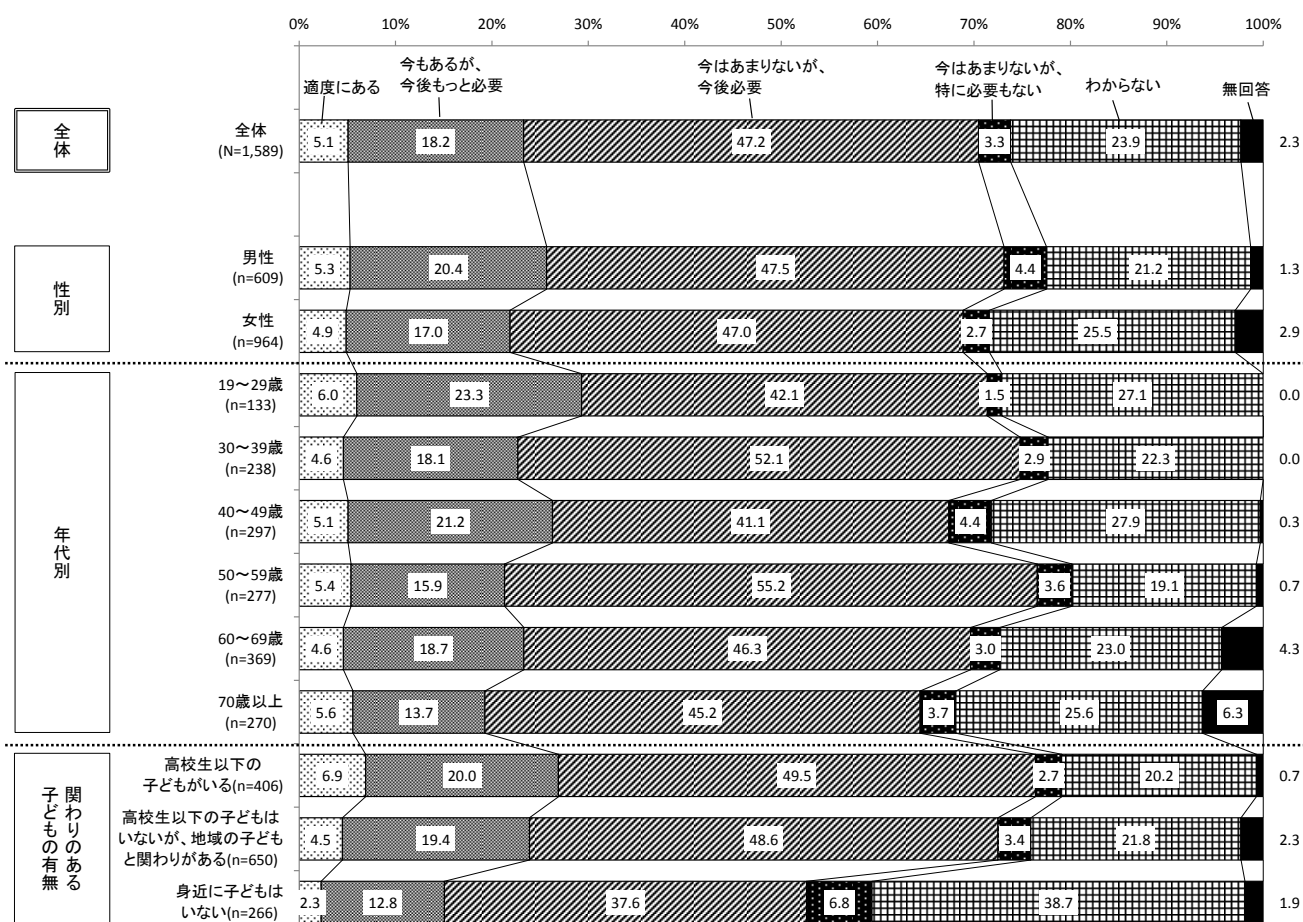
年代別で見ると、『ある』の割合は30歳代(41.6%)と40歳代(40.7%)で高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『ある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<地域と子どもの関わり> ⑧

問9 あなたは、今の地域と子どもの関わりについてどのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑧ 困難を抱える子どもへの気づきや声かけ・見守り



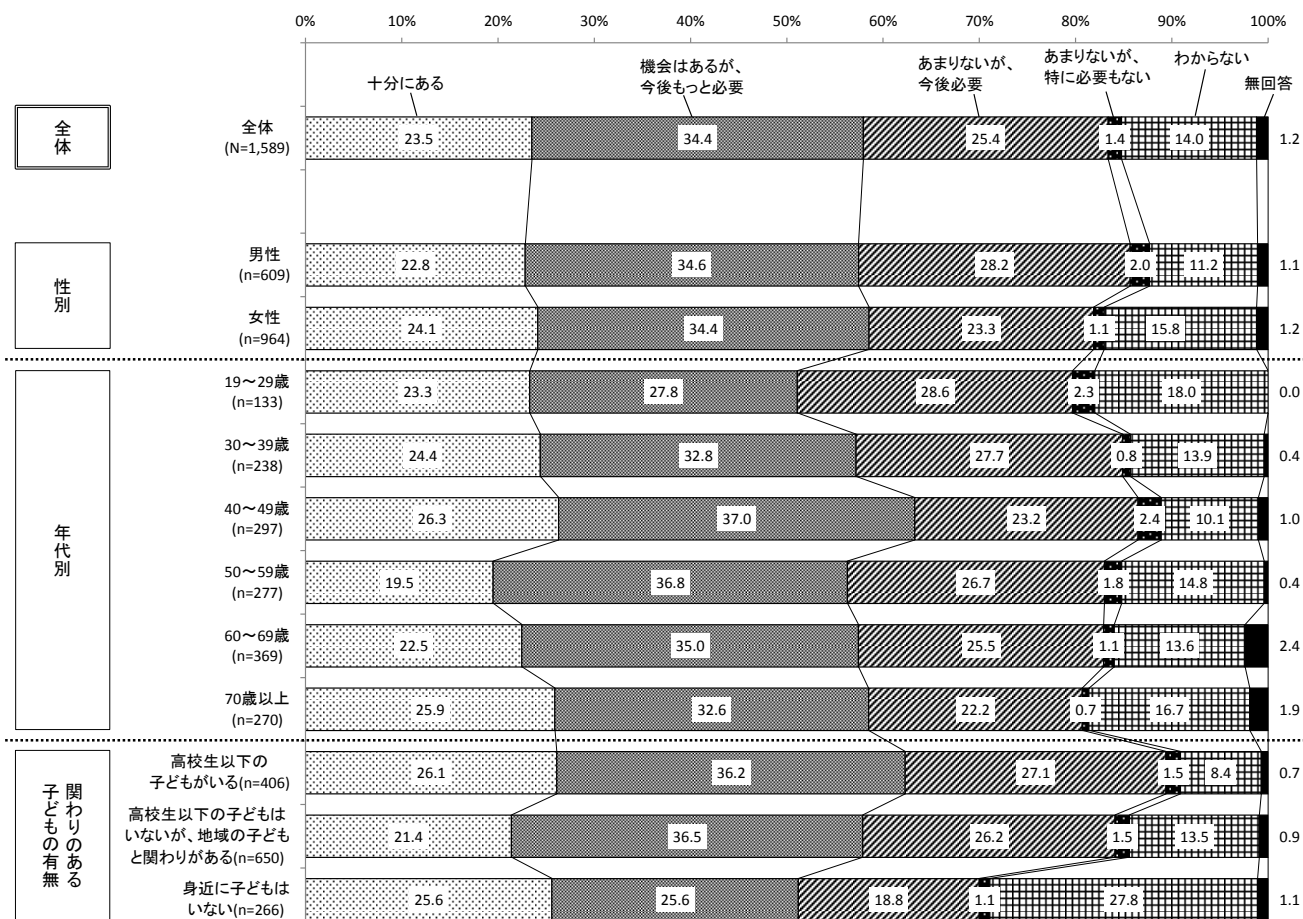
全体では、『ある』（「適度にある」＋「今もあるが、今後もっと必要」）が23.3%に対して、「今はあまりないが、今後必要」が47.2%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『ある』・「今はあまりないが、今後必要」の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ①

問10 札幌での暮らしは、子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

①自然体験

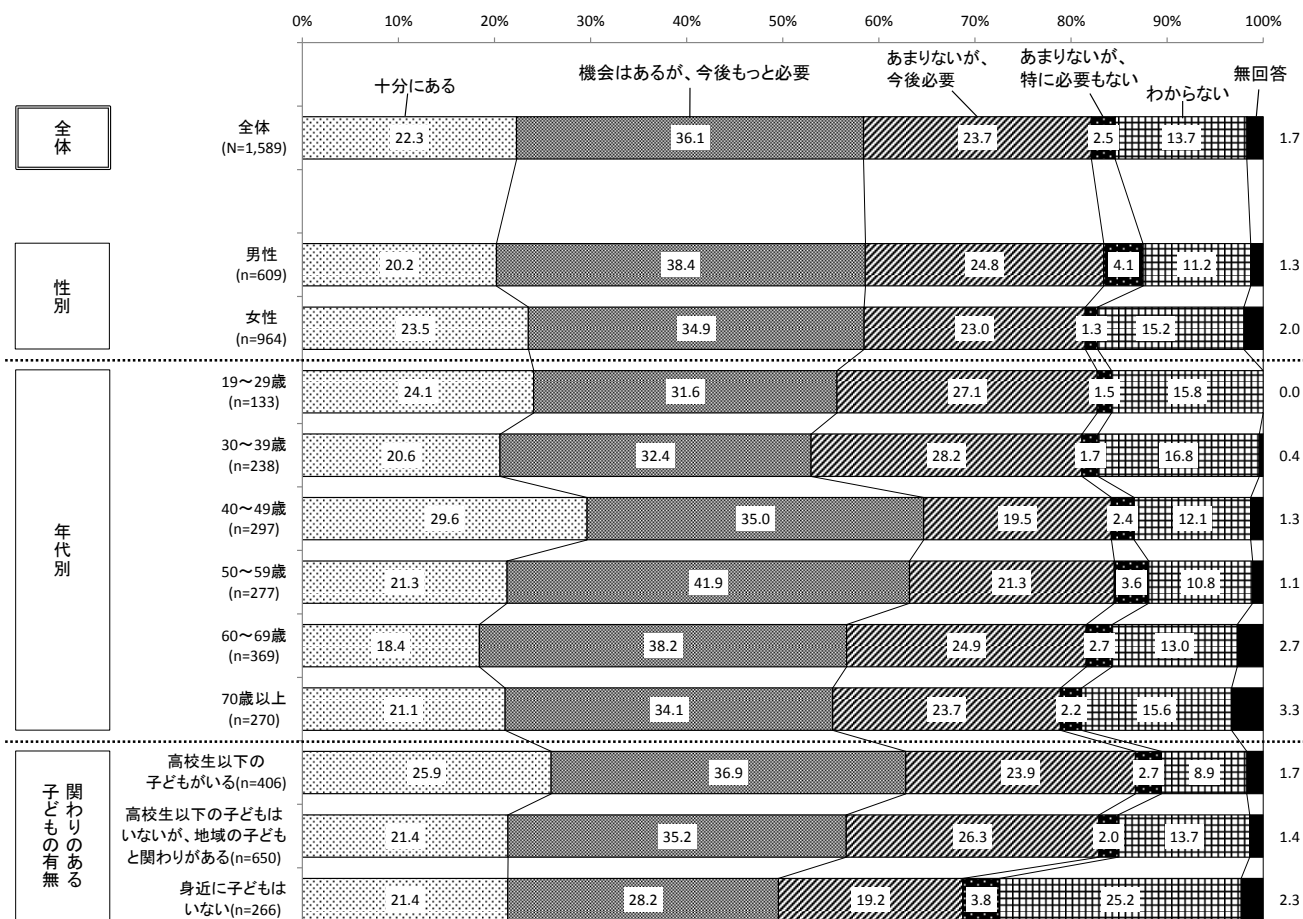


全体では、『ある』(「十分にある」+「機会はあるが、今後もっと必要」)が57.9%、「あまりないが、今後必要」が25.4%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ②

問10 札幌での暮らしは、子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

②文化・芸術の鑑賞（音楽、美術、映画など）

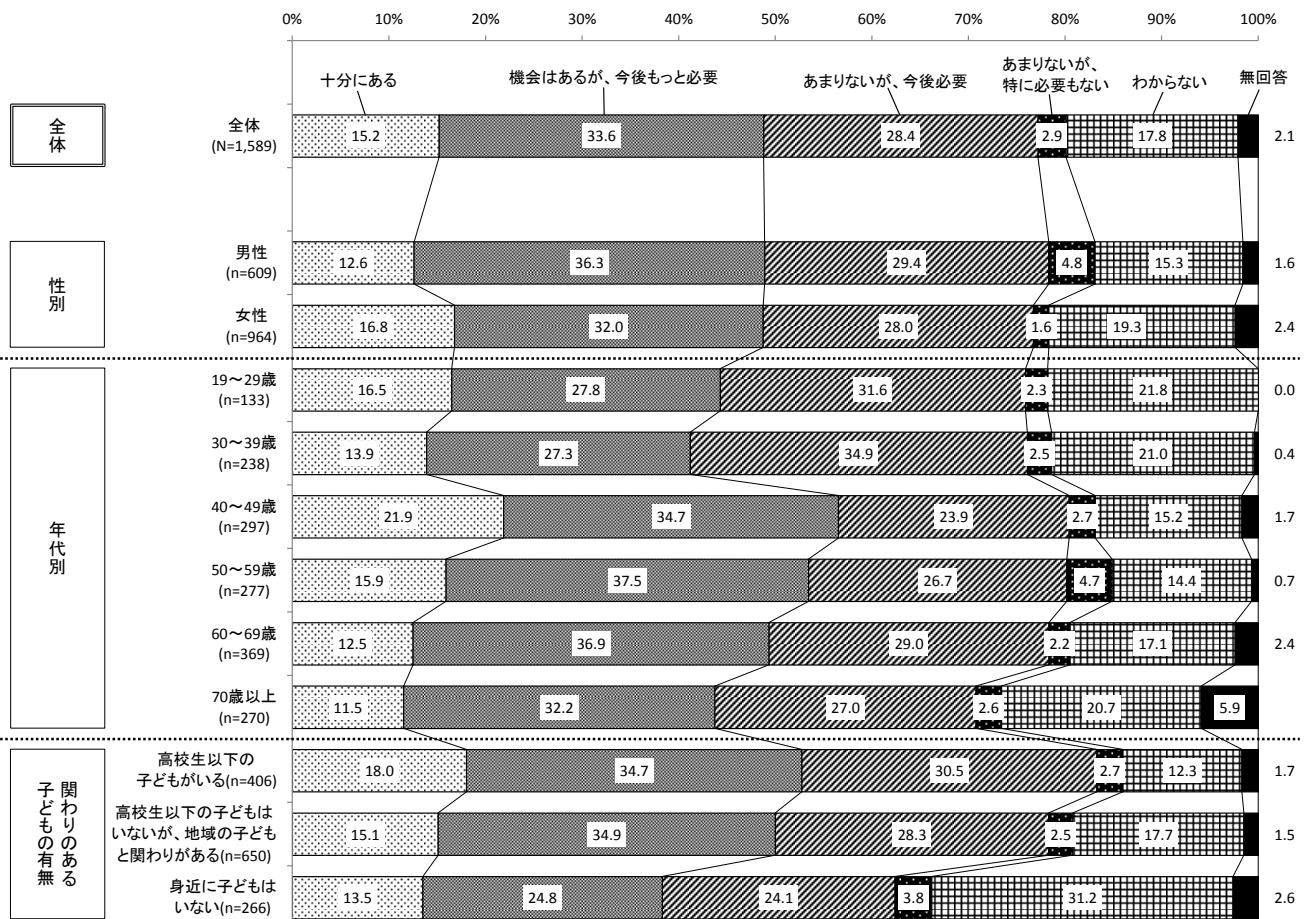


全体では、『ある』（「十分にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 58.5%、「あまりないが、今後必要」が 23.7%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ③

問10 札幌での暮らしは、子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

③文化・芸術活動への参加体験（演奏、工芸体験、映像や彫刻作品の制作など）

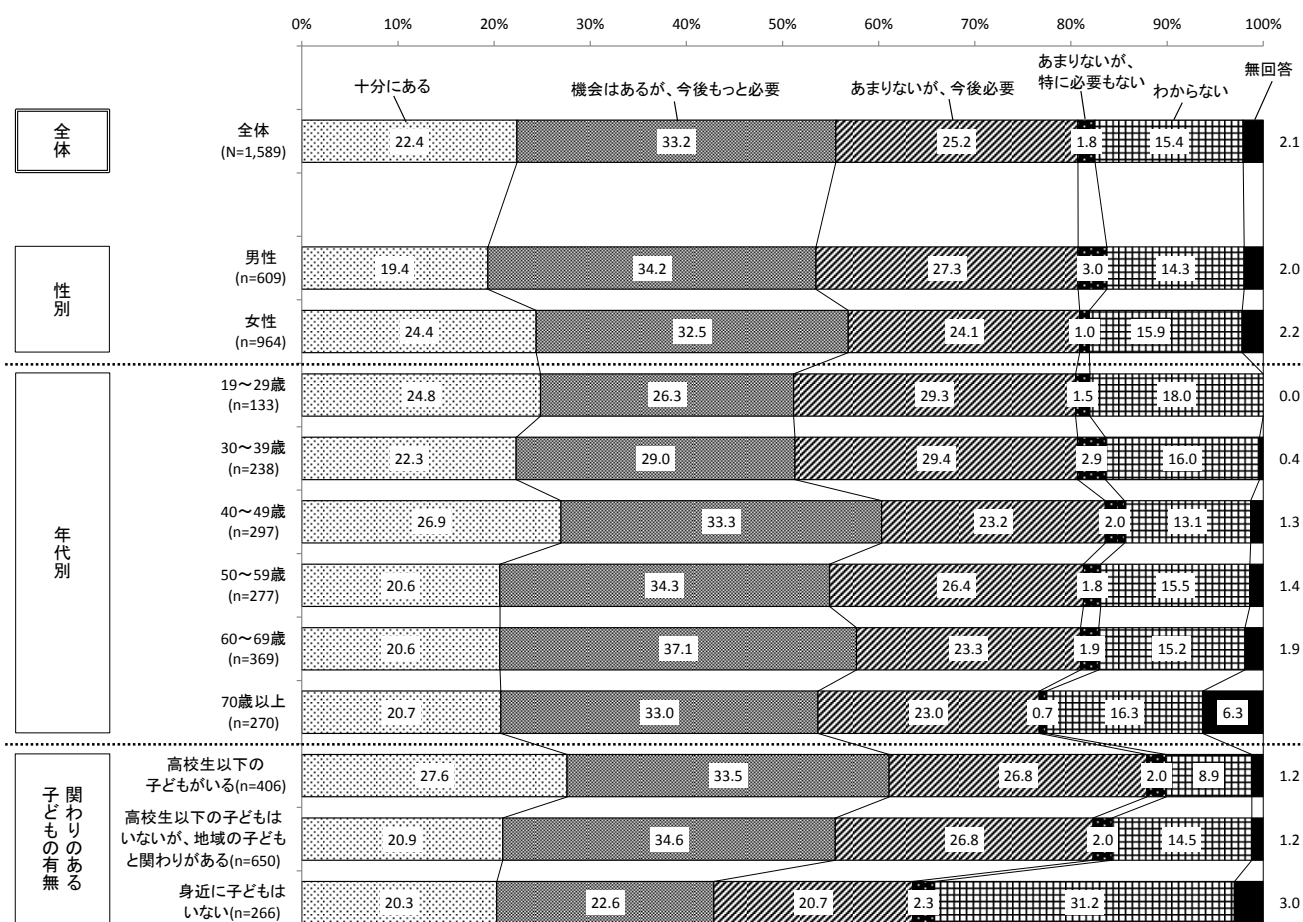


全体では、『ある』（「十分にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 48.8%、「あまりないが、今後必要」が 28.4%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ④

問10 札幌での暮らしは、子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

④読書の体験

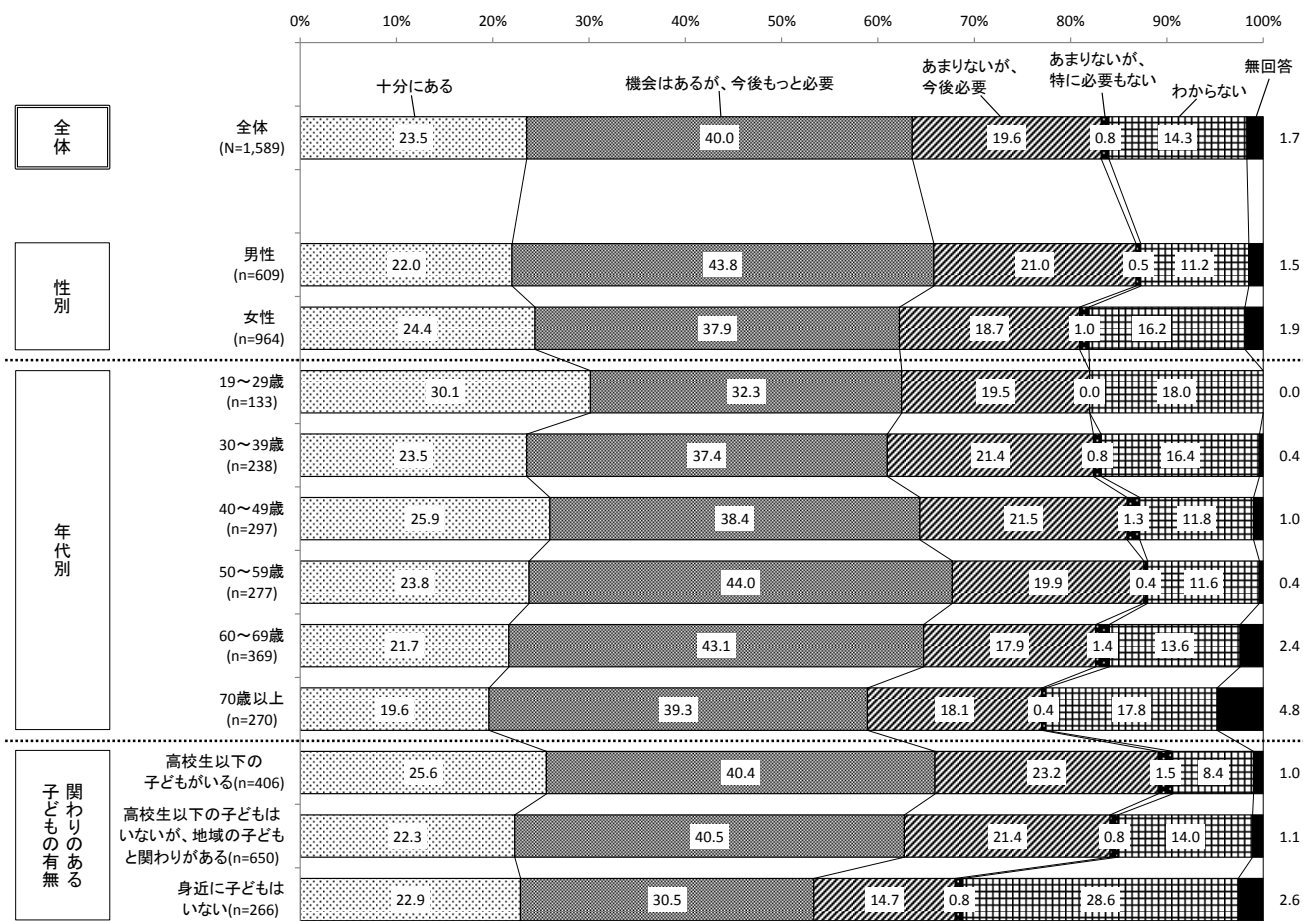


全体では、『ある』(「十分にある」+「機会はあるが、今後もっと必要」)が55.6%、「あまりないが、今後必要」が25.2%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ⑤

問10 札幌での暮らしは、子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑤スポーツ・運動

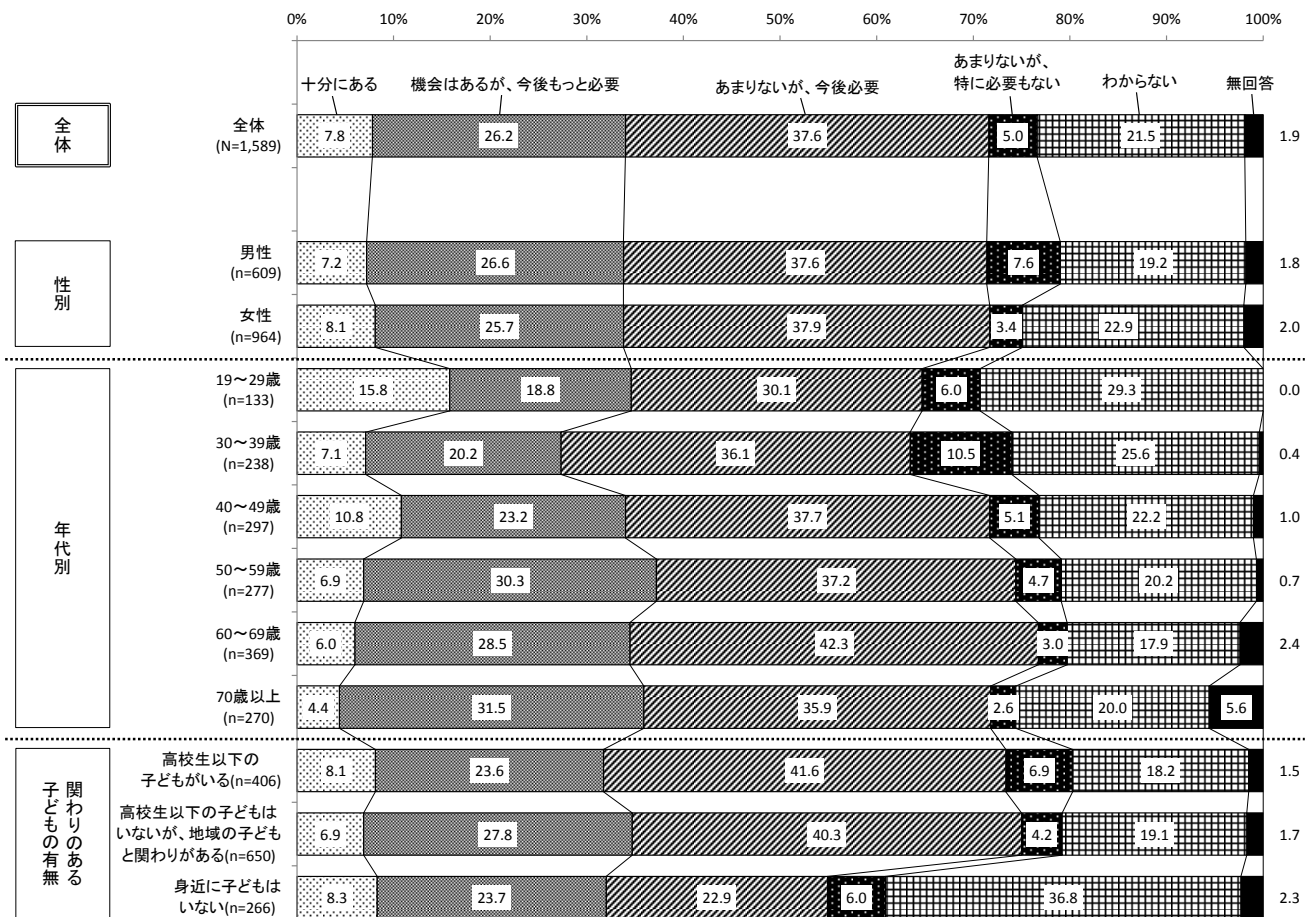


全体では、『ある』(「十分にある」+「機会はあるが、今後もっと必要」)が63.5%、「あまりないが、今後必要」が19.6%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ⑥

問10 札幌での暮らしは、子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑥ボランティア活動への参加(募金やゴミ拾いなど)

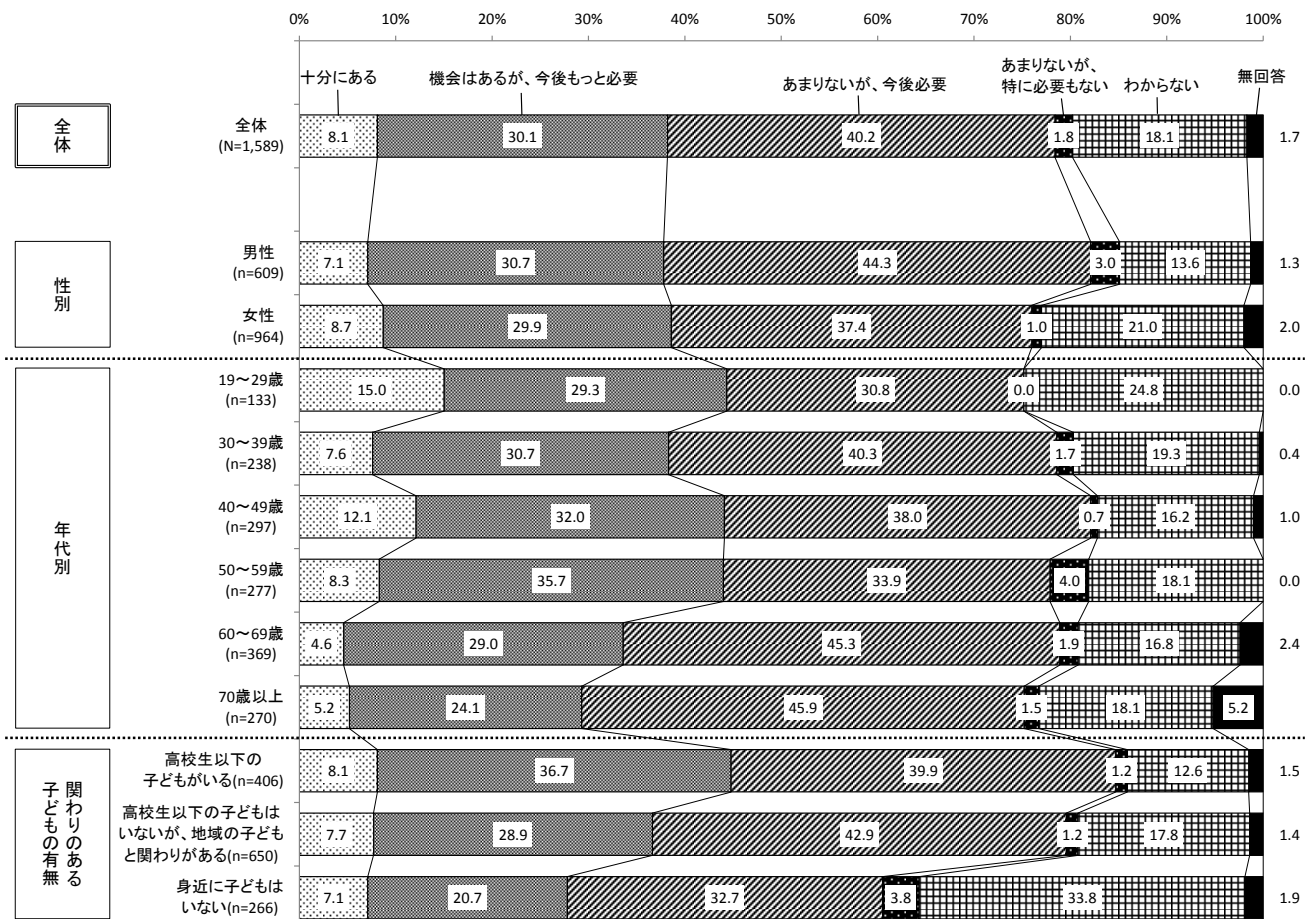


全体では、『ある』(「十分にある」+「機会はあるが、今後もっと必要」)が34.0%、「あまりないが、今後必要」が37.6%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ⑦

問10 札幌での暮らしは、子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑦色々な職業や社会のしくみを学ぶ体験

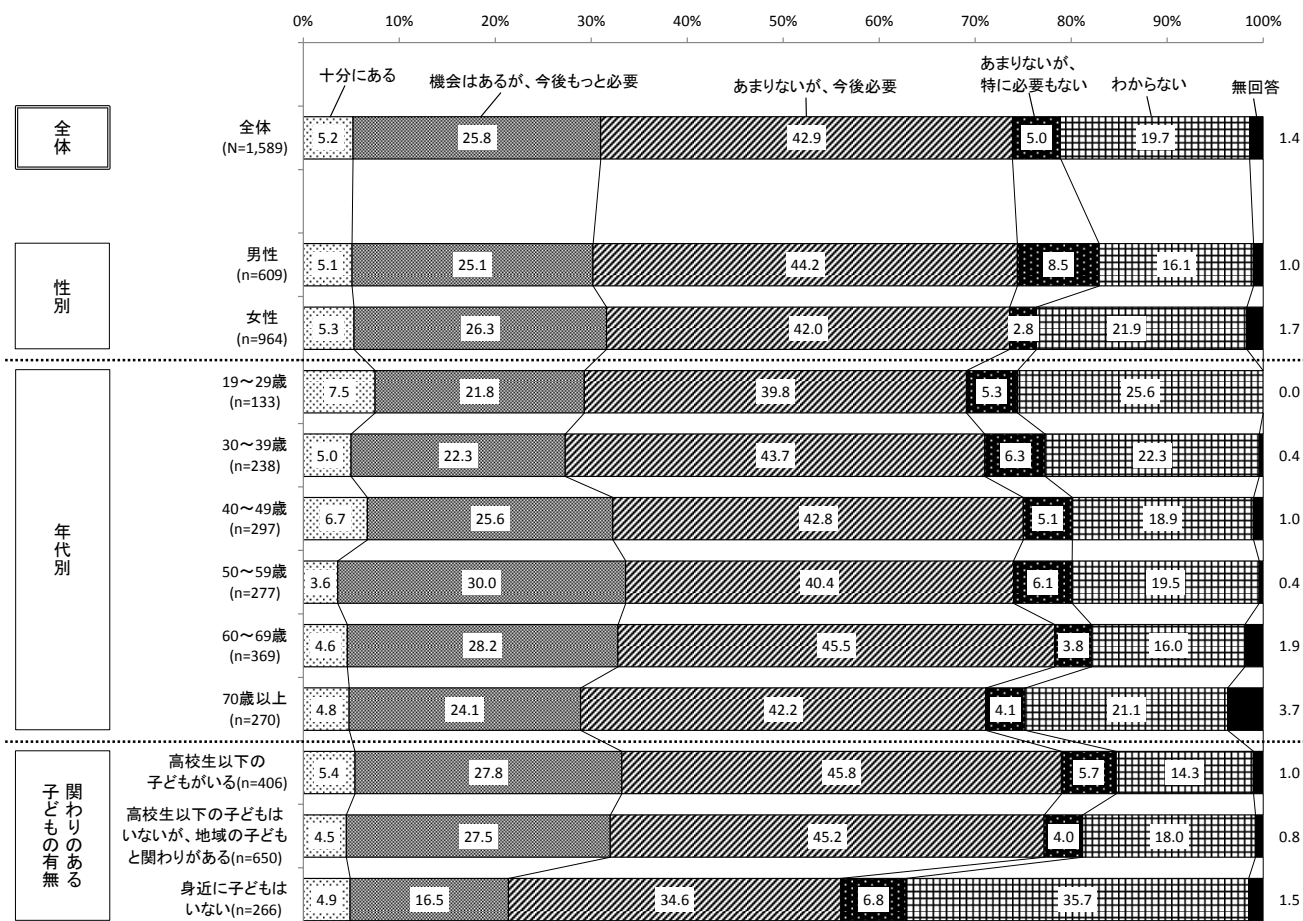


全体では、『ある』(「十分にある」+「機会はあるが、今後もっと必要」)が38.2%、「あまりないが、今後必要」が40.2%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ⑧

問10 札幌での暮らしは、子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑧高齢の方など大人との交流 (多世代交流)

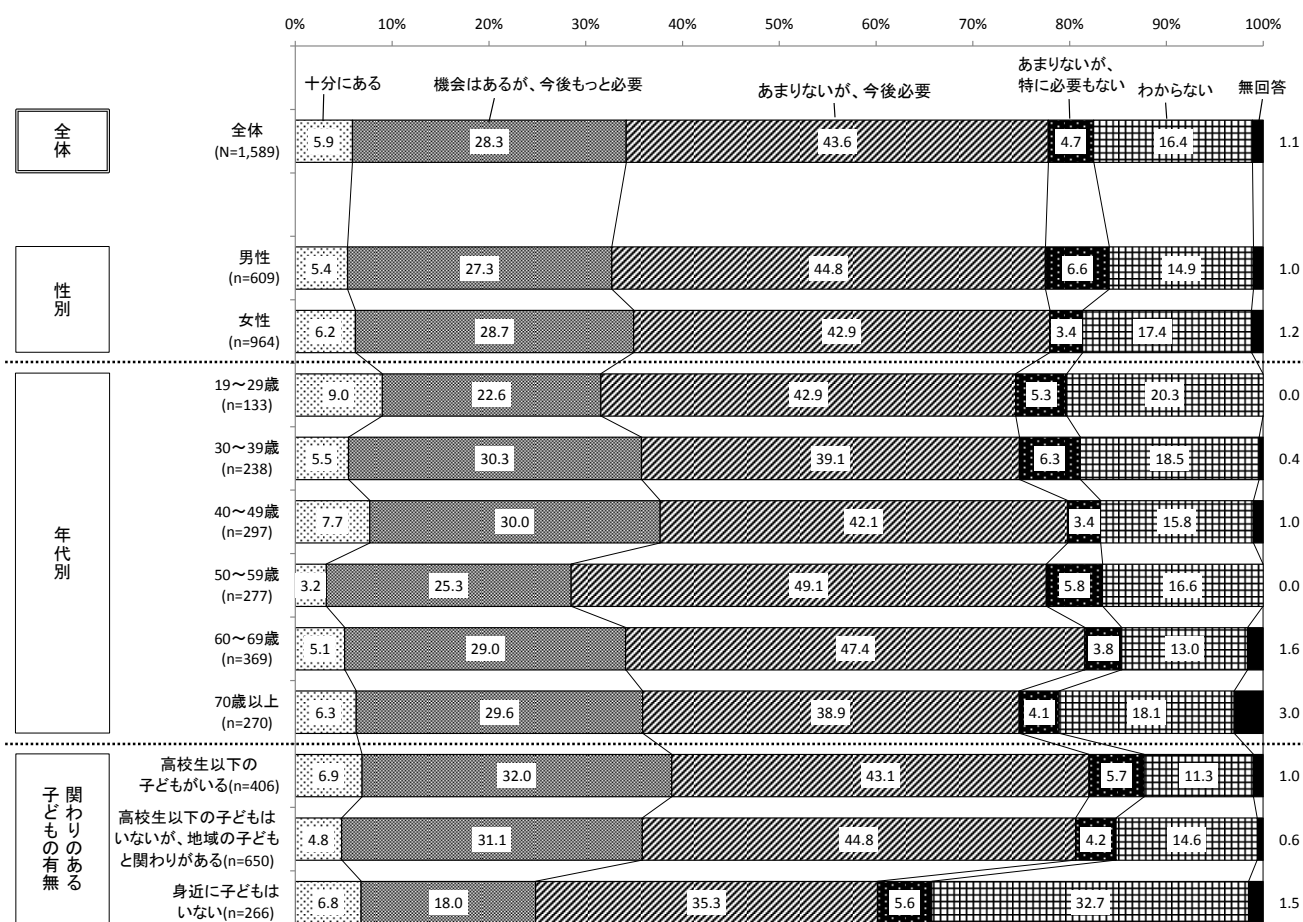


全体では、『ある』(「十分にある」+「機会はあるが、今後もっと必要」)が31.0%、「あまりないが、今後必要」が42.9%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験をする機会> ⑨

問10 札幌での暮らしは、子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思いますか。
それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

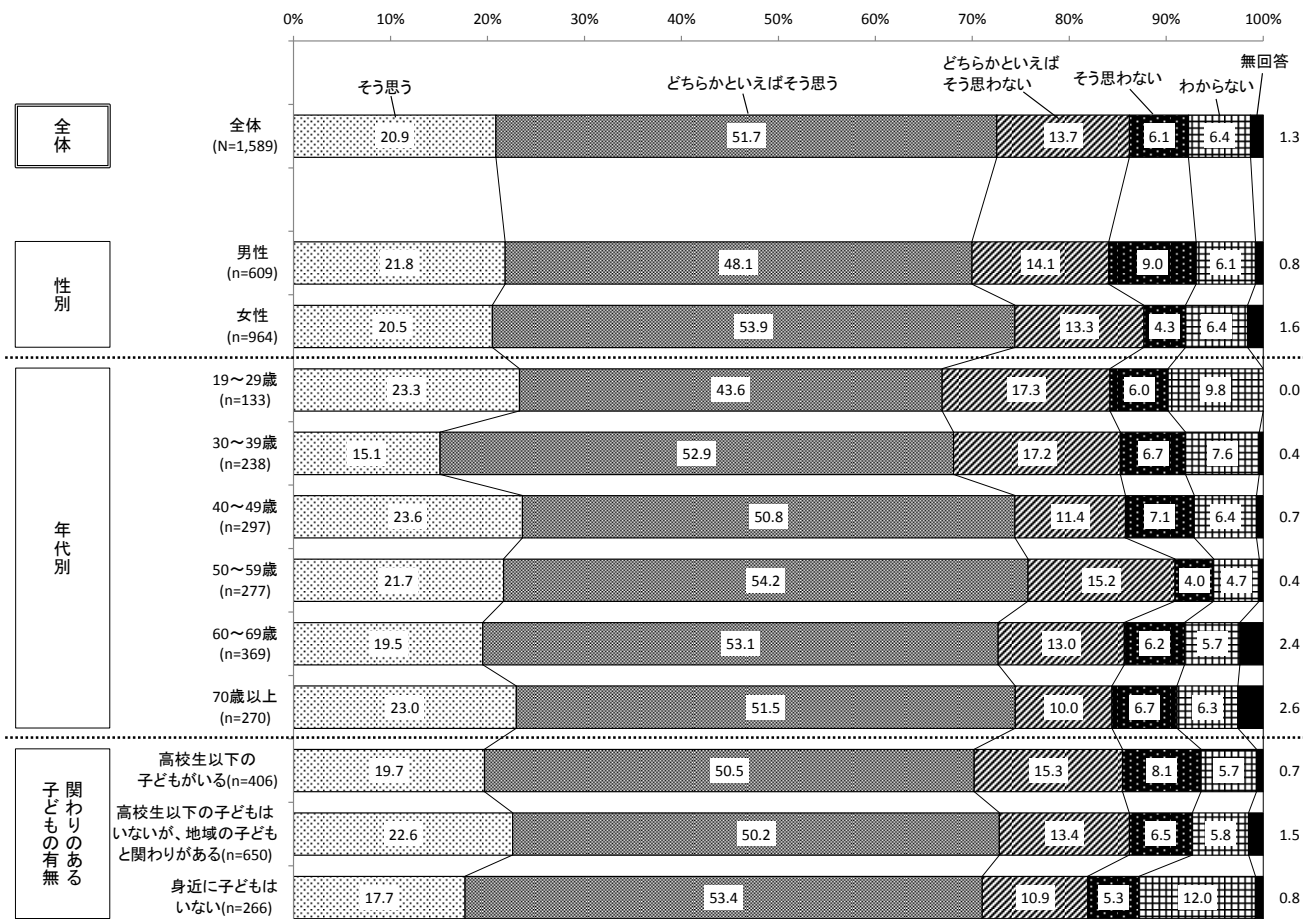
⑨近所や地域とのつながり



全体では、『ある』(「十分にある」+「機会はあるが、今後もっと必要」)が34.2%、「あまりないが、今後必要」が43.6%となっている。

<子どもが自然・社会・文化体験しやすい環境か>

問11 札幌での暮らしは、全体として子どもが自然・社会・文化などの体験しやすい環境だと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。（単一回答）

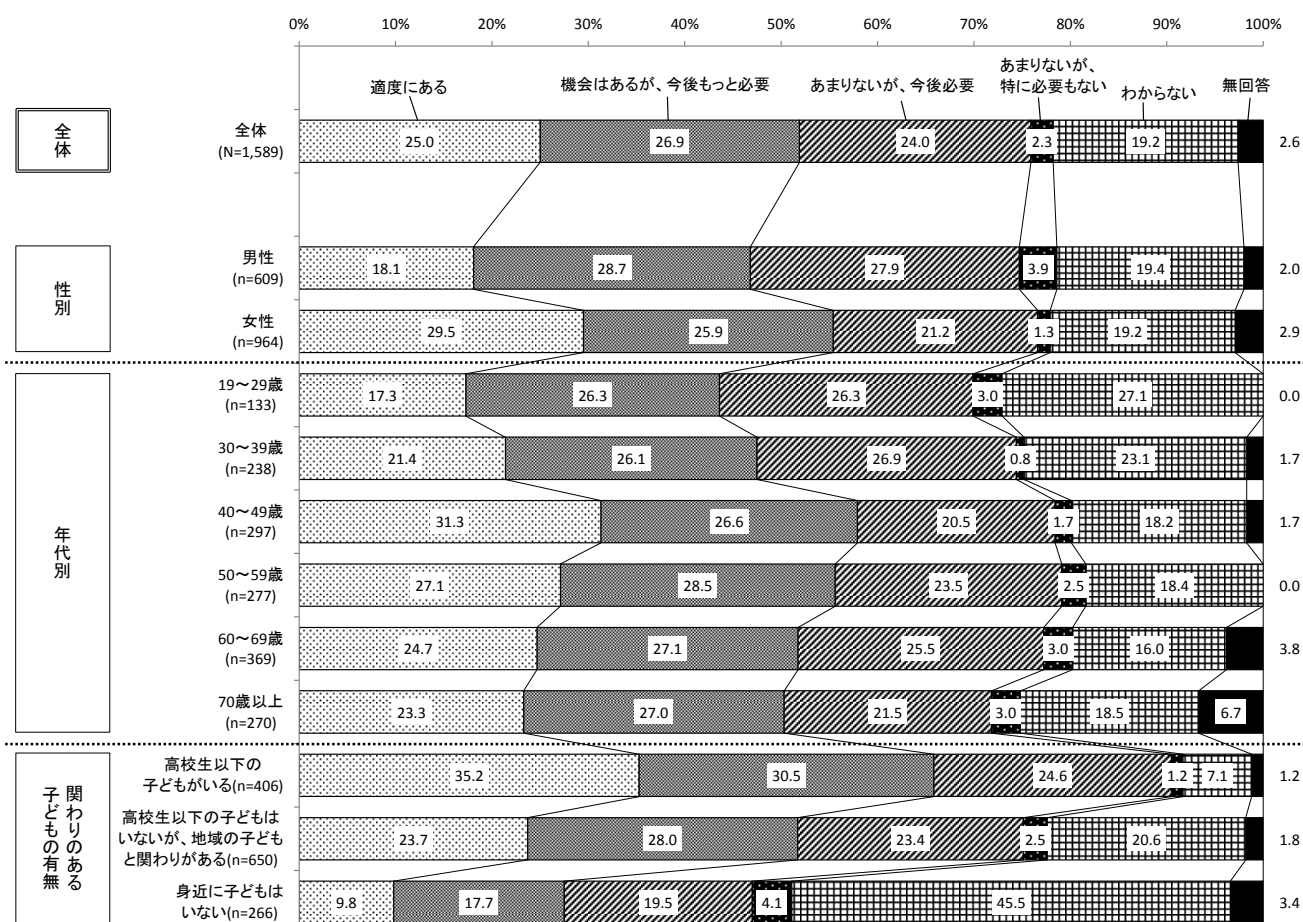


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が72.6%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が19.8%となっている。

<子どもの意見表明や参加の機会> ①

問12 あなたは、子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会についてどのような状況だと思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

①家庭で大事な物事やルールを決めるときに意見を言うこと



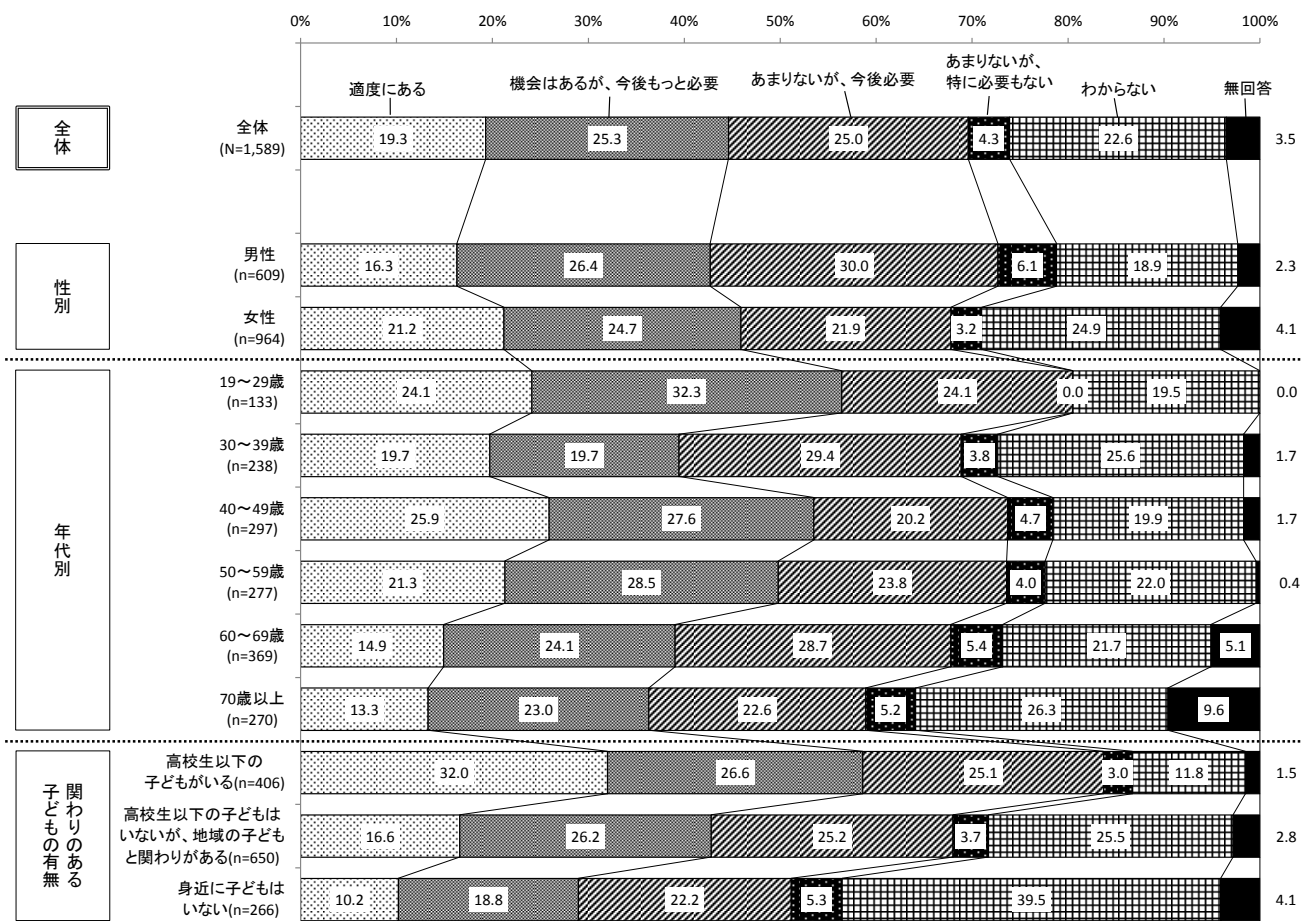
全体では、『ある』（「適度にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 51.9%、「あまりないが、今後必要」が 24.0%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『ある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの意見表明や参加の機会> ②

問12 あなたは、子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会についてどのような状況だと思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

②学校行事・イベントの企画運営に参加すること



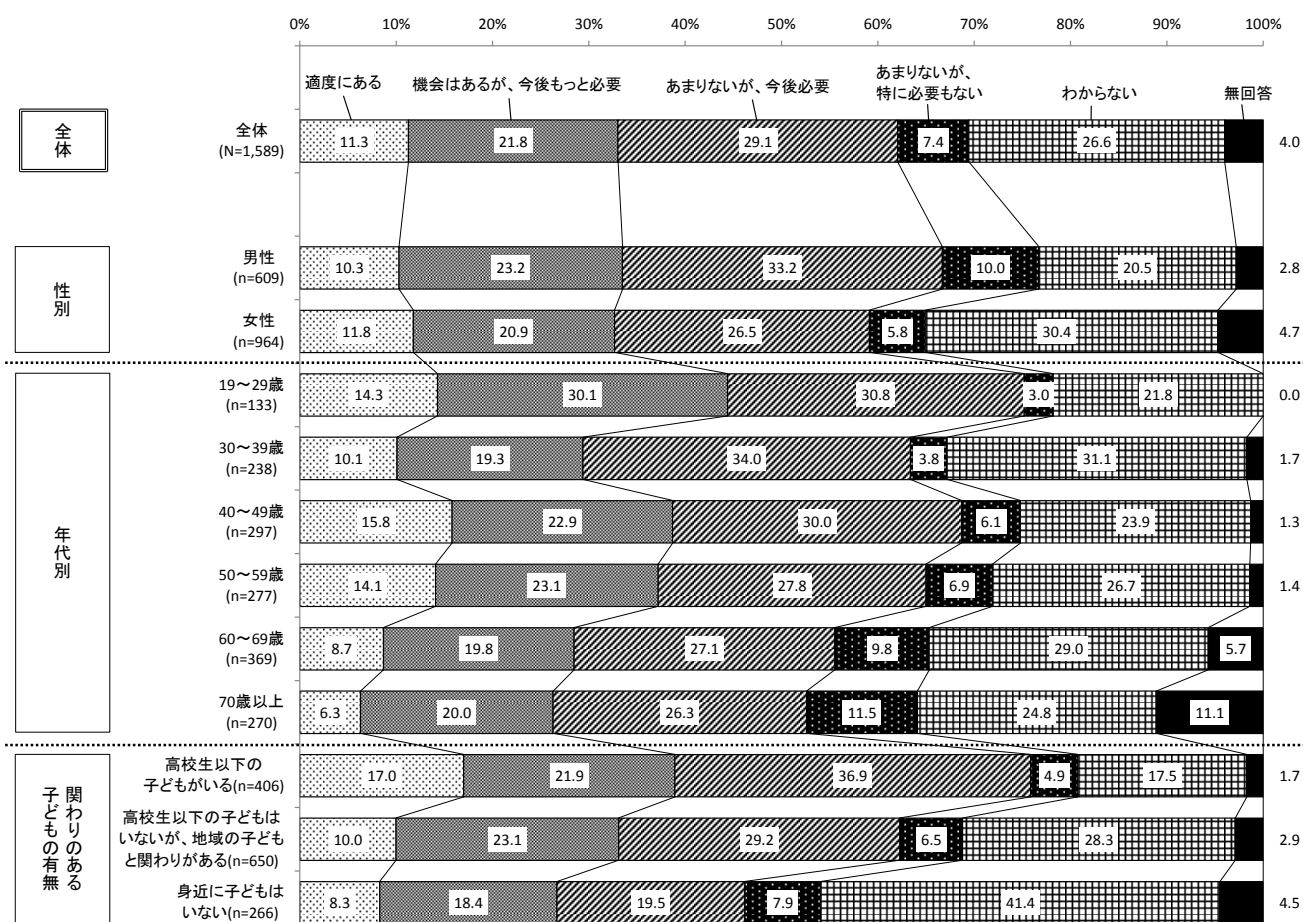
全体では、『ある』（「適度にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 44.6%、「あまりないが、今後必要」が 25.0%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『ある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの意見表明や参加の機会> ③

問12 あなたは、子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会についてどのような状況だと思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

③学校の部活動等の活動内容に意見を言うこと



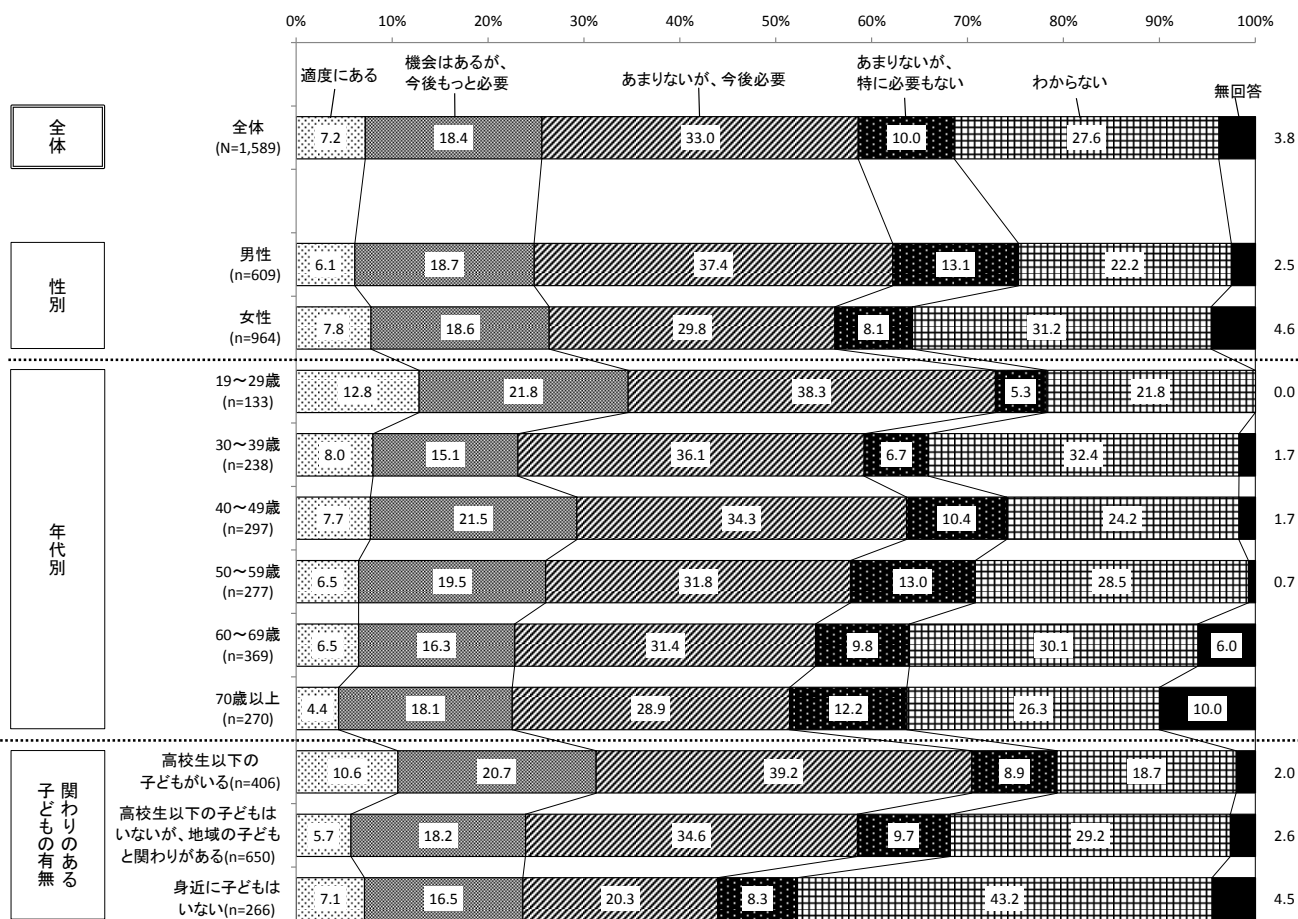
全体では、『ある』（「適度にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 33.0%、「あまりないが、今後必要」が 29.1%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『ある』・「あまりないが、今後必要」の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの意見表明や参加の機会> ④

問12 あなたは、子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会についてどのような状況だと思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

④学校の決まりごとに意見を言うこと



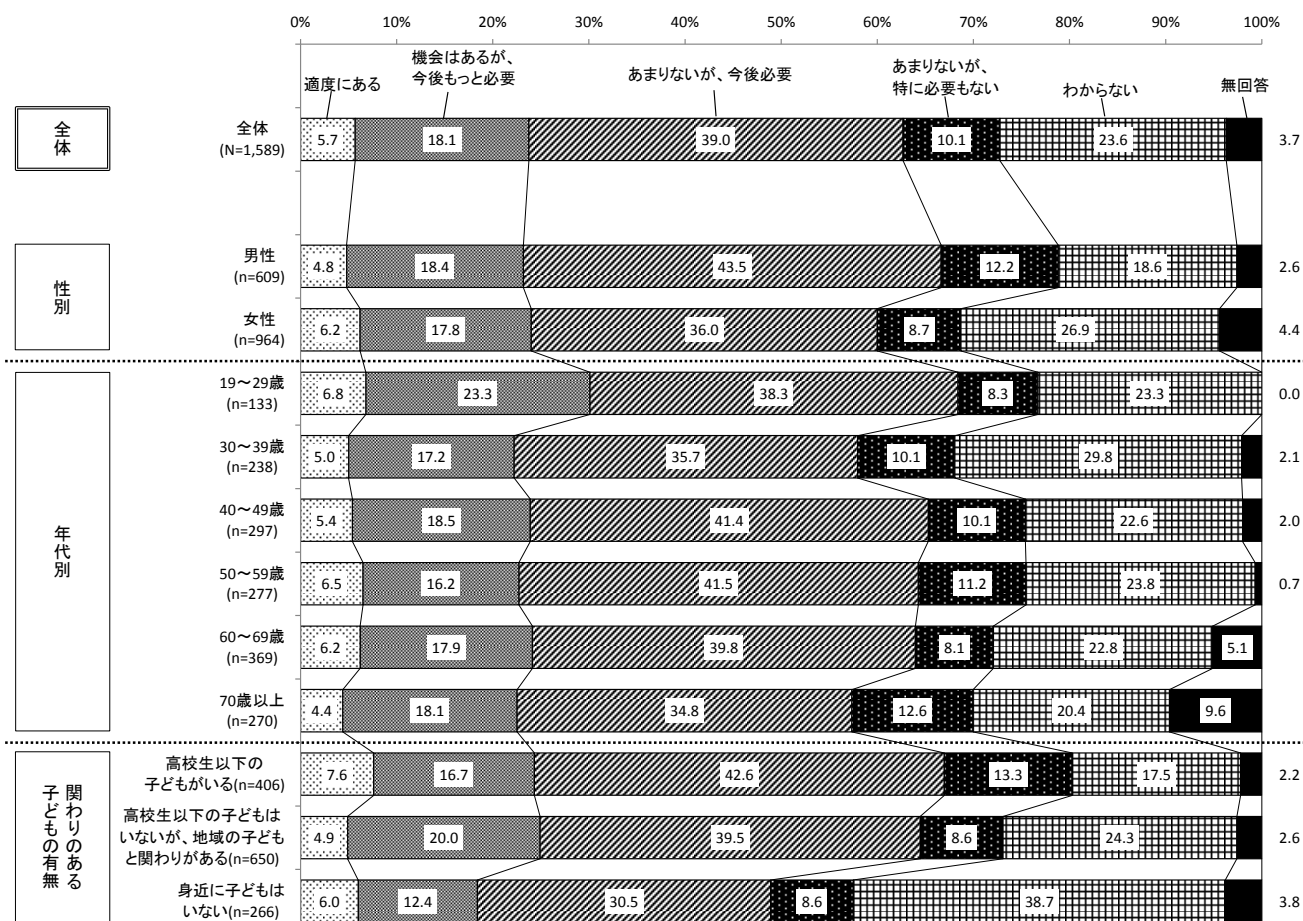
全体では、『ある』（「適度にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 25.6%、「あまりないが、今後必要」が 33.0%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『ある』・「あまりないが、今後必要」の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの意見表明や参加の機会> ⑤

問12 あなたは、子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会についてどのような状況だと思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

⑤地域の行事・イベントの企画運営に参加すること

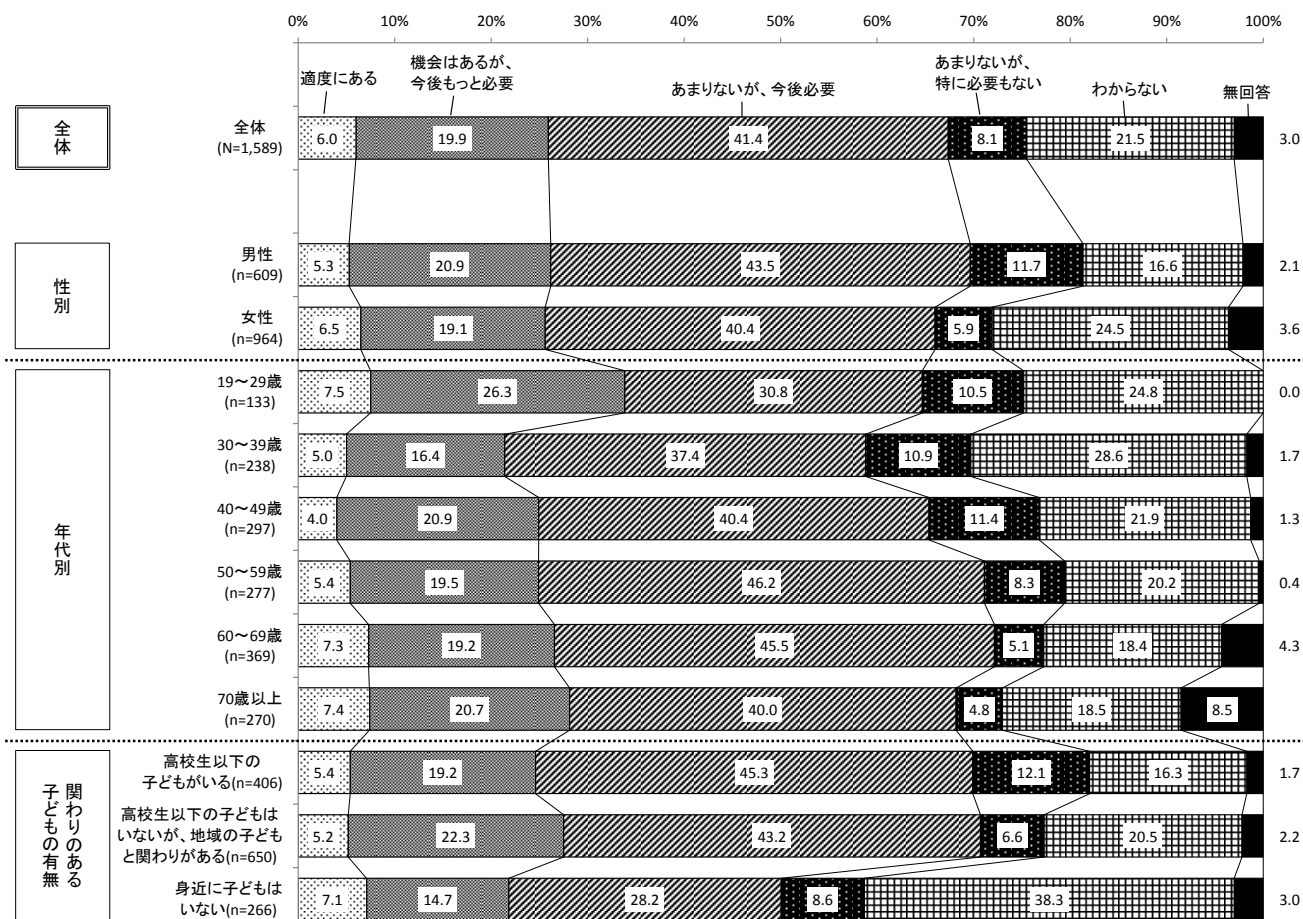


全体では、『ある』（「適度にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 23.7%、「あまりないが、今後必要」が 39.0%となっている。

<子どもの意見表明や参加の機会> ⑥

問12 あなたは、子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会についてどのような状況だと思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑥地域のまちづくりやボランティア活動に参加すること(ゴミ拾いや除雪など)

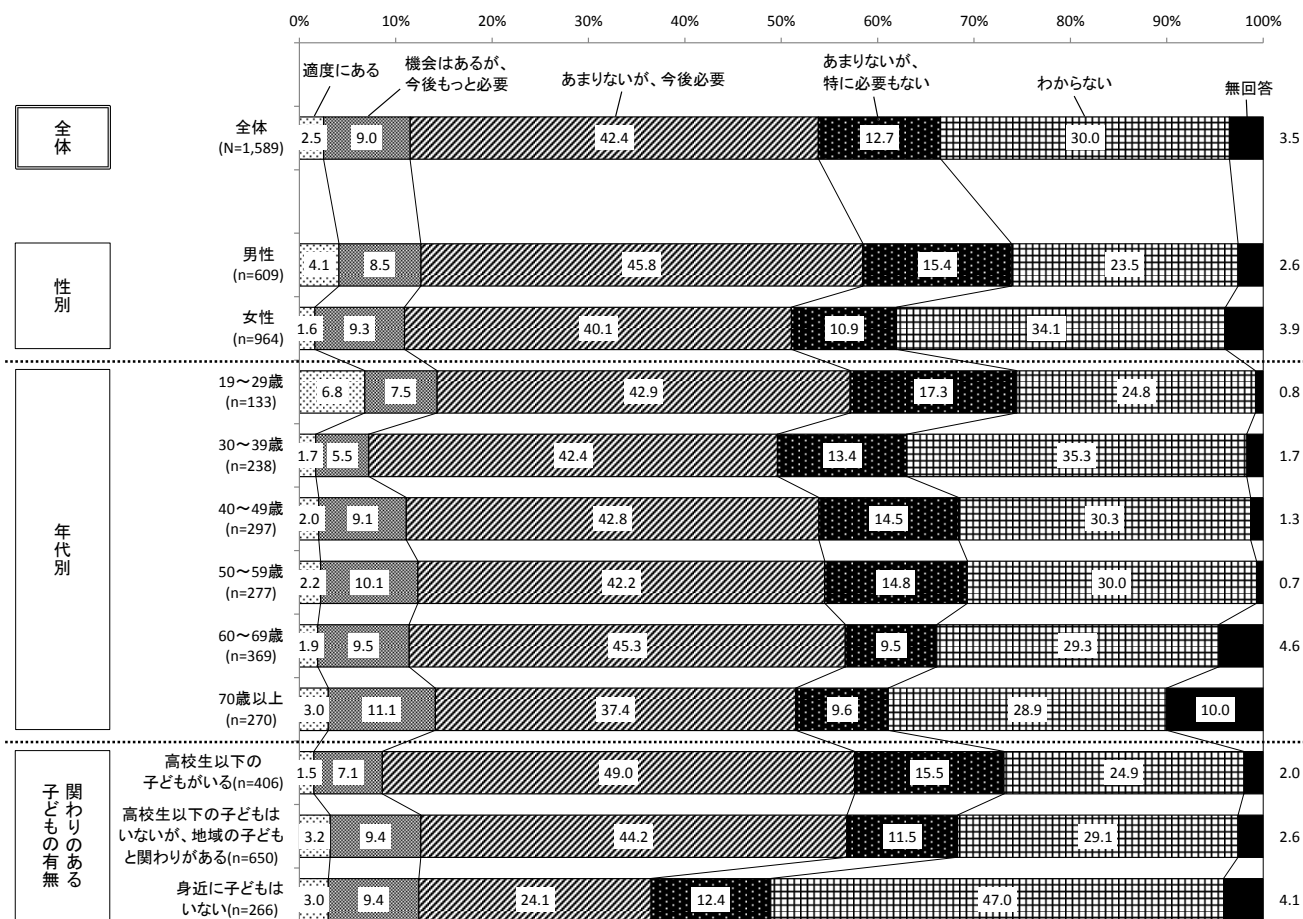


全体では、『ある』(「適度にある」+「機会はあるが、今後もっと必要」)が26.0%、「あまりないが、今後必要」が41.4%となっている。

<子どもの意見表明や参加の機会> ⑦

問12 あなたは、子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会についてどのような状況だと思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

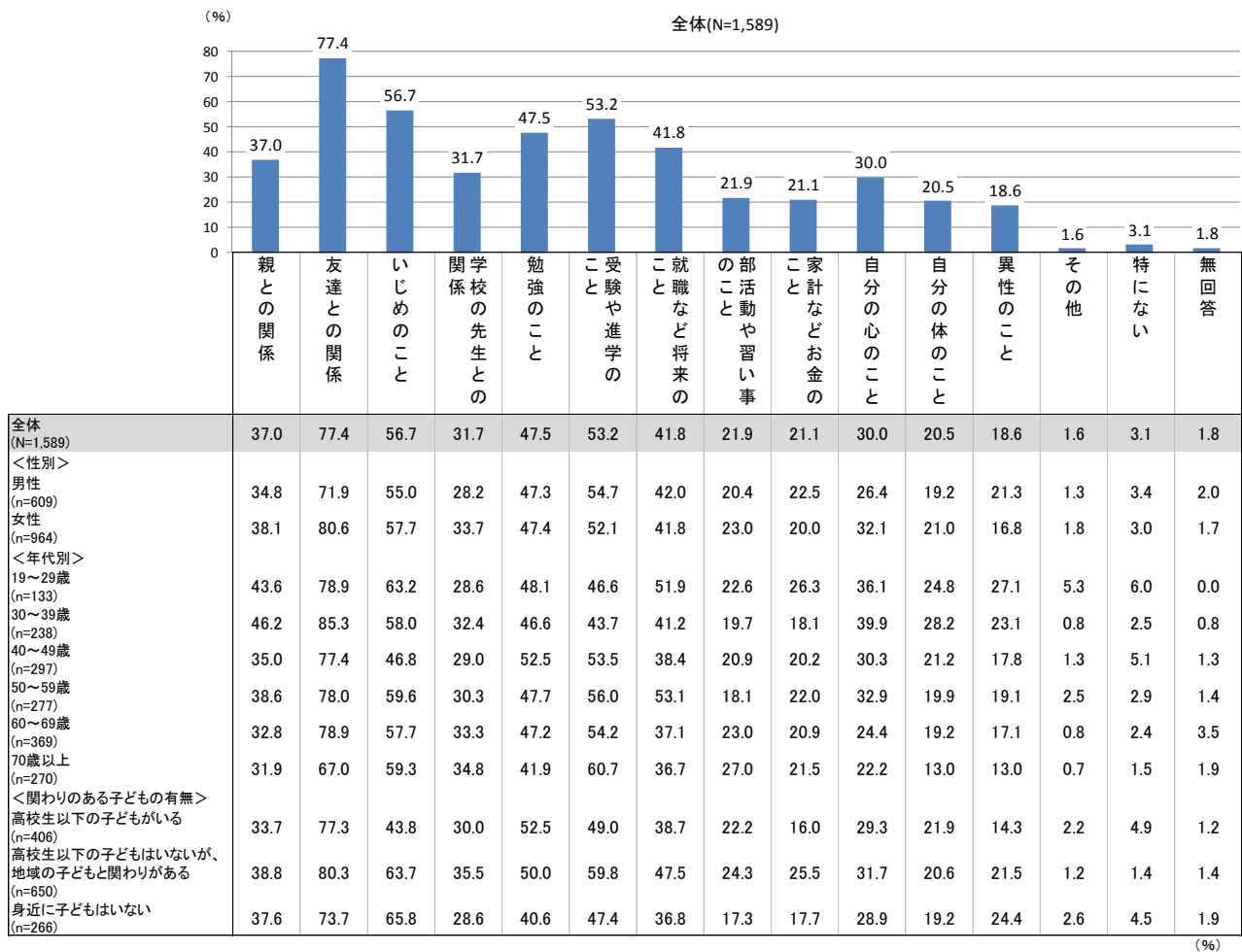
⑦札幌市政について意見を言うこと



全体では、『ある』（「適度にある」＋「機会はあるが、今後もっと必要」）が 11.5%、「あまりないが、今後必要」が 42.4%となっている。

<子どもが抱える不安や悩み>

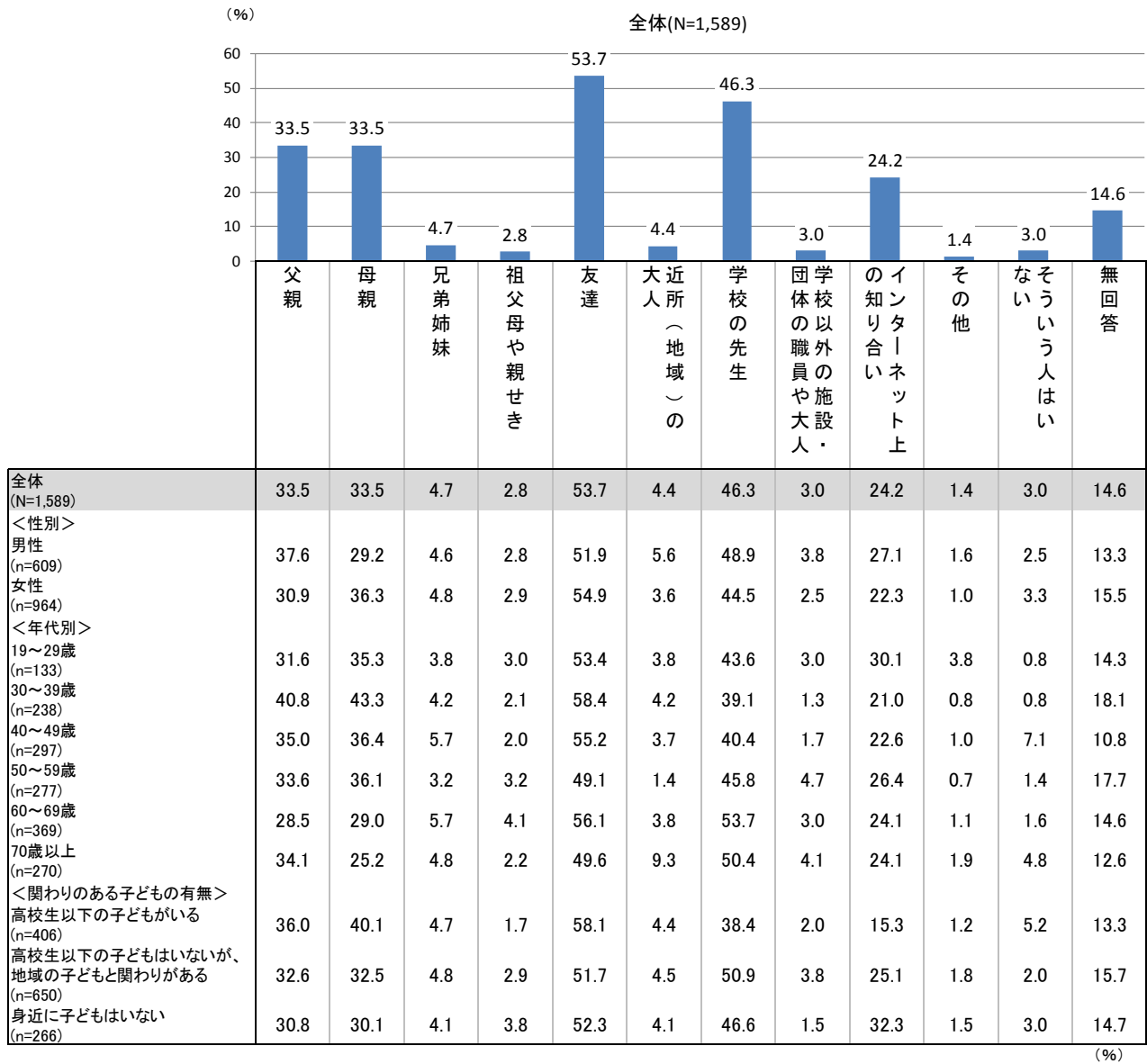
問13 あなたは、今の子どもがどのような不安や悩みを抱えていると思いますか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。（複数回答）



全体では、「友達との関係」(77.4%)が最も多く、次いで「いじめのこと」(56.7%)、「受験や進学のこと」(53.2%)となっている。

<子どもを言葉や力で傷つけやすい人>

問14 生活の中で、子どもを言葉や力で特に傷つけやすいのはどんな人だと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。(複数回答)

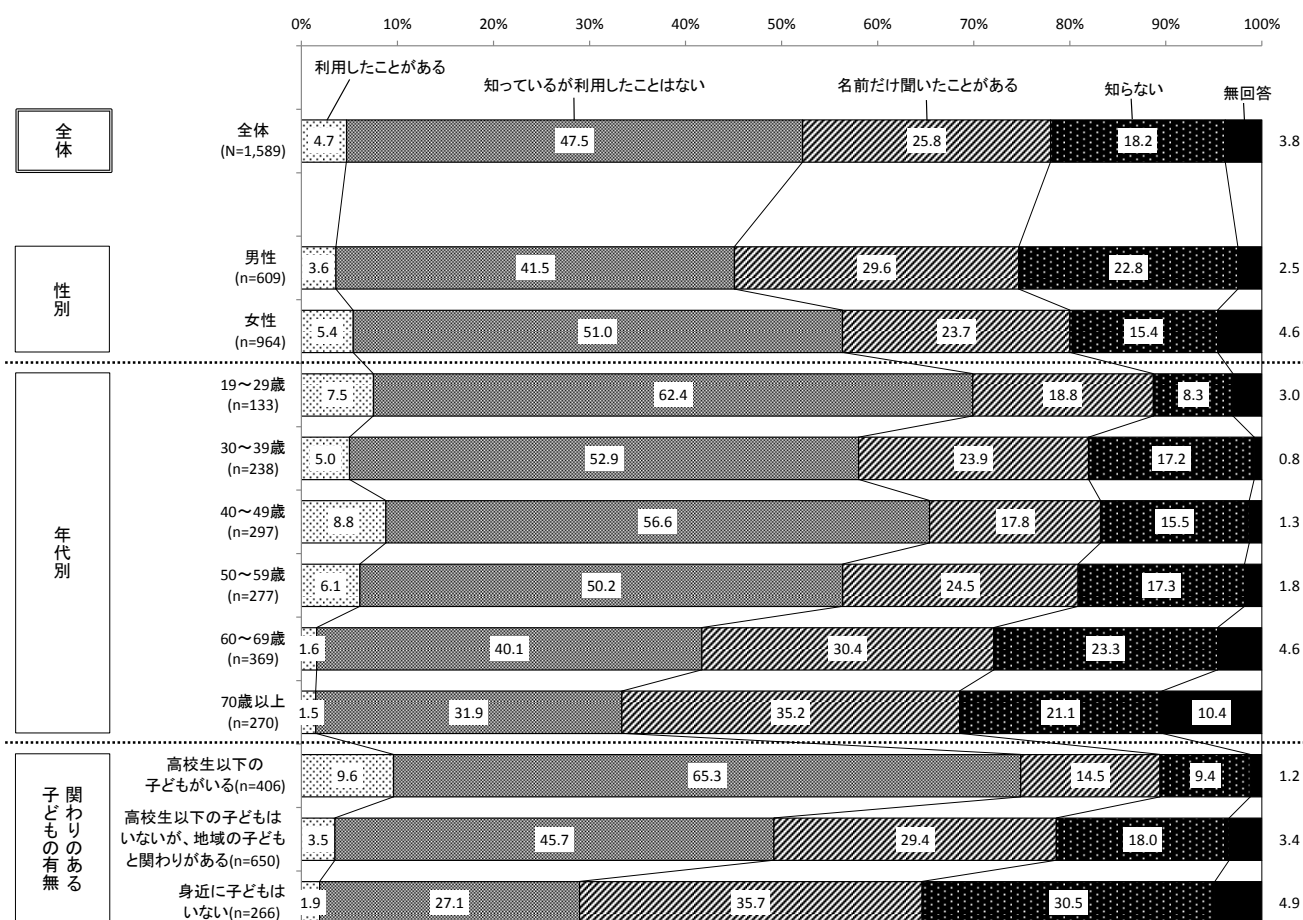


全体では、「友達」(53.7%)が最も多く、次いで「学校の先生」(46.3%)、「父親」(33.5%)、「母親」(33.5%)となっている。

<子どもに関する相談機関の認知度> ①

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したことのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

①学校のスクールカウンセラーなど



全体では、「利用したことがある」が4.7%、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が78.0%となっている。

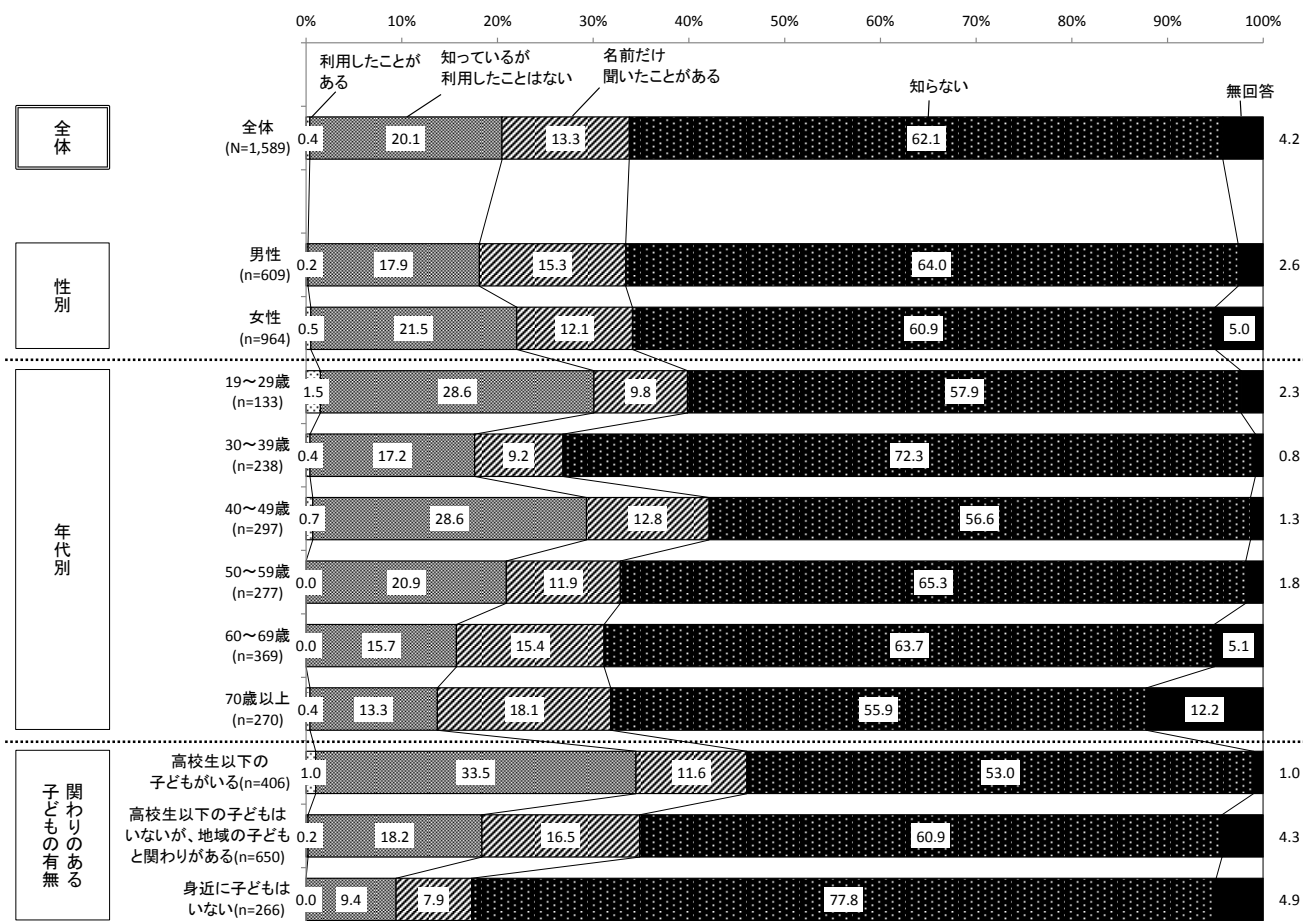
年代別で見ると、「利用したことがある」の割合は19～29歳（7.5%）と40歳代（8.8%）でやや高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、「利用したことがある」の割合が9.6%とやや高くなっている。また、子どもとの関わりが多い人ほど『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもに関する相談機関の認知度> ②

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したことのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

②子どもアシストセンター(札幌市子どもの権利救済機関)



全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』(「利用したことがある」+「知っているが利用したことはない」+「名前だけ聞いたことがある」)が33.8%となっている。

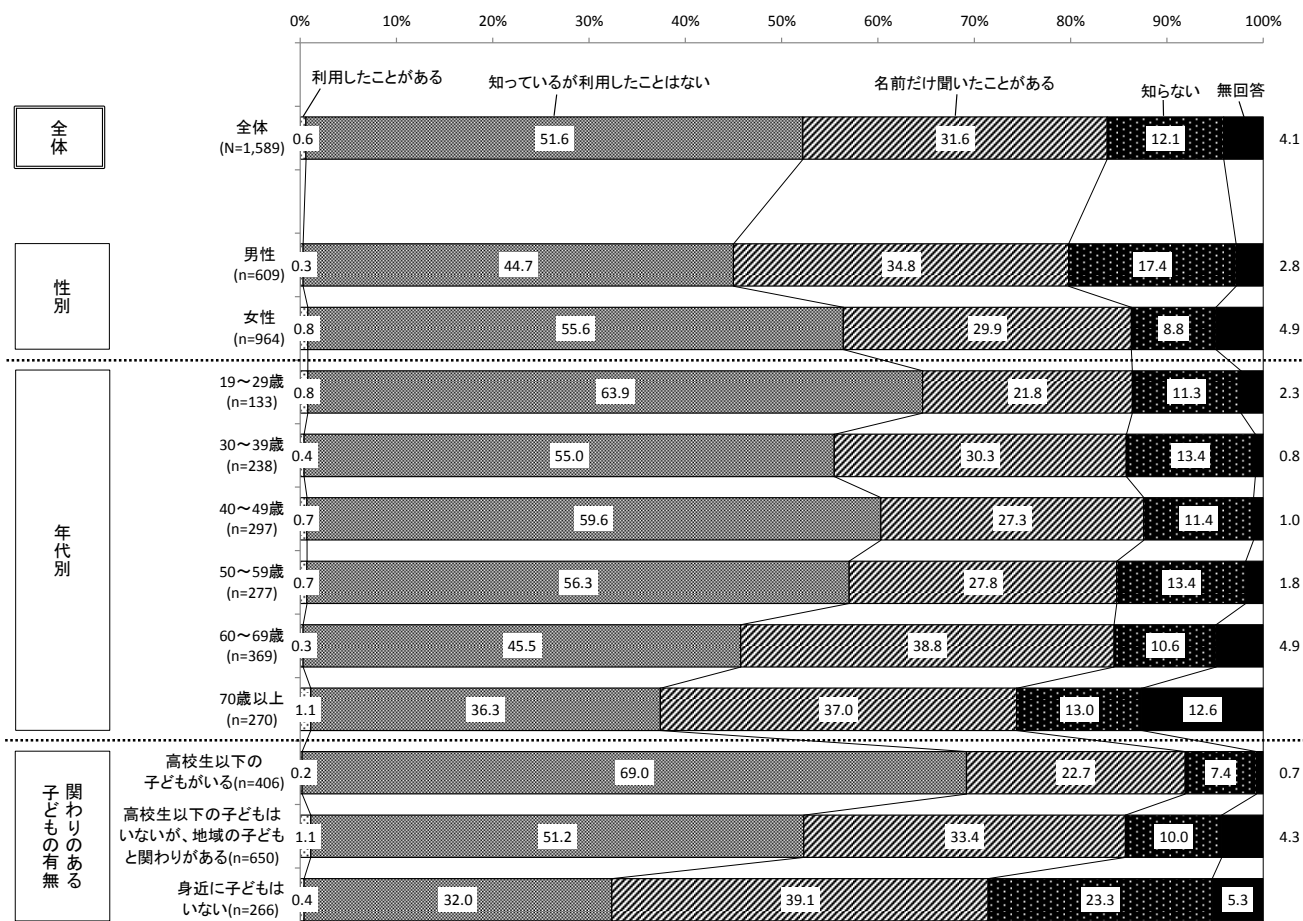
年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は19~29歳(39.8%)と40歳代(42.1%)で高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもに関する相談機関の認知度> ③

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したことがあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

③いじめ電話相談 (札幌市教育委員会)



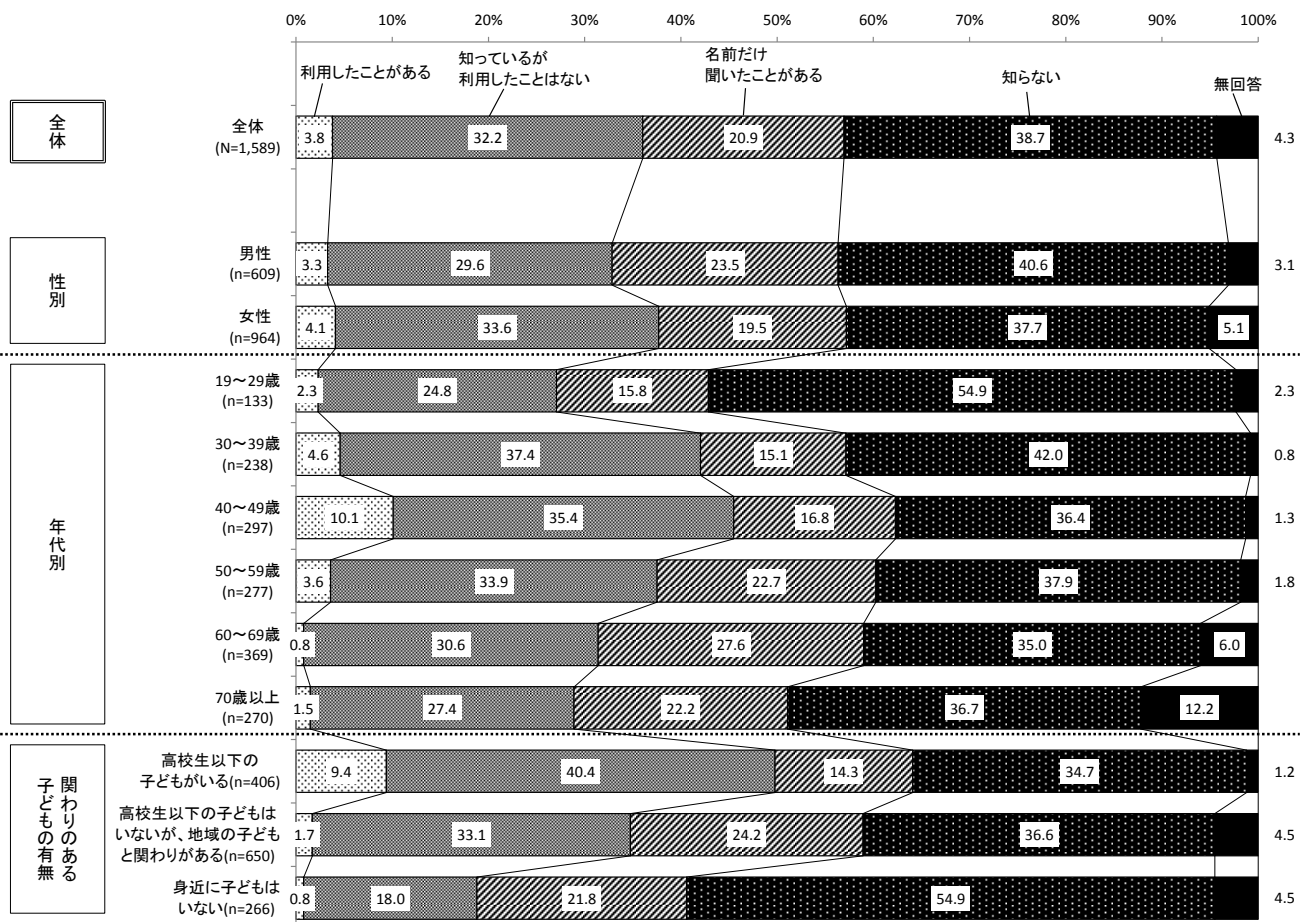
全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が83.8%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもに関する相談機関の認知度> ④

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したところのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

④教育センター ちえりあ教育相談室 (札幌市教育委員会)



全体では、「利用したことがある」が3.8%、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が57.0%となっている。

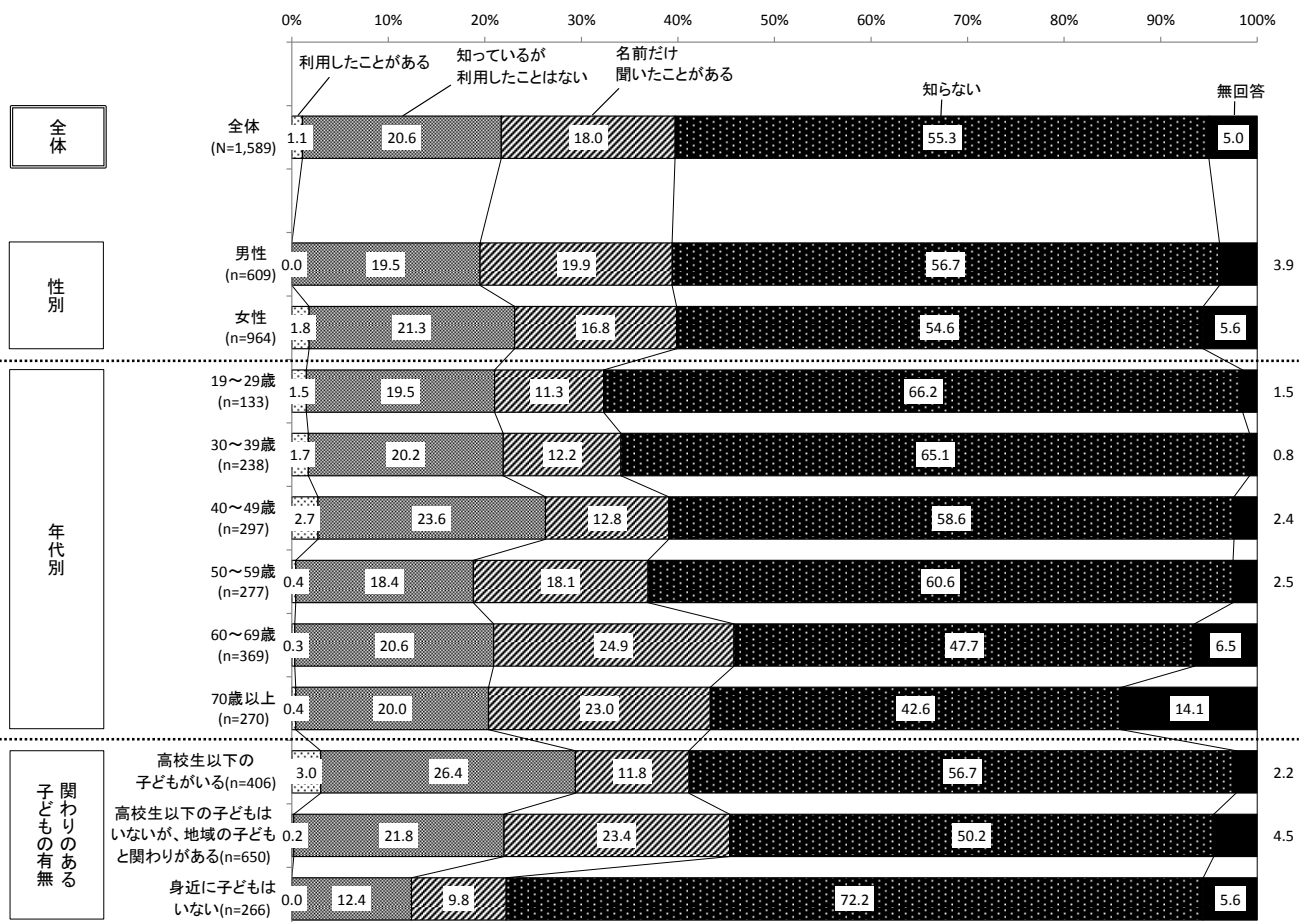
年代別で見ると、「利用したことがある」の割合は40歳代（10.1%）でやや高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、「利用したことがある」の割合が9.4%とやや高くなっている。また、子どもとの関わりが多い人ほど『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもに関する相談機関の認知度> ⑤

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したことのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑤幼児教育センター（札幌市教育委員会）

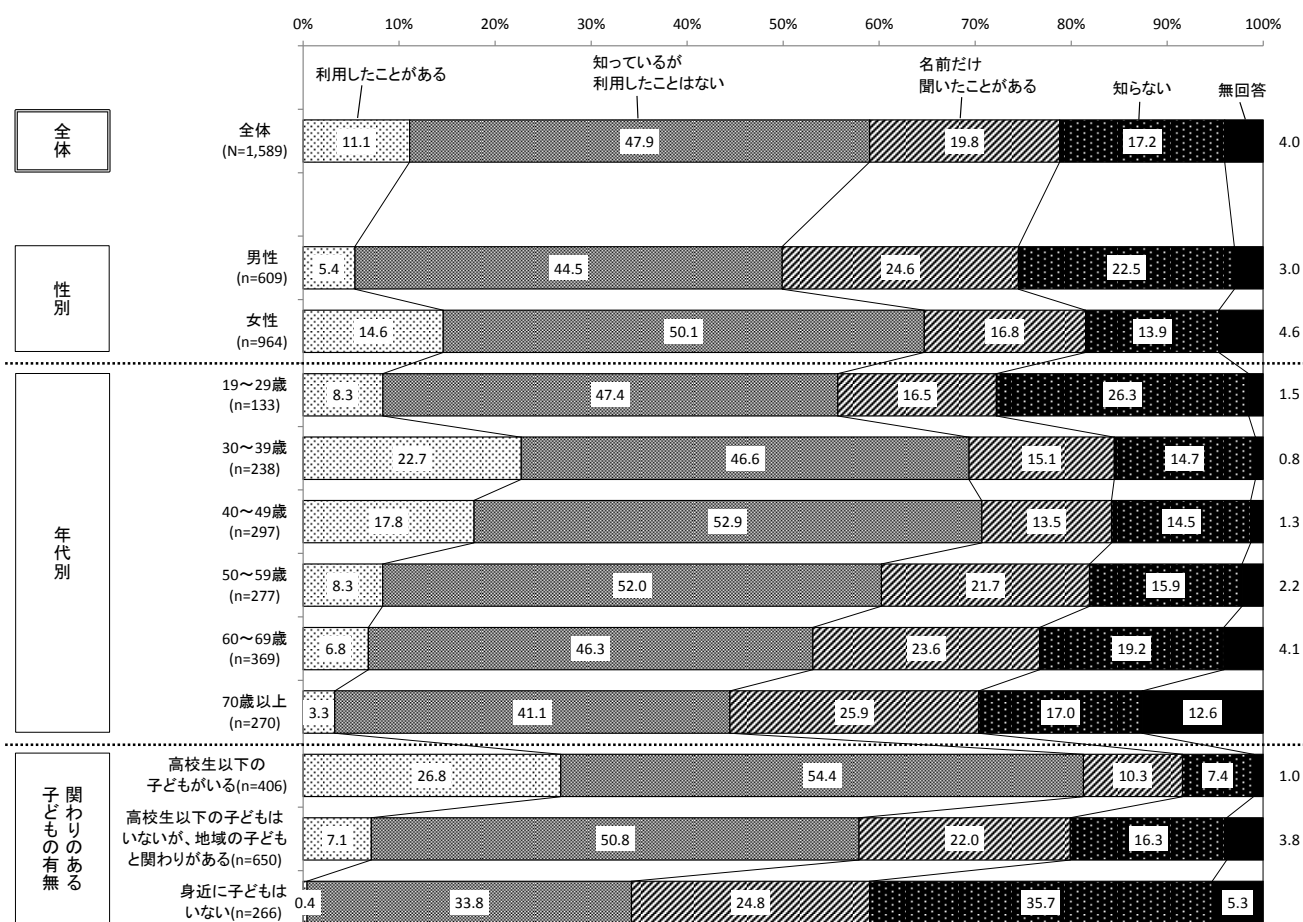


全体では、「利用したことがある」が1.1%、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が39.7%となっている。

<子どもに関する相談機関の認知度> ⑥

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したところのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑥保健師 (各区保健センター)



全体では、「利用したことがある」が11.1%、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」+「知っているが利用したことはない」+「名前だけ聞いたことがある」）が78.8%となっている。

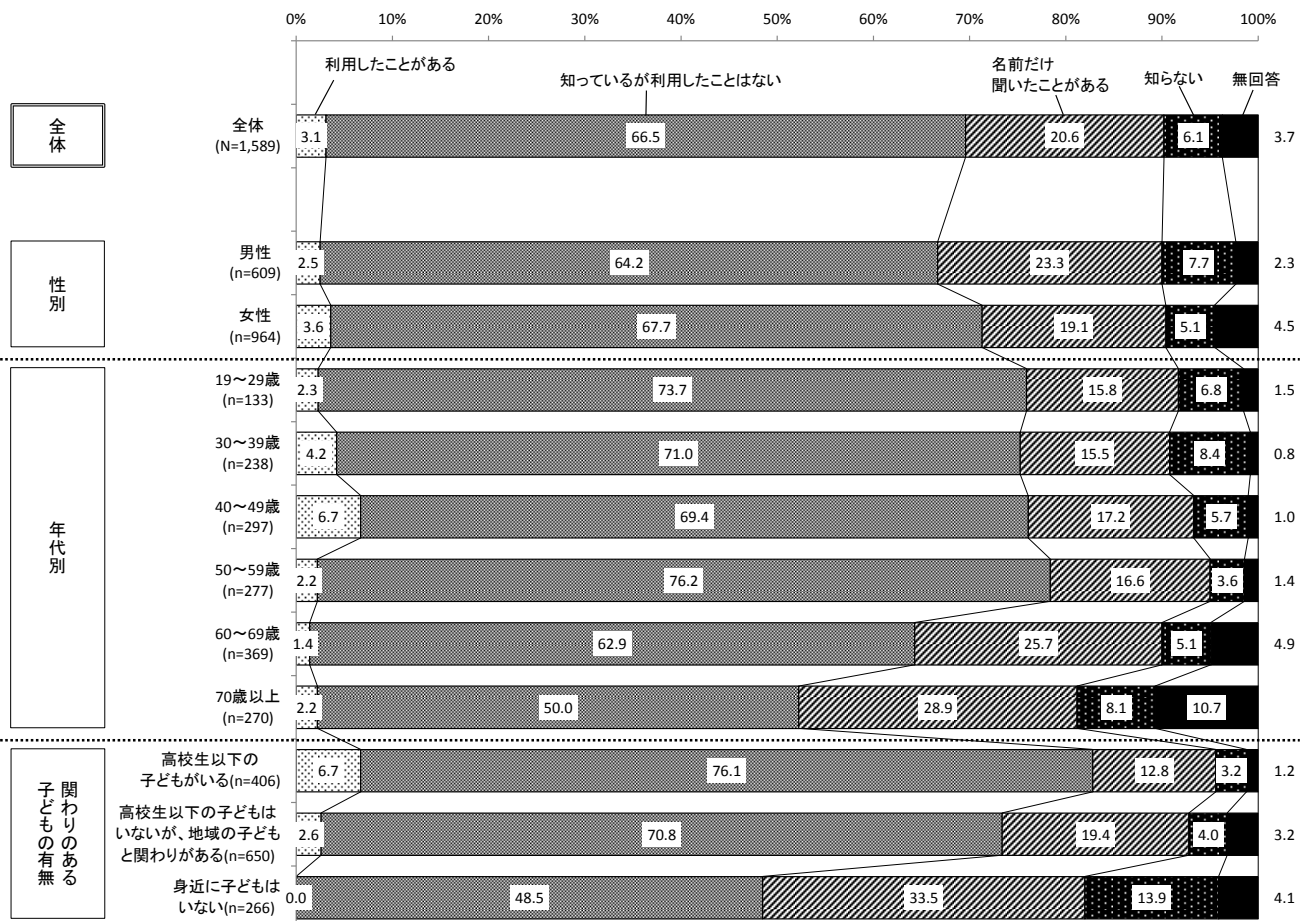
性別で見ると、「利用したことがある」の割合は女性（14.6%）が男性（5.4%）より高くなっている。年代別で見ると、「利用したことがある」の割合は30歳代（22.7%）と40歳代（17.8%）で高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、「利用したことがある」の割合が26.8%と高くなっている。また、子どもとの関わりが多い人ほど『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもに関する相談機関の認知度> ⑦

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したところの
あります。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑦児童相談所

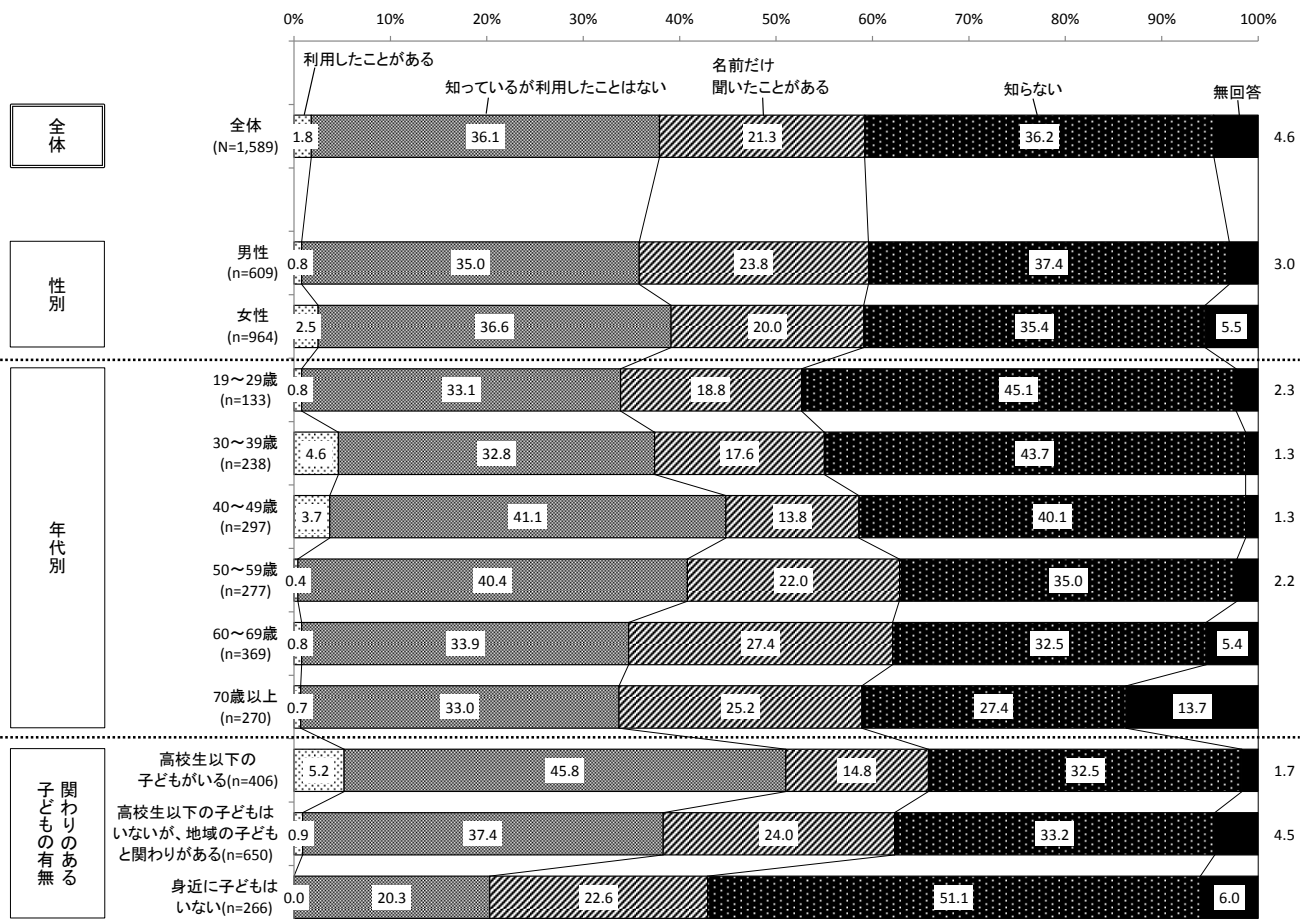


全体では、「利用したことがある」が3.1%、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が90.2%となっている。

<子どもに関する相談機関の認知度> ⑧

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したことのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑧各区家庭児童相談室(各区保健センター)

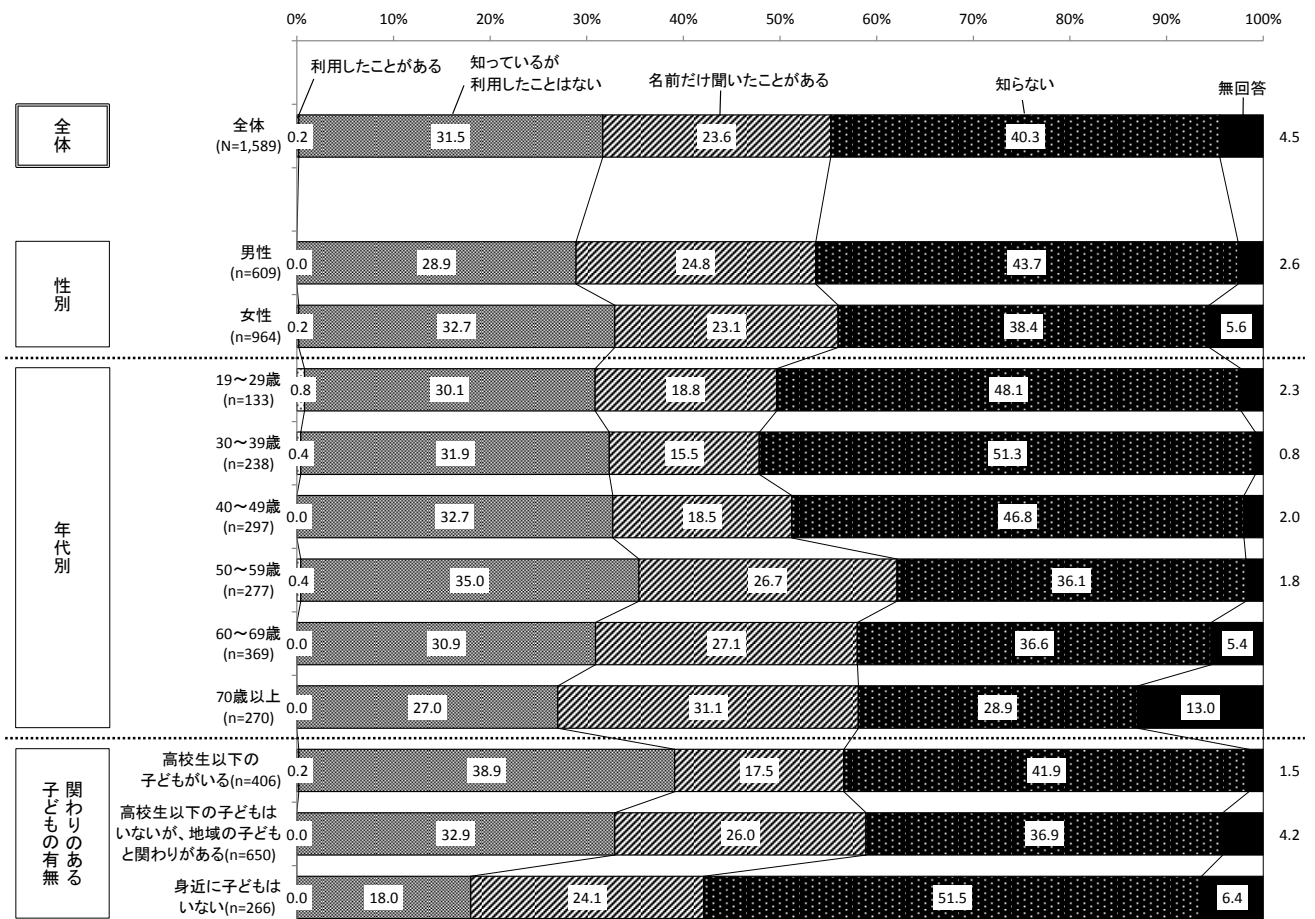


全体では、「利用したことがある」が1.8%、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」+「知っているが利用したことはない」+「名前だけ聞いたことがある」）が59.2%となっている。

<子どもに関する相談機関の認知度> ⑨

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したところのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑨児童家庭支援センター

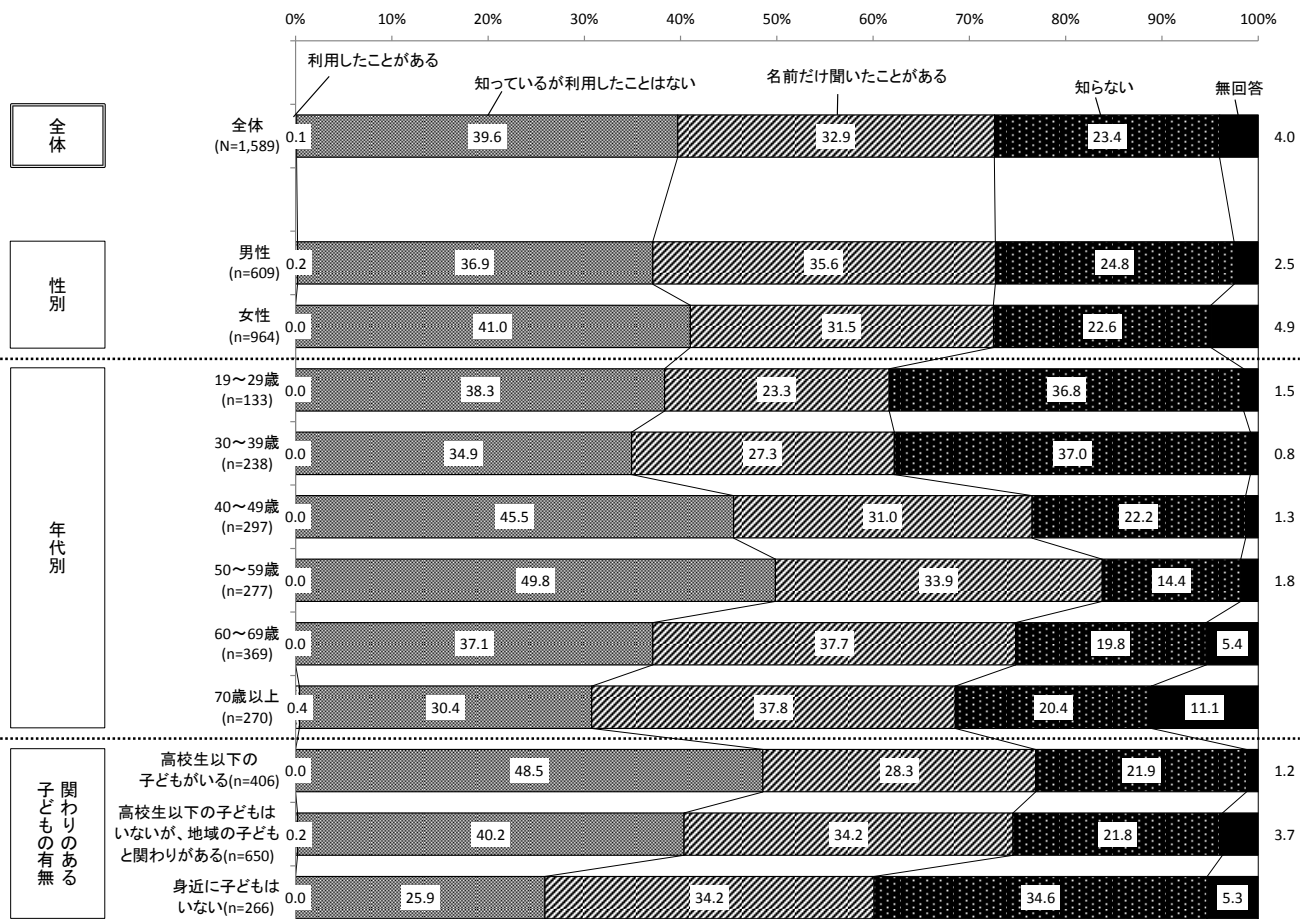


全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」 + 「知っているが利用したことはない」 + 「名前だけ聞いたことがある」）が 55.3% となっている。

<子どもに関する相談機関の認知度> ⑩

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したところのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑩子どもの人権110番(札幌法務局)



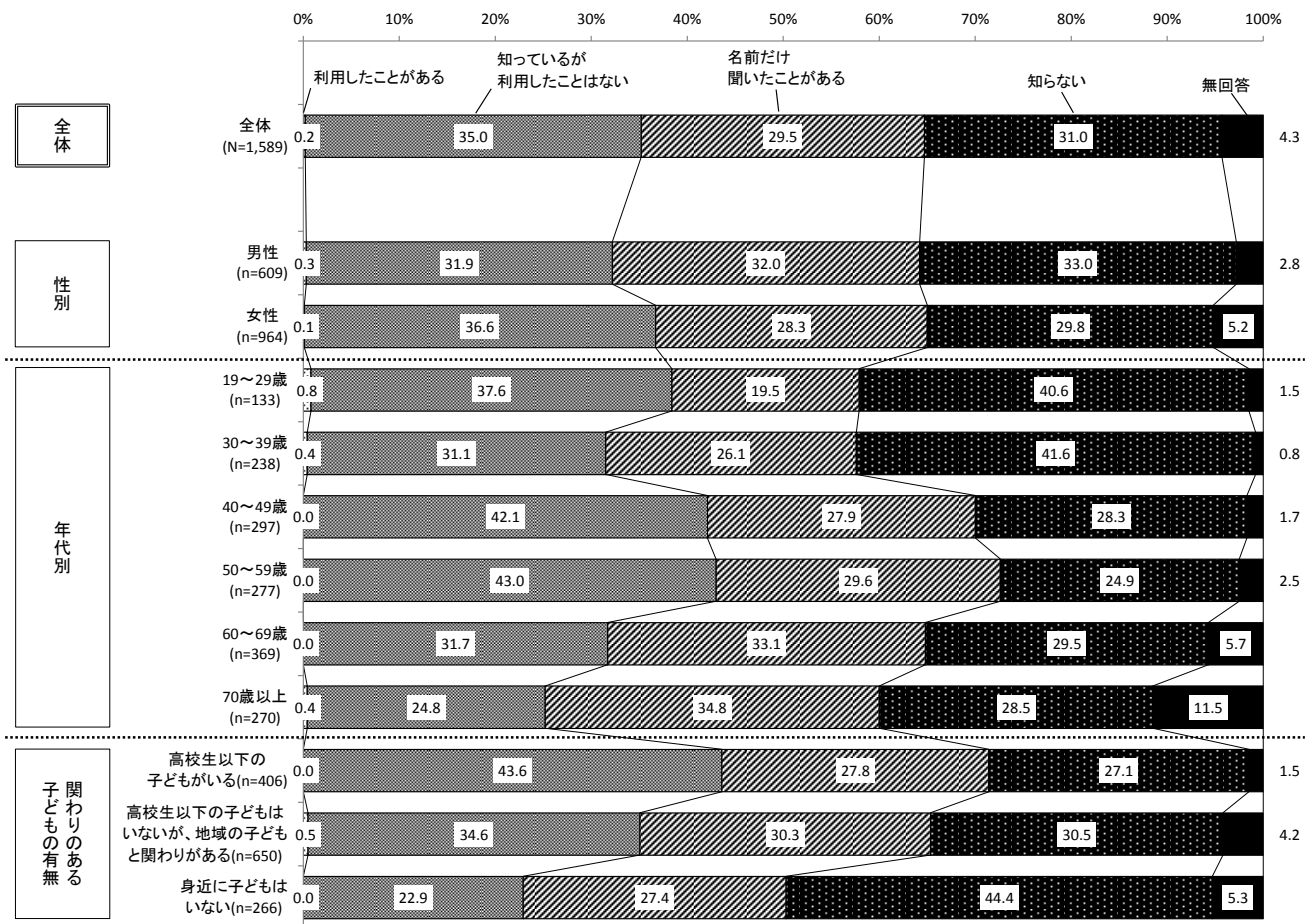
全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が72.6%となっている。

年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は40歳代(76.4%)、50歳代(83.8%)、60歳代(74.8%)で高くなっている。

<子どもに関する相談機関の認知度> ⑪

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したところのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑪子どもの権利110番(札幌弁護士会)



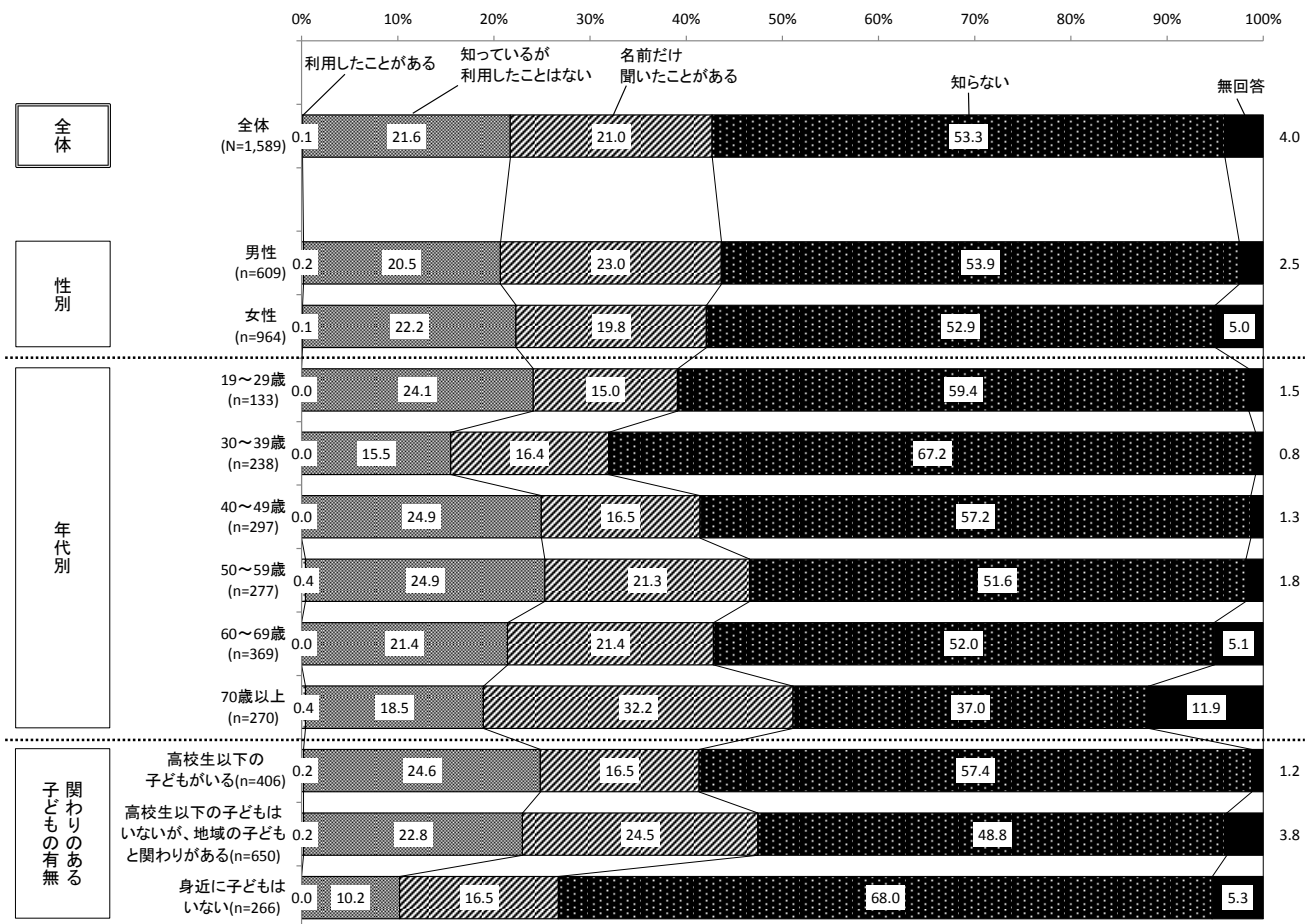
全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』(「利用したことがある」+「知っているが利用したことはない」+「名前だけ聞いたことがある」)が64.7%となっている。

年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は40歳代(70.0%)と50歳代(72.6%)で高くなっている。

<子どもに関する相談機関の認知度> ⑫

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したところのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑫少年相談110番(北海道警察少年サポートセンター)



全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が42.7%となっている。

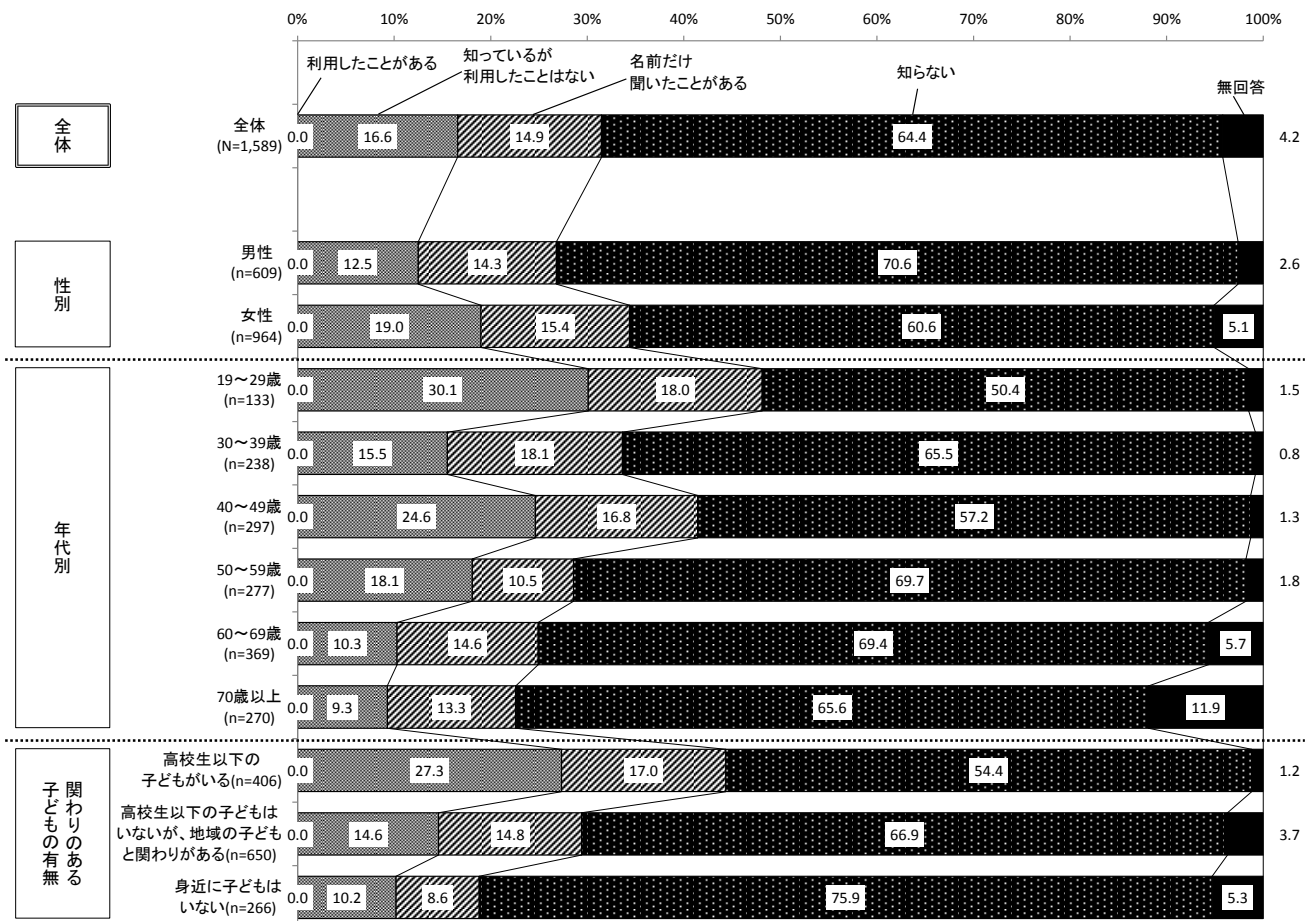
年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は50歳代(46.6%)と70歳以上(51.1%)で高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもはいないが地域の子どもと関わりがある人では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合が47.4%と高くなっている。

<子どもに関する相談機関の認知度> ⑬

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところ、利用したことのあるところがありますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

⑬チャイルドラインほっかいどう



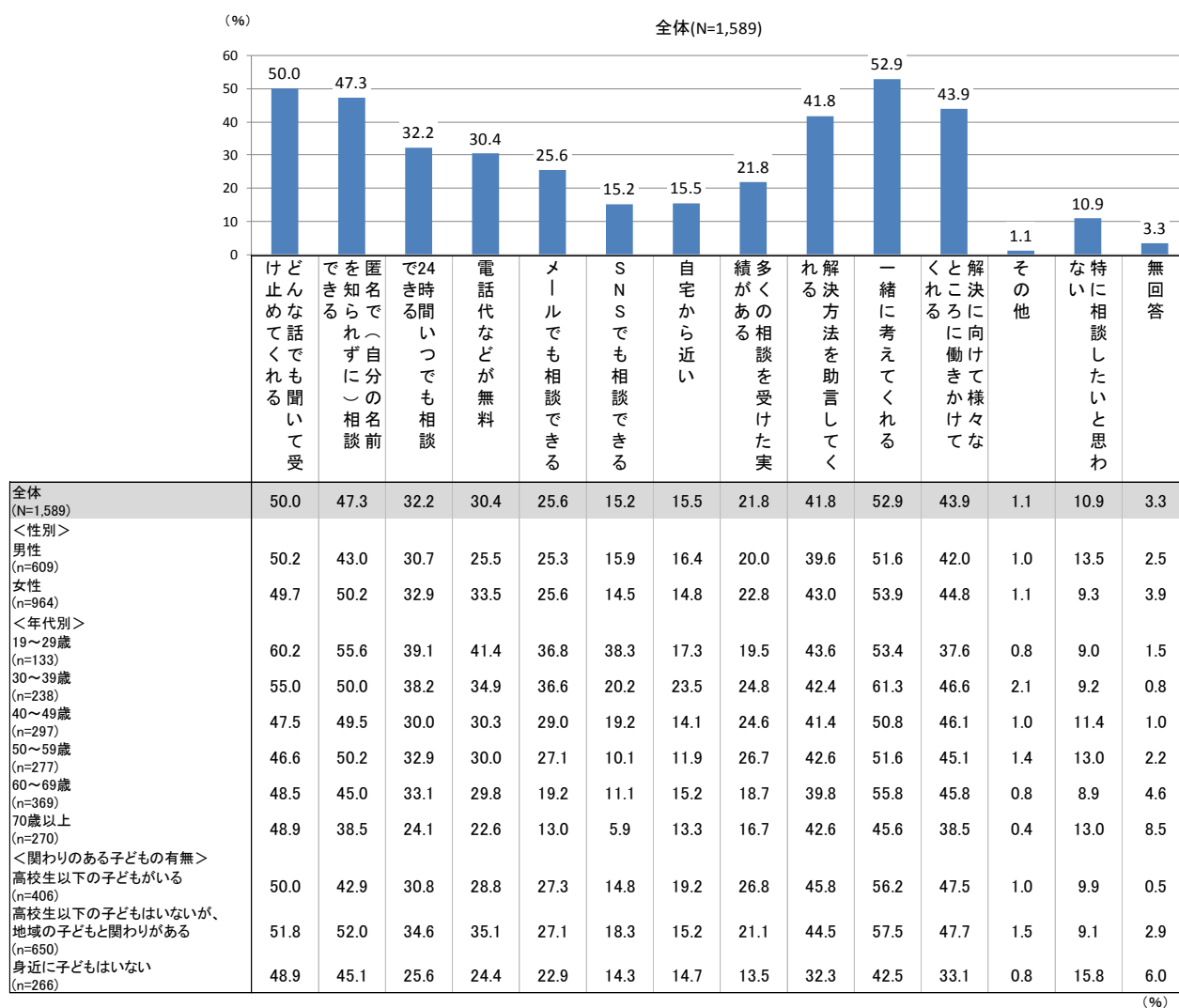
全体では、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」＋「名前だけ聞いたことがある」）が31.5%となっている。

年代別で見ると、『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合は19～29歳（48.1%）と40歳代（41.4%）で高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『利用したことがある・知っている・聞いたことがある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<相談機関に望むこと>

問16 あなたはどのようなところであれば、子どもやご自身のことについて相談してみようと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。（複数回答）

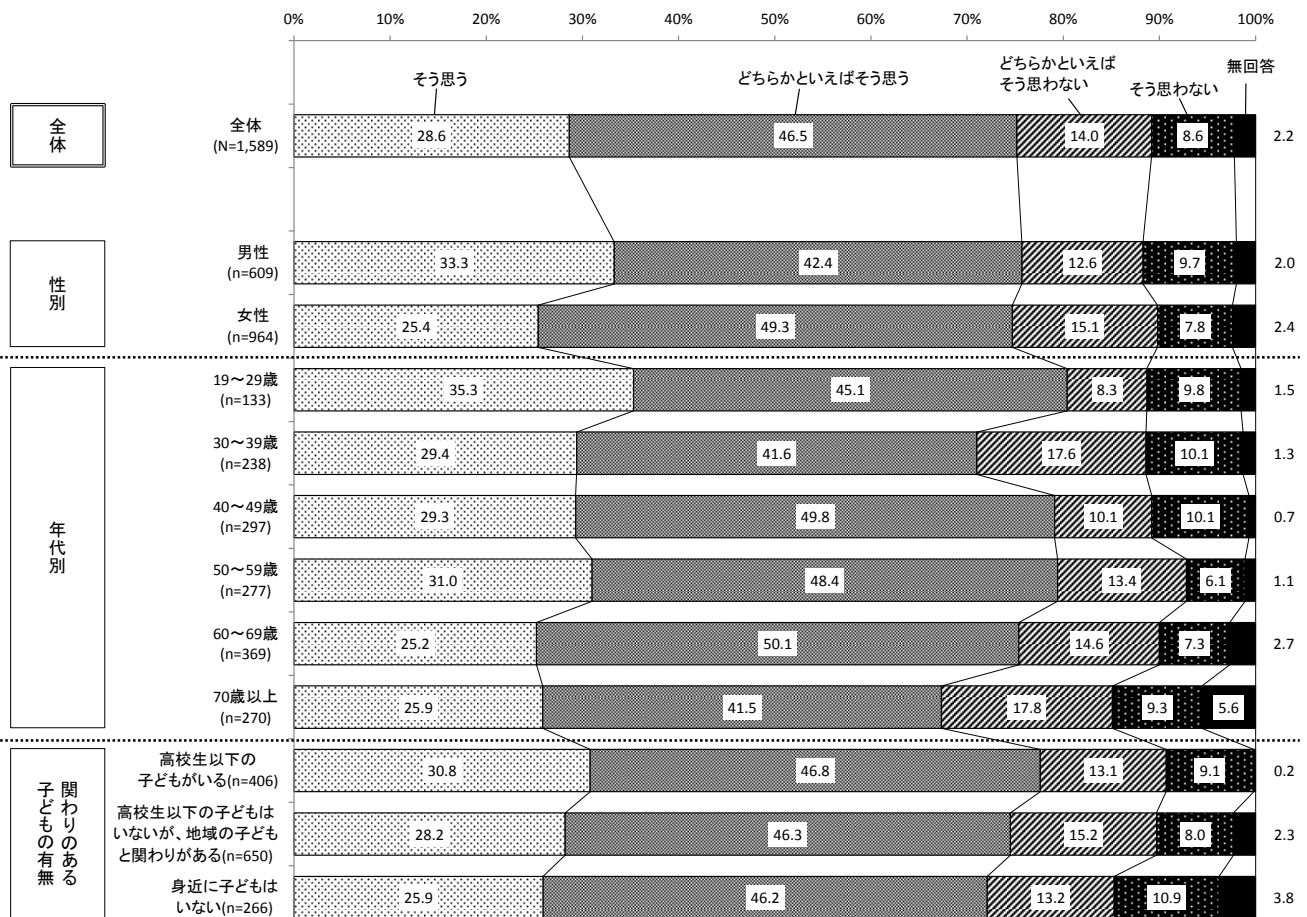


全体では、「一緒に考えてくれる」(52.9%)が最も多く、次いで「どんな話でも聞いて受け止めてくれる」(50.0%)、「匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる」(47.3%)となっている。なお、「特に相談したいと思わない」は10.9%となっている。

<子どものスマートフォン・携帯電話・パソコンの利用について> ①

問17 あなたは、子どもが利用するスマートフォンや携帯電話、パソコンについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

①情報収集しやすく、暮らしや趣味、勉強などに役立つ便利なもの

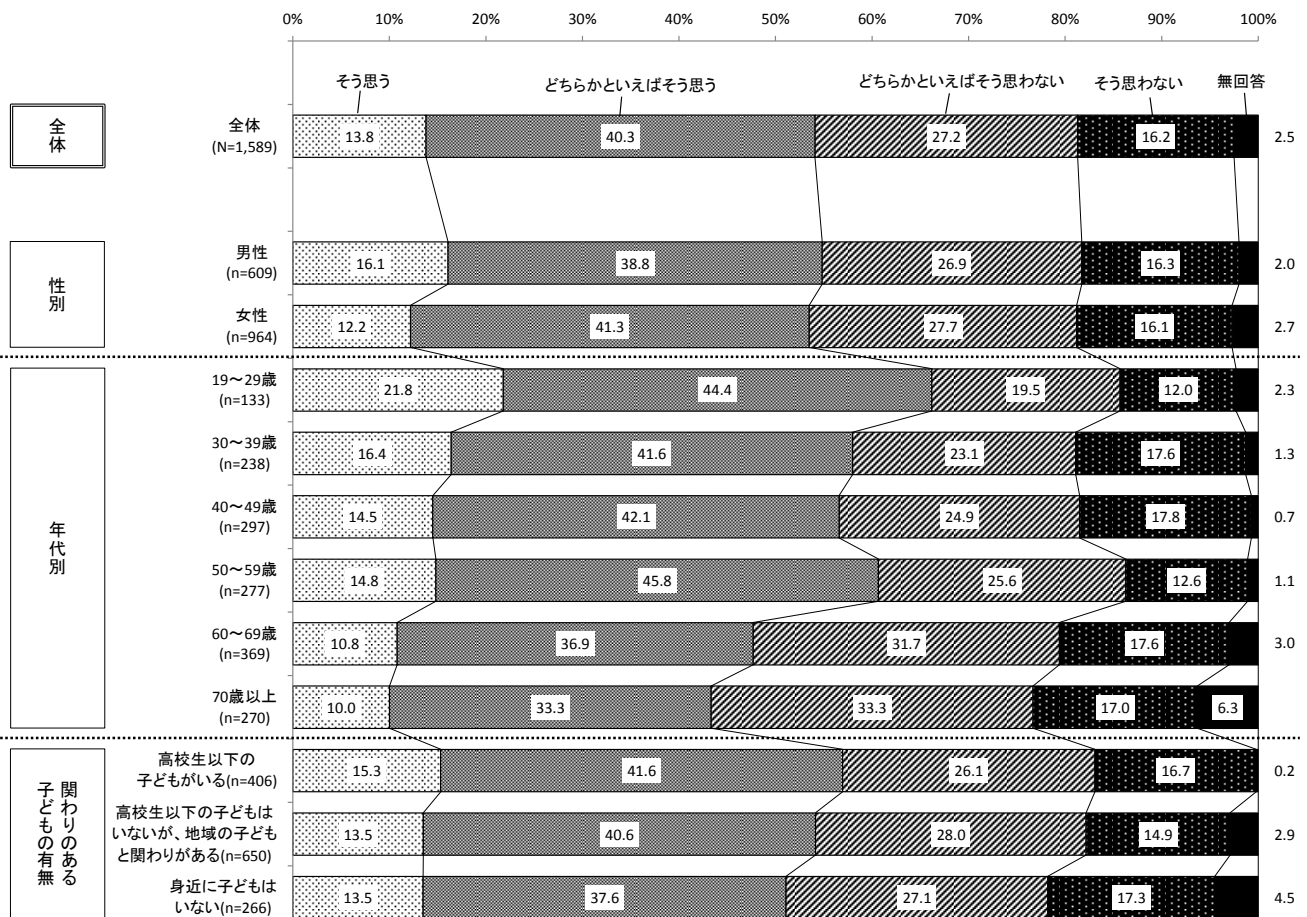


全体では、『思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が75.1%、『思わない』(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)が22.7%となっている。

<子どものスマートフォン・携帯電話・パソコンの利用について> ②

問17 あなたは、子どもが利用するスマートフォンや携帯電話、パソコンについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

②発信やコミュニケーションをしやすい、友達同士など人と人をつなぐ大事なもの

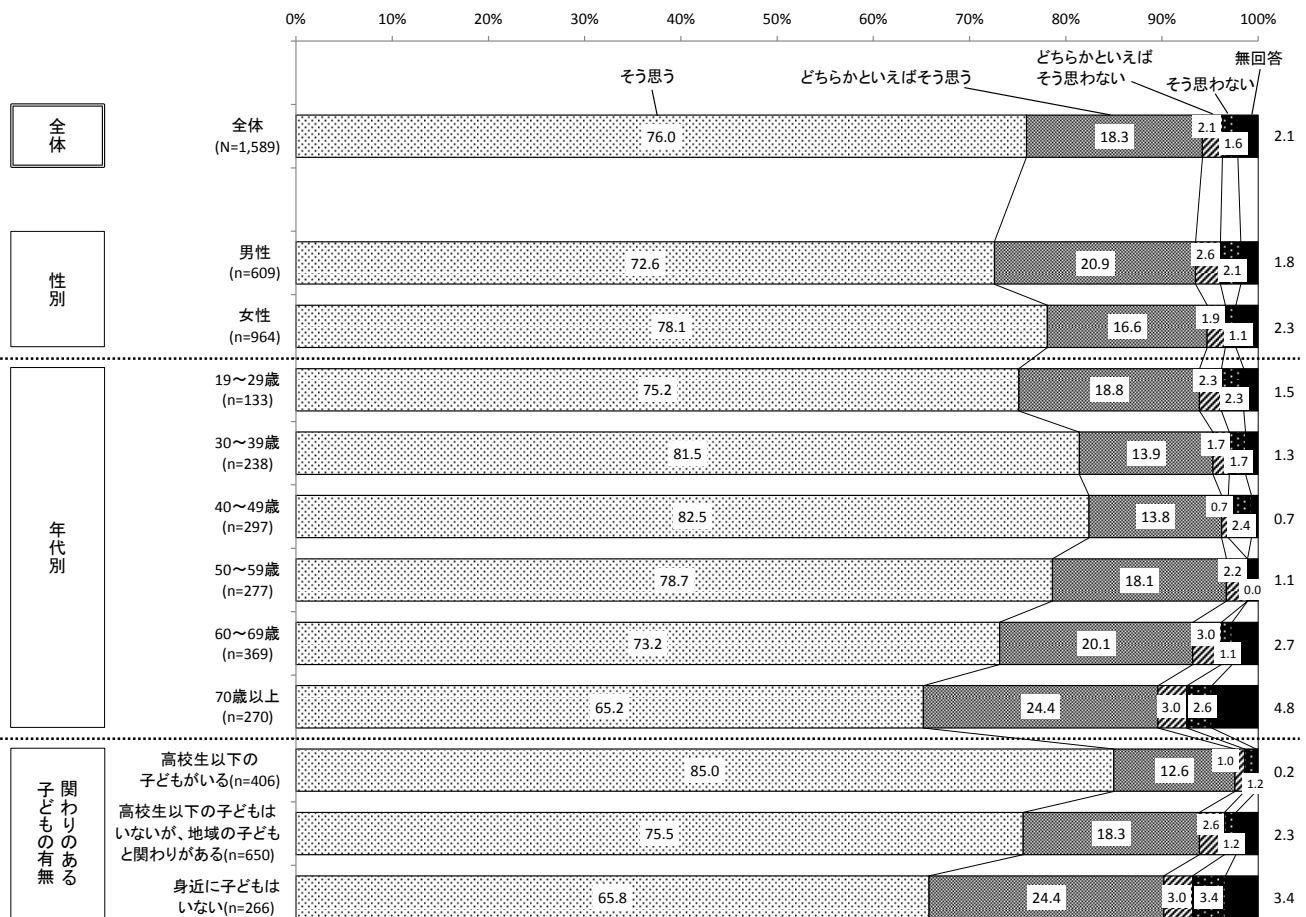


全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が54.1%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が43.4%となっている。

<子どものスマートフォン・携帯電話・パソコンの利用について> ③

問17 あなたは、子どもが利用するスマートフォンや携帯電話、パソコンについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。(単一回答)

③ネットのしすぎや友達同士のトラブルにならないように使い方を考える必要があるもの

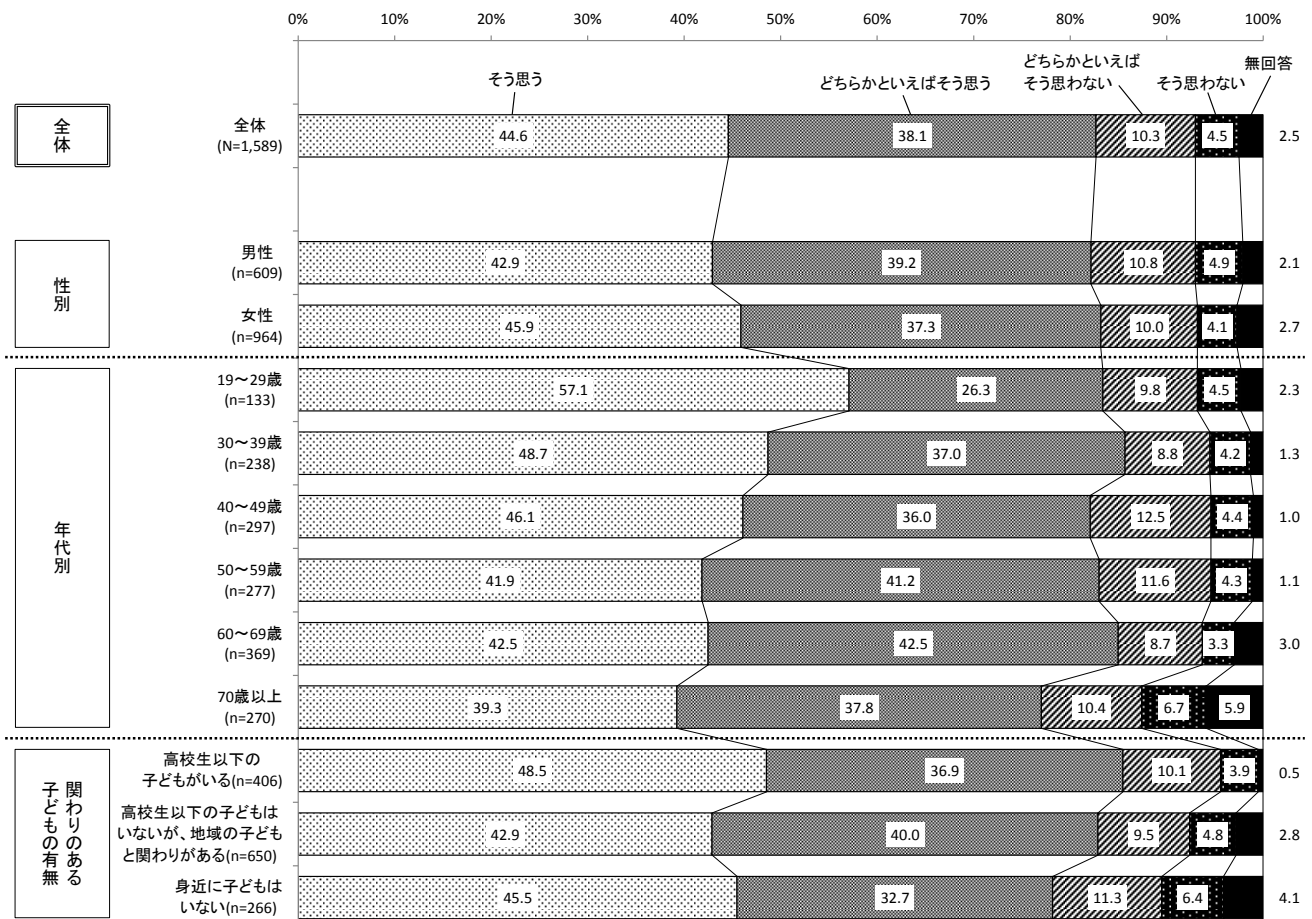


全体では、『思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が94.2%、『思わない』(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)が3.7%となっている。

<子どものスマートフォン・携帯電話・パソコンの利用について> ④

問17 あなたは、子どもが利用するスマートフォンや携帯電話、パソコンについて、どのように思いますか。それぞれの項目のあてはまる番号に○をつけてください。（単一回答）

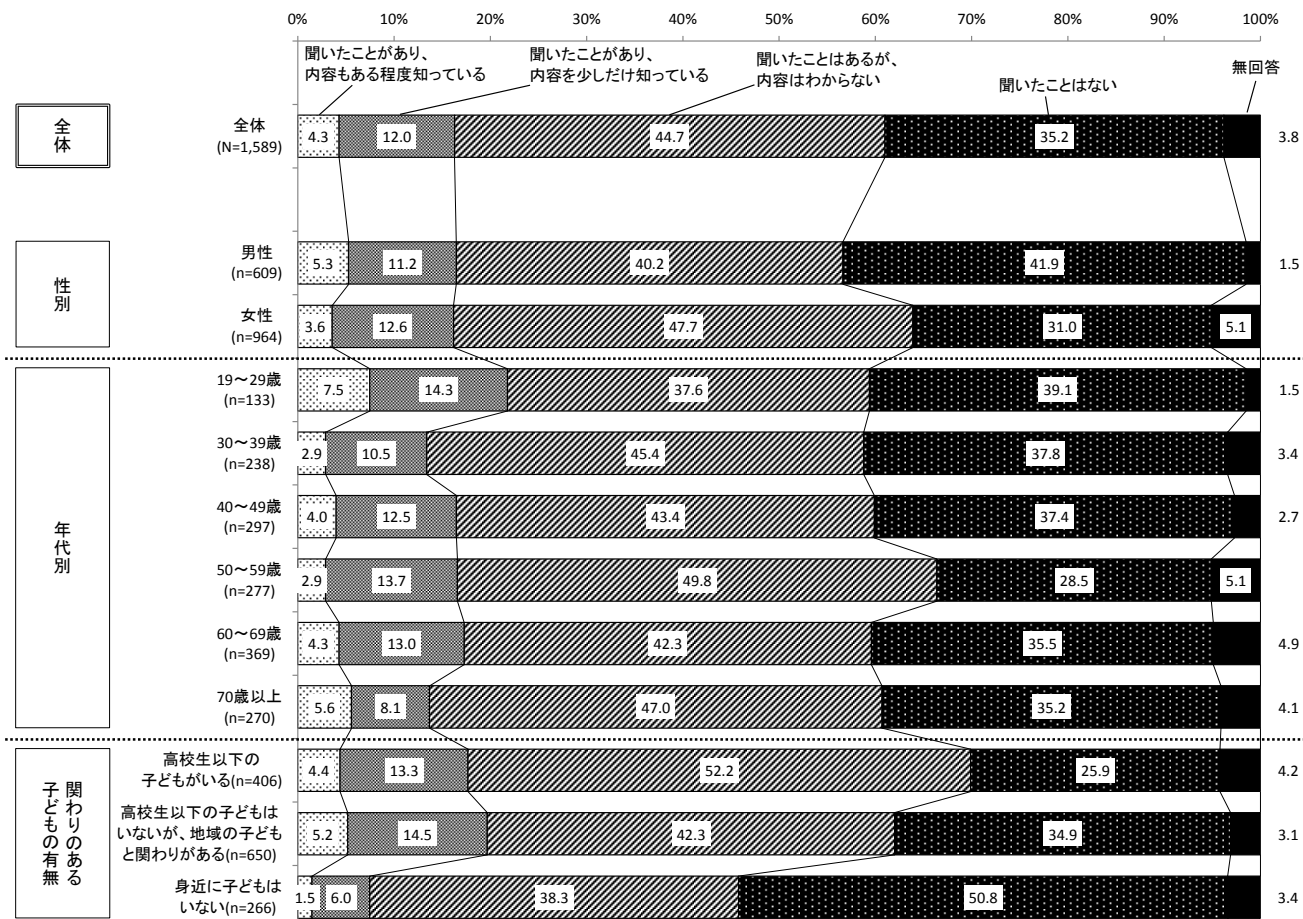
④いじめや有害情報につながる危険なもの



全体では、『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が82.7%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が14.9%となっている。

<子どもの権利の認知度>

問18 あなたは「子どもの権利」について聞いたことがありますか。また、内容についてどのくらい知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。(単一回答)



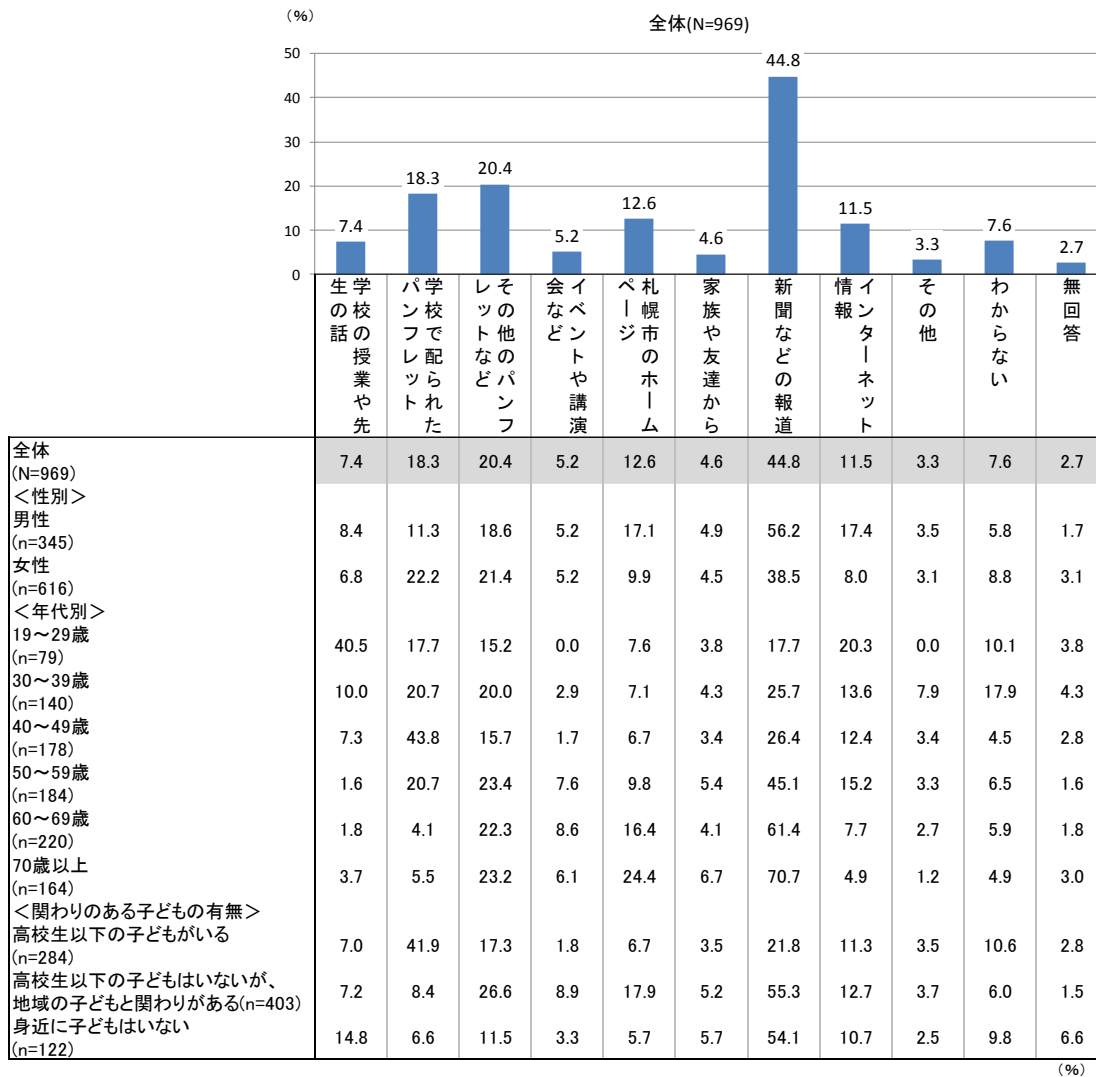
全体では、「聞いたことがあります、内容もある程度知っている」が4.3%、『聞いたことがある』（「聞いたことがあります、内容もある程度知っている」＋「聞いたことがあります、内容を少しだけ知っている」＋「聞いたことはあるが、内容はわからない」）が61.0%となっている。

子どもとの関わりで見ると、関わりが多い人ほど『聞いたことがある』の割合が高くなる傾向が見られる。

<子どもの権利を何で知ったか>

問19 何で知ったり聞いたりしましたか。あてはまるものいくつかでも○をつけてください。

【問18で「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」「聞いたことはあるが、内容はわからない」に○をつけた方のみ】（複数回答）



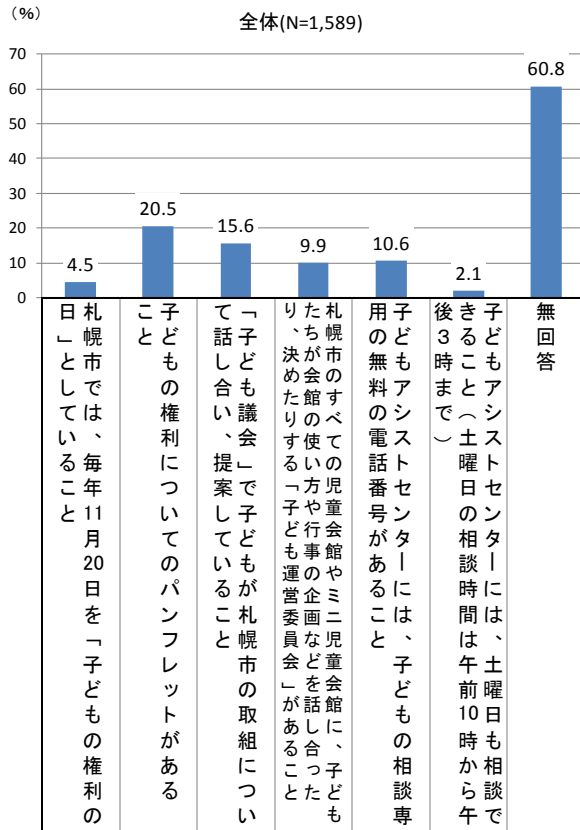
全体では、「新聞などの報道」(44.8%)が最も多く、次いで「その他のパンフレットなど」(20.4%)、「学校で配られたパンフレット」(18.3%)となっている。

年代別で見ると、「学校で配られたパンフレット」の割合は40歳代(43.8%)で高くなっている。また、年代が高いほど「新聞などの報道」の割合が高くなる傾向が見られ、70歳以上(70.7%)が最も高くなっている。

子どもとの関わりで見ると、高校生以下の子どもがいる人では、「学校で配られたパンフレット」の割合が41.9%と高くなっている一方、高校生以下の子どもはいないが地域の子とも関わりがある人、身近に子どもがいない人では、「新聞などの報道」がそれぞれ55.3%、54.1%と高くなっている。

<子どもの権利に関して知っていること>

問 20 あなたは、次のことを知っていますか。知っているものにもいくつでも○をつけてください。
(複数回答)



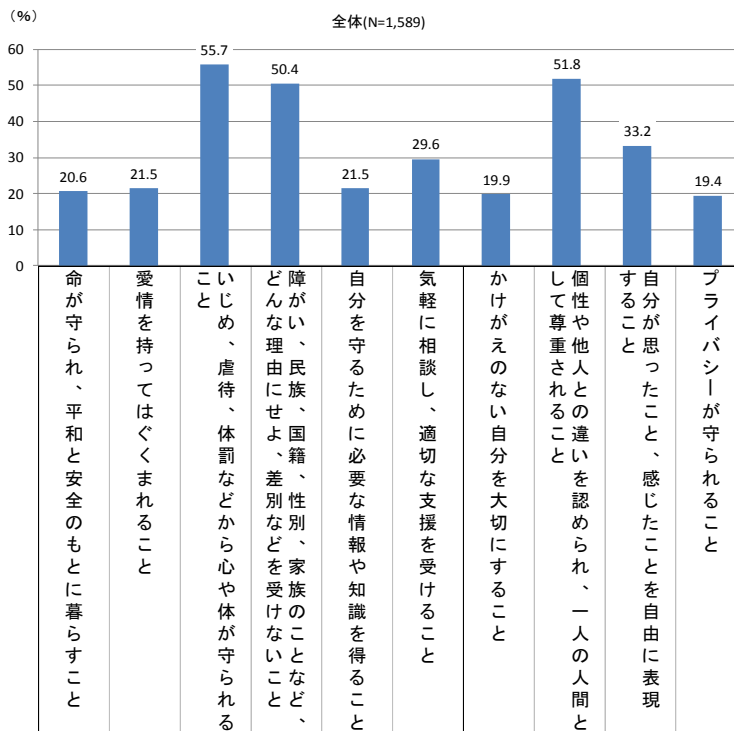
全体 (N=1,589)	4.5	20.5	15.6	9.9	10.6	2.1	60.8
<性別>							
男性 (n=609)	6.2	18.4	16.9	8.5	8.4	2.5	62.7
女性 (n=964)	3.3	21.9	14.7	10.9	12.1	1.9	59.3
<年代別>							
19～29歳 (n=133)	6.0	18.8	11.3	3.8	11.3	4.5	65.4
30～39歳 (n=238)	2.1	17.2	10.1	7.1	8.8	2.9	69.7
40～49歳 (n=297)	2.0	26.6	13.5	13.8	15.5	1.0	54.9
50～59歳 (n=277)	4.0	24.5	14.1	9.7	10.8	1.8	59.6
60～69歳 (n=369)	3.5	16.5	17.1	9.5	8.9	1.1	63.7
70歳以上 (n=270)	10.4	19.3	24.4	12.2	8.5	3.0	54.1
<関わりのある子どもの有無>							
高校生以下の子どもがいる (n=406)	3.2	29.8	13.1	15.3	18.7	3.0	52.5
高校生以下の子どもはいないが、 地域の子とも関わりがある (n=650)	6.0	21.5	17.2	9.4	9.5	2.6	59.8
身近に子どもはいない (n=266)	4.1	7.9	9.8	3.4	4.5	0.8	75.9

(%)

全体では、「子どもの権利についてのパンフレットがあること」(20.5%)が最も多く、次いで「「子ども議会」で子どもが札幌市の取組について話し合い、提案していること」(15.6%)、「子どもアシストセンターには、子どもの相談専用の無料の電話番号があること」(10.6%)となっている。

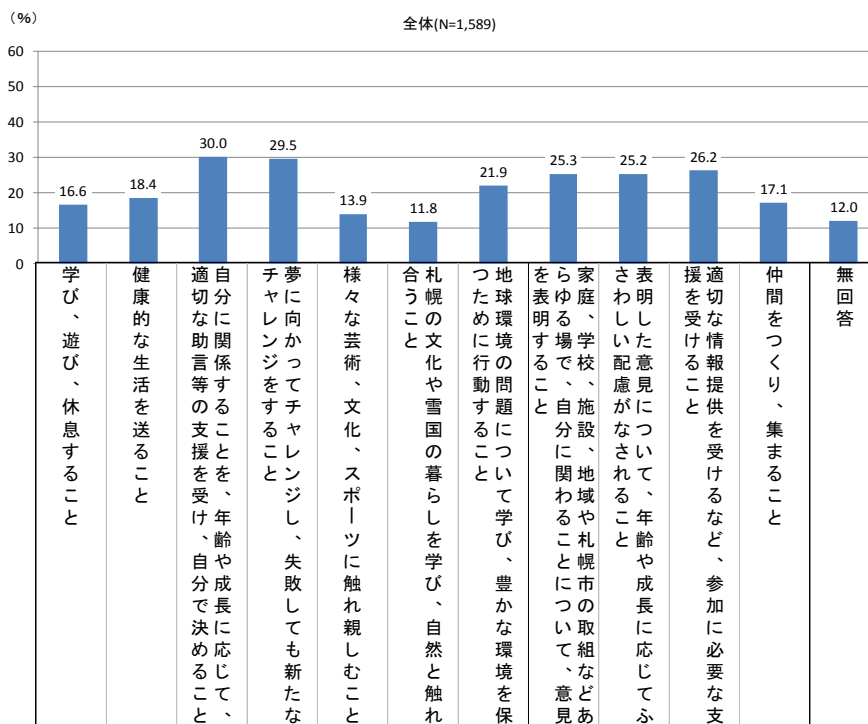
<子どもの権利で大切にされていないもの>

問21 子どもの権利条例では、子どもの権利を「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」に大きく分け、21の権利を挙げています。あなたは、子どもの権利の中で、大切にされていないと思うものはありますか。大切にされていないと思う項目にいくつでも○をつけてください。（複数回答）



	安心して生きる権利					自分らしく生きる権利				
	20.6	21.5	55.7	50.4	21.5	29.6	19.9	51.8	33.2	19.4
全体 (N=1,589)	20.6	21.5	55.7	50.4	21.5	29.6	19.9	51.8	33.2	19.4
<性別>										
男性 (n=609)	20.0	23.2	56.8	47.3	24.1	30.5	20.9	49.9	35.6	21.3
女性 (n=964)	21.0	20.3	54.9	52.0	19.8	29.0	19.3	52.7	31.4	18.4
<年代別>										
19～29歳 (n=133)	16.5	20.3	51.9	51.9	28.6	35.3	15.0	58.6	39.8	23.3
30～39歳 (n=238)	18.9	20.6	54.6	47.9	26.1	32.8	19.7	50.0	42.4	22.7
40～49歳 (n=297)	15.8	15.8	48.8	47.5	20.5	27.6	17.2	42.4	30.3	19.9
50～59歳 (n=277)	18.1	24.2	58.5	47.7	17.3	24.9	19.5	51.6	34.3	17.3
60～69歳 (n=369)	21.7	24.7	60.2	53.9	20.3	31.2	23.0	57.7	30.4	15.7
70歳以上 (n=270)	30.4	21.9	57.0	53.0	20.4	28.5	21.1	52.6	27.0	21.1
<関わりのある子どもの有無>										
高校生以下の子どもがいる (n=406)	16.0	14.8	44.8	45.1	19.7	28.3	16.3	45.8	36.9	18.2
高校生以下の子どもはいないが、地域の子とも関わりがある (n=650)	24.6	25.5	62.0	55.7	24.5	30.6	22.2	57.7	34.3	21.2
身近に子どもはいない (n=266)	16.5	21.1	58.3	47.4	17.7	28.9	21.4	48.5	26.7	18.0

(%)



	豊かに育つ権利						参加する権利					
全体 (N=1,589)	16.6	18.4	30.0	29.5	13.9	11.8	21.9	25.3	25.2	26.2	17.1	12.0
<性別>												
男性 (n=609)	18.7	19.9	32.8	35.5	15.6	13.3	22.2	28.6	27.4	29.4	19.9	9.7
女性 (n=964)	14.7	17.2	28.1	25.8	13.0	11.0	22.1	23.0	23.8	24.3	15.2	13.5
<年代別>												
19~29歳 (n=133)	21.1	15.8	31.6	38.3	13.5	11.3	18.0	27.8	33.1	30.1	14.3	7.5
30~39歳 (n=238)	16.4	13.4	31.1	31.5	14.7	10.5	17.6	26.5	22.3	23.9	17.2	13.4
40~49歳 (n=297)	12.8	14.8	26.9	24.9	13.1	10.1	20.2	23.2	20.5	24.2	17.2	18.2
50~59歳 (n=277)	15.2	20.6	28.5	28.2	13.0	14.4	23.5	24.5	25.3	24.2	15.2	10.8
60~69歳 (n=369)	16.5	20.6	30.9	30.9	13.8	13.0	23.0	23.6	26.8	27.1	17.1	9.5
70歳以上 (n=270)	19.3	22.6	31.9	27.4	15.6	11.1	26.3	27.8	26.7	29.6	20.0	11.1
<関わりのある子どもの有無>												
高校生以下の子どもがいる (n=406)	15.0	12.1	25.9	25.4	15.5	8.6	18.0	22.2	20.4	23.9	13.5	18.5
高校生以下の子どもはいないが、地域の子どもと関わりがある (n=650)	18.2	22.2	32.9	32.9	15.2	14.5	27.2	26.9	29.4	29.1	19.2	8.0
身近に子どもはいない (n=266)	15.8	19.2	27.4	29.3	10.5	11.7	16.9	25.6	22.6	24.8	21.4	10.2

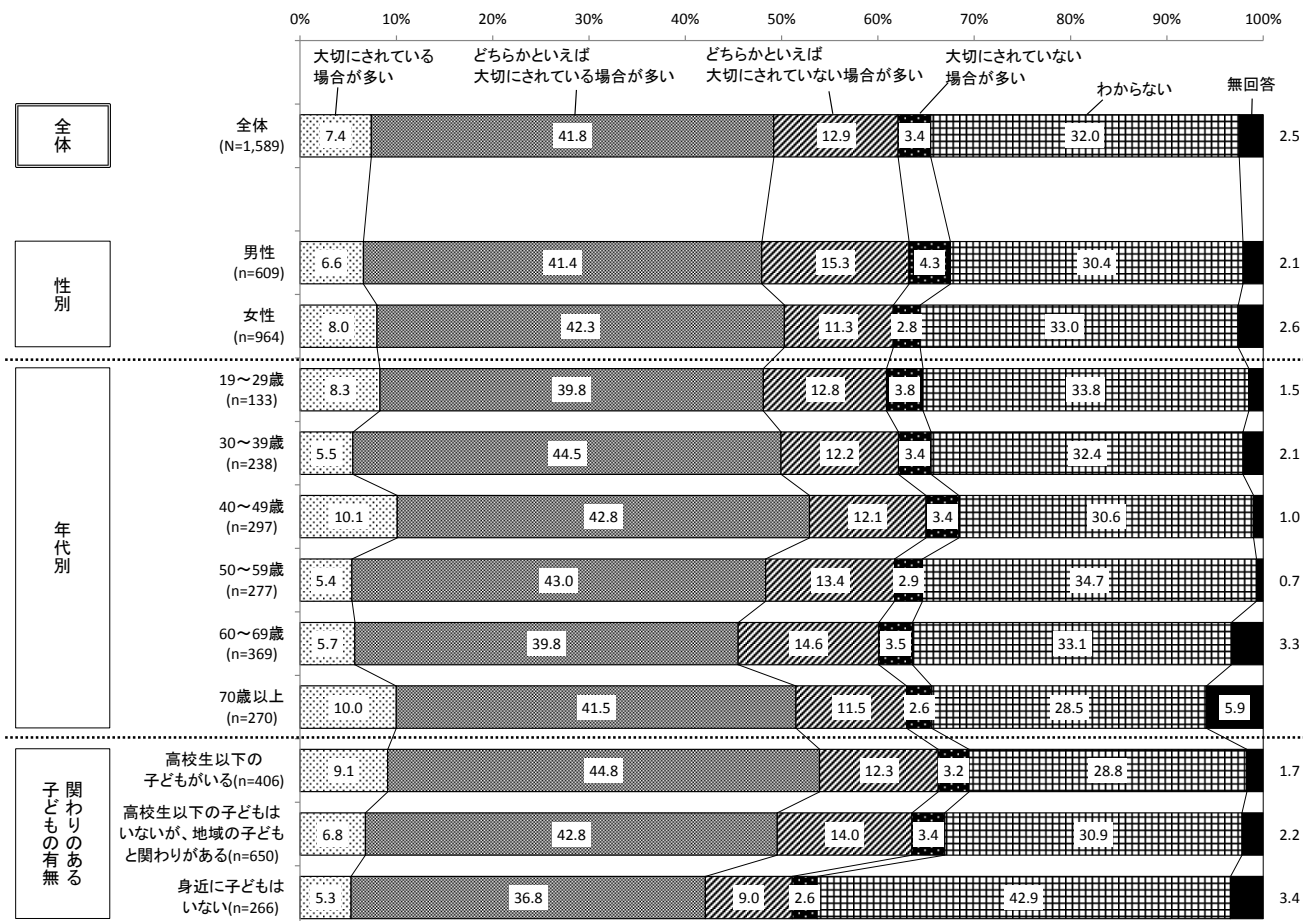
(%)

全体では、「いじめ、虐待、体罰などから心や体が守られること」(55.7%)が最も多く、次いで「個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されること」(51.8%)、「障がい、民族、国籍、性別、家族のことなど、どんな理由にせよ、差別などを受けないこと」(50.4%)となっている。

子どもとの関わりで見ると、大半の項目で、高校生以下の子どもはいないが地域の子どもと関わりがある人の回答割合が高くなっている。

<子どもの権利が大切にされているか>

問22 あなたは、札幌市では全体として子どもの権利が大切にされていると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。(単一回答)



全体では、『大切にされている』（「大切にされている場合が多い」+「どちらかといえば大切にされている場合が多い」）が 49.2%、『大切にされていない』（「どちらかといえば大切にされていない場合が多い」+「大切にされていない場合が多い」）が 16.3%となっている。